

### 第3章 都市施設の区域及びその周囲の概況



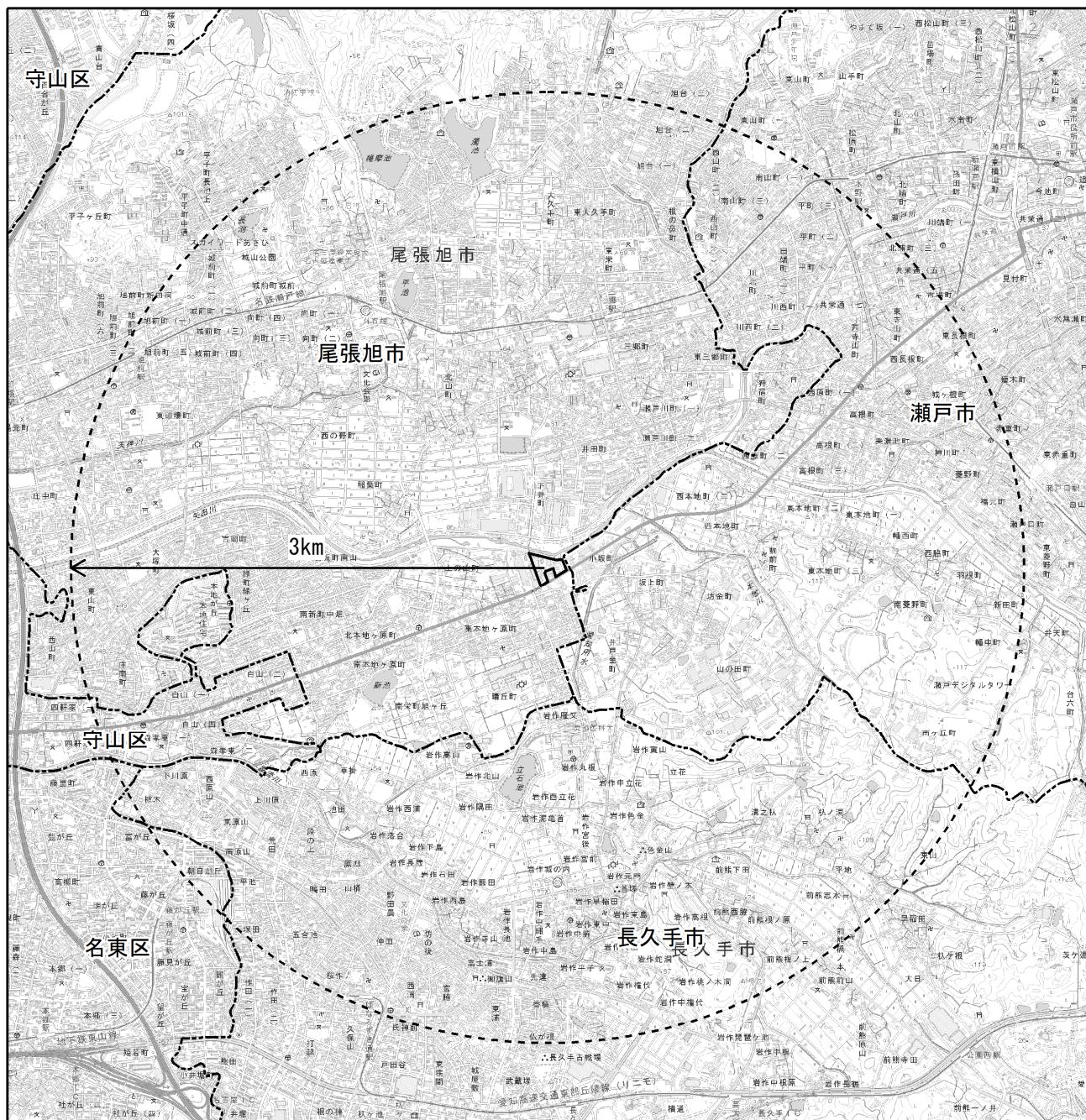
### 第3章 都市施設の区域及びその周囲の概況

都市計画対象事業が実施されるべき区域及びその周囲の自然的・社会的情況（以下「地域特性」という。）を把握するにあたっては、図3.1に示す範囲（以下「対象事業実施想定区域及びその周囲」という。）を基本とし、適宜、調査対象項目により適切な範囲を設定した。

なお、対象事業実施想定区域及びその周囲の範囲は対象事業実施想定区域から概ね半径3kmを基本としており、設定にあたっては本事業による環境への影響が最も広範囲に及ぶものとして考えられる煙突排出ガスの最大着地濃度出現予想距離をもとに、次の点を勘案して設定した。

- ・「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成18年9月環境省）において、煙突排出ガスによる影響の調査対象地域として、最大着地濃度出現予想距離の概ね2倍を見込んで設定した例が示されている。
- ・類似事例（処理能力：200t/日～660t/日、煙突実体高：59m～100m）のシミュレーションにおいて、年平均値の最大着地濃度出現予想距離が概ね1km程度の結果であった。

また、市町村単位で公表されている統計資料等については、愛知県尾張旭市、瀬戸市、長久手市及び名古屋市の全域を範囲とした。



## 凡 例

  対象事業実施想定区域

----- 市区界

「電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成」

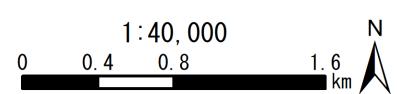


図 3.1 対象事業実施想定区域及びその周囲

### 3.1 自然的状況

#### 3.1.1 気象・大気質その他の大気に係る環境の状況

##### 3.1.1.1 気象

対象事業実施想定区域の位置する尾張旭市は、比較的温暖で「令和6年版尾張旭市の統計」（令和7年3月 尾張旭市）にとりまとめられている名古屋地方気象台の観測結果によると、令和6年の平均気温は17.9°Cとなっており、年間降水量は1,773.0mmと夏に多く冬に少ない太平洋岸式気候となっている。

対象事業実施想定区域及びその周囲には気象観測所が存在しないため、対象事業実施想定区域から西南西に約8.5kmの位置にある名古屋地方気象台の観測結果により、気温、降水量、風向・風速及び日照時間を把握した。

名古屋地方気象台の位置は、図3.1.1に示すとおりである。



図 3.1.1 気象観測地点

### (1) 気温・降水量

名古屋地方気象台における令和2～令和6年の月別平均気温は表3.1.1に、月別降水量は表3.1.2に示すとおりである。また、月別平均気温及び降水量の変化は、図3.1.2に示すとおりである。

令和2～令和6年の5年平均値は、年間平均気温が17.2°Cであり、月別平均気温は8月が29.2°Cで最も高く、1月が5.6°Cで最も低くなっている。

また、降水量については、5年平均値は年間降水量が1,713.0mmであり、月別降水量は7月が276.5mmで最も多く、1月が38.5mmで最も少くなっている。

表3.1.1 名古屋地方気象台における月別平均気温（令和2～令和6年）

単位：℃

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均値
令和2年	7.6	7.1	10.7	13.4	20.6	24.6	25.4	30.3	25.4	18.0	14.0	7.4	17.0
令和3年	5.0	7.5	12.0	15.2	19.5	23.4	27.4	27.8	24.1	19.9	13.0	7.3	16.8
令和4年	4.1	4.5	11.0	16.8	19.5	24.3	27.5	28.5	26.1	18.7	14.6	6.6	16.9
令和5年	5.2	6.5	12.7	15.9	20.2	23.8	28.9	29.4	27.3	18.3	13.6	8.4	17.5
令和6年	6.0	8.1	9.0	17.5	19.7	23.8	29.4	30.2	28.2	21.6	14.6	7.0	17.9
平均値	5.6	6.7	11.1	15.8	19.9	24.0	27.7	29.2	26.2	19.3	14.0	7.3	17.2

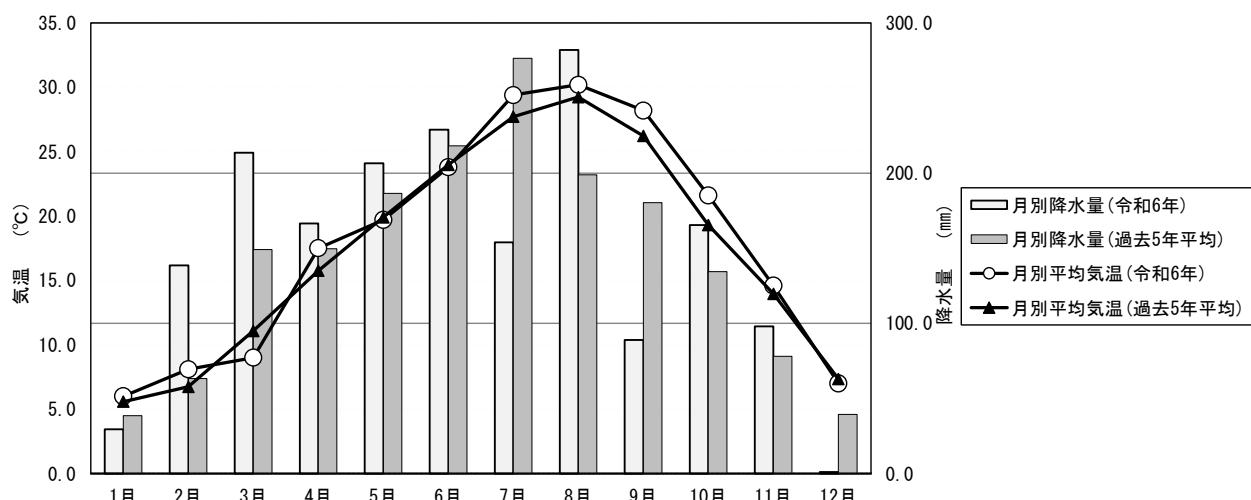
出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

表3.1.2 名古屋地方気象台における月別降水量（令和2～令和6年）

単位：mm

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間降水量
令和2年	55.5	53.5	149.5	111.0	135.0	230.0	405.5	13.0	230.5	269.0	36.5	22.0	1,711.0
令和3年	56.5	46.5	203.5	192.0	254.0	137.0	312.5	347.0	224.0	65.0	71.5	89.0	1,998.5
令和4年	26.0	34.0	84.5	134.5	164.0	117.5	366.5	196.0	260.0	56.0	114.0	25.0	1,578.0
令和5年	25.0	44.0	95.0	144.0	173.0	377.5	144.0	156.5	98.5	116.5	70.5	60.0	1,504.5
令和6年	29.5	138.5	213.5	166.5	206.5	229.0	154.0	282.0	89.0	165.5	98.0	1.0	1,773.0
平均値	38.5	63.3	149.2	149.6	186.5	218.2	276.5	198.9	180.4	134.4	78.1	39.4	1,713.0

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

図3.1.2 名古屋地方気象台における月別平均気温及び降水量（令和2～令和6年）

## (2) 風向・風速

### ① 名古屋地方気象台

名古屋地方気象台における令和6年の風配図は、図3.1.3に示すとおりである。

令和6年の風配図をみると、風向出現頻度は北北西の風が20.9%と最も多く、年間平均風速は3.0m/秒となっている。

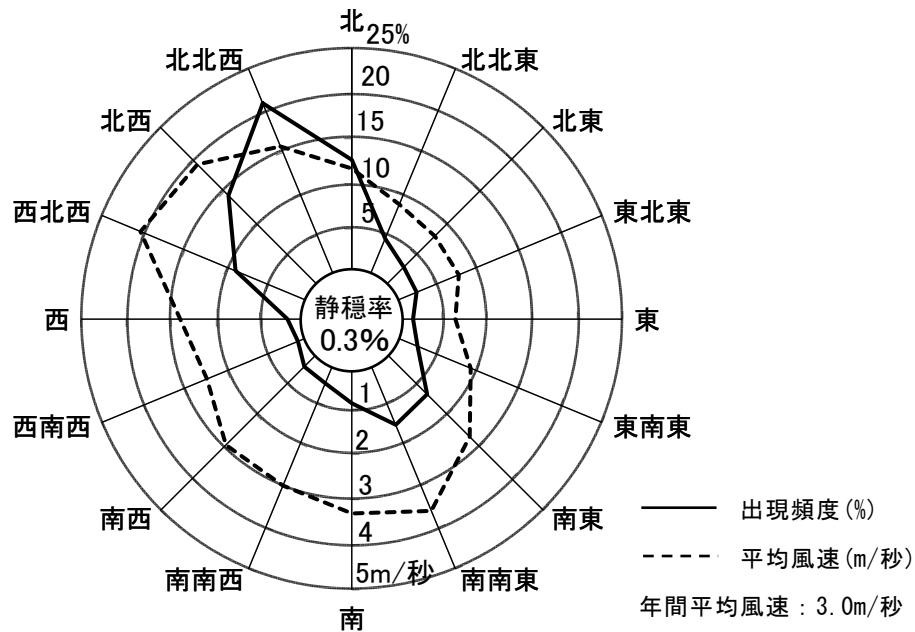


図3.1.3 名古屋地方気象台における風向・風速及び出現頻度 (令和6年)

### (3) 日照時間

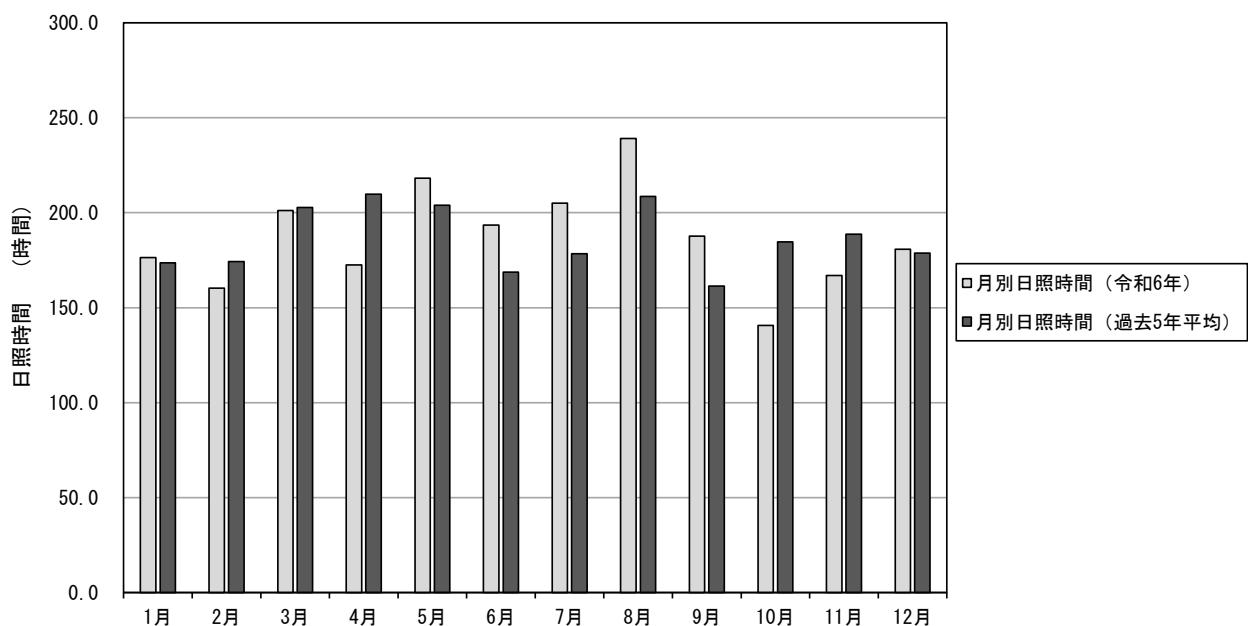
名古屋地方気象台における令和2～令和6年の月別日照時間は、表 3.1.3 及び図 3.1.4 に示すとおりである。

令和2～令和6年の5年平均値は、年間日照時間が2,234.2時間であり、月別日照時間は4月が209.8時間で最も長く、9月が161.5時間で最も短くなっている。

表 3.1.3 名古屋地方気象台における月別日照時間（令和2～令和6年）

単位：時間

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間 日照時間
令和2年	146.6	184.2	201.1	254.9	213.6	164.2	78.2	265.5	148.5	178.2	202.5	178.3	2,215.8
令和3年	161.7	164.8	192.8	219.5	151.9	153.7	175.2	167.1	126.1	197.1	200.2	168.0	2,078.1
令和4年	196.8	170.9	205.3	200.2	210.5	203.8	192.8	155.5	163.8	189.8	191.7	175.2	2,256.3
令和5年	186.9	191.4	213.6	202.0	225.8	128.8	241.5	216.2	181.3	217.4	182.2	191.3	2,378.4
令和6年	176.4	160.3	201.2	172.5	218.2	193.6	205.0	239.1	187.7	140.7	167.0	180.8	2,242.5
平均 値	173.7	174.3	202.8	209.8	204.0	168.8	178.5	208.7	161.5	184.6	188.7	178.7	2,234.2



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

図 3.1.4 名古屋地方気象台における月別日照時間（令和2～令和6年）

### 3.1.1.2 大気質

対象事業実施想定区域及びその周囲の大気質については、図 3.1.5 に示す範囲に位置する大気汚染常時監視測定局 3 局（尾張旭市東大道町測定局、長久手中学校測定局及び瀬戸市陶原町測定局）における大気質の測定結果を用いて把握した。尾張旭市東大道町測定局及び長久手中学校測定局は一般環境大気測定局、瀬戸市陶原町測定局は自動車排出ガス測定局である。常時監視測定項目は表 3.1.4(1) に示すとおりである。

ダイオキシン類について最寄りの測定は、表 3.1.4(2) に示すとおり守山保健センターで、降下ばいじん量については、表 3.1.4(3) に示すとおり瀬戸保健所で測定が実施されている。

ダイオキシン類及び降下ばいじん量測定の位置は、図 3.1.5 に示すとおりである。

表 3.1.4(1) 各大気汚染常時監視測定局における常時監視測定項目（令和6年度）

種別 <sup>注)</sup>	測定局	測定項目					対象事業実施想定区域からの距離
		二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	浮遊粒子状物質(SPM)	光化学オキシダント(O <sub>x</sub> )	微小粒子状物質(PM2.5)	
一般局	尾張旭市東大道町測定局	○	○	○	○	○	約1.6km
	長久手中学校測定局	—	○	○	○	○	約2.5km
自排局	瀬戸市陶原町測定局	—	○	○	○	○	約4.2km

注) 種別 一般局：一般環境大気測定局 自排局：自動車排出ガス測定局 (以下の表についても同様。)

出典：「2024 年度 大気汚染調査結果」(令和 7 年 6 月 愛知県)

表 3.1.4(2) ダイオキシン類測定地点（令和 6 年度）

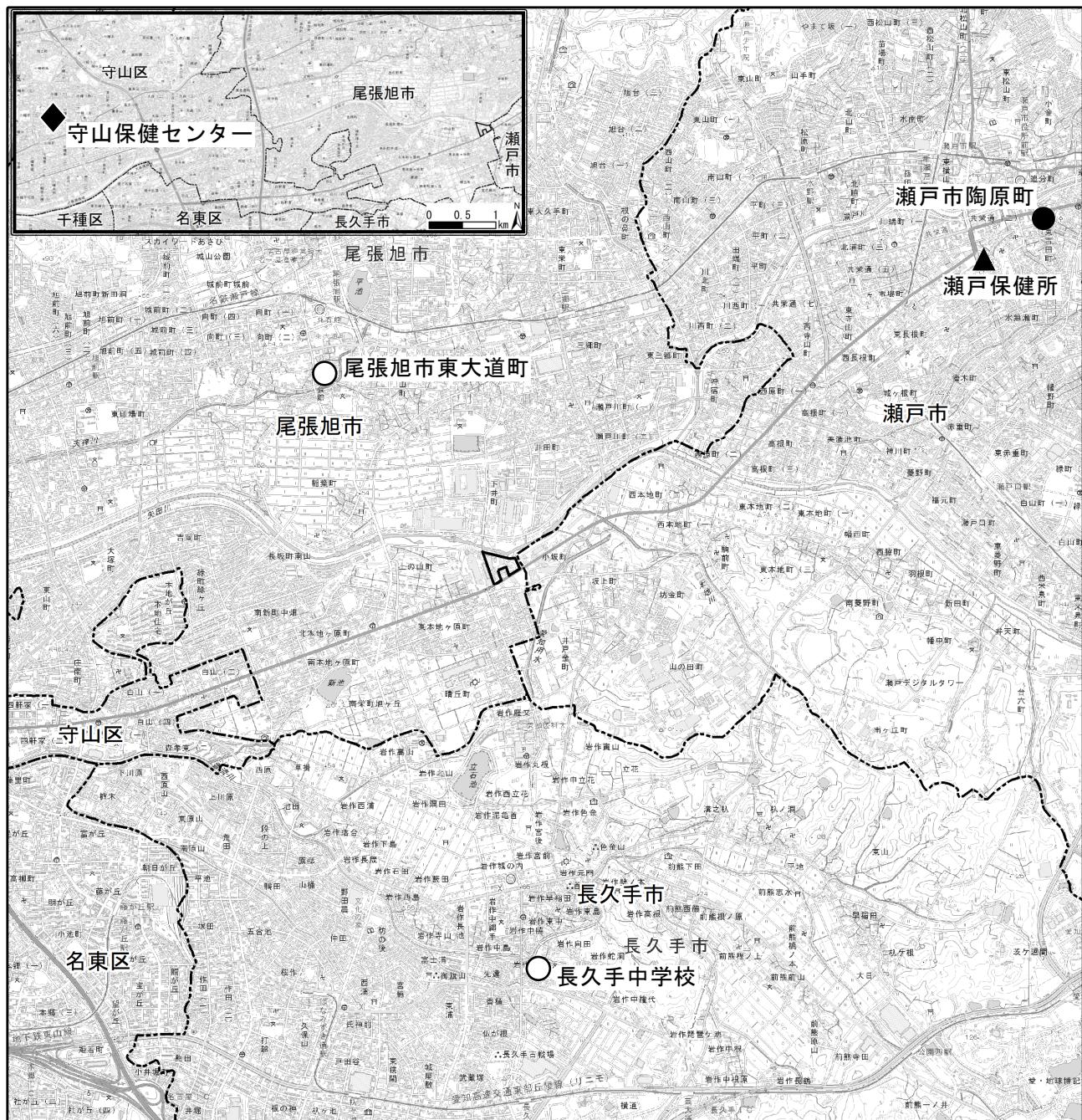
測定地点	ダイオキシン類
守山保健センター (名古屋市守山区小幡一丁目3-1)	○

出典：「2024 年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」(愛知県ホームページ)

表 3.1.4(3) 降下ばいじん量測定地点（令和 6 年度）

測定地点	降下ばいじん量
瀬戸保健所（瀬戸市見付町 38-1）	○

出典：「降下ばいじん調査結果」(愛知県ホームページ)



## 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- 市区界
- 一般環境大気測定期局
- 自動車排出ガス測定期局
- ◆ ダイオキシン類測定期地点
- ▲ 降下ばいじん量測定期地点

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）

「2024年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」（愛知県ホームページ）  
「降下ばいじん調査結果」（愛知県ホームページ）

「電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成」

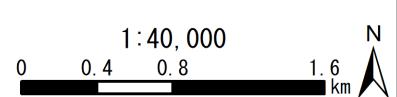


図 3.1.5 大気汚染常時監視測定期局の位置

### (1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局における二酸化硫黄の令和 6 年度の測定結果は表 3.1.5 に、過去 5 年間の経年変化は図 3.1.6 に示すとおりである。

令和 6 年度の測定結果をみると、環境基準（短期的評価及び長期的評価）を達成している。

また、日平均値の 2%除外値<sup>注)</sup>の経年変化をみると、過去 5 年間において環境基準を達成しており、年平均値は概ね横ばいとなっている。

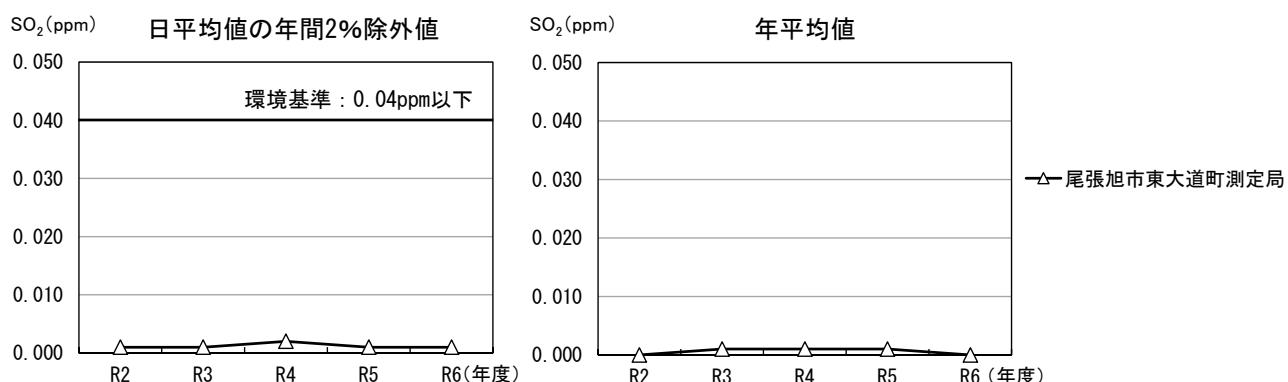
注) 1 年間に測定されたすべての日平均値（欠測日を除く）を、1 年間での最高値を第 1 番目として、値の高い方から低い方に順（降順）に並べたとき、高い方（最高値）から数えて 2% 分の日数に 1 を加えた番号に該当する日平均値。

表 3.1.5 二酸化硫黄の測定結果（令和6年度）

種別	測定局	年平均値	短期的評価			長期的評価		環境基準との比較 <sup>注)</sup>
			1 時間値が 0.1ppm を超えた時間数とその割合	日平均値が 0.04ppm を超えた日数とその割合	日平均値の 2% 除外値	1 日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続したことの有無		
		(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(有×・無○)
一般局	尾張旭市東大道町測定局	0.000	0	0.0	0	0.0	0.001	○

注) ○は長期的評価による環境基準（日平均値の 2%除外値が 0.04ppm 以下であり、かつ、日平均値が 0.04ppm を超えた日が 2 日以上連続していないこと）達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.6 二酸化硫黄の経年変化

## (2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局における二酸化窒素の令和6年度の測定結果は表 3.1.6に、過去5年間の経年変化は図 3.1.7に示すとおりである。

令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準（長期的評価）を達成している。

また、日平均値の年間98%値<sup>注)</sup>の経年変化をみると、過去5年間においてすべての測定局で環境基準を達成しており、年平均値は概ね横ばい傾向となっている。

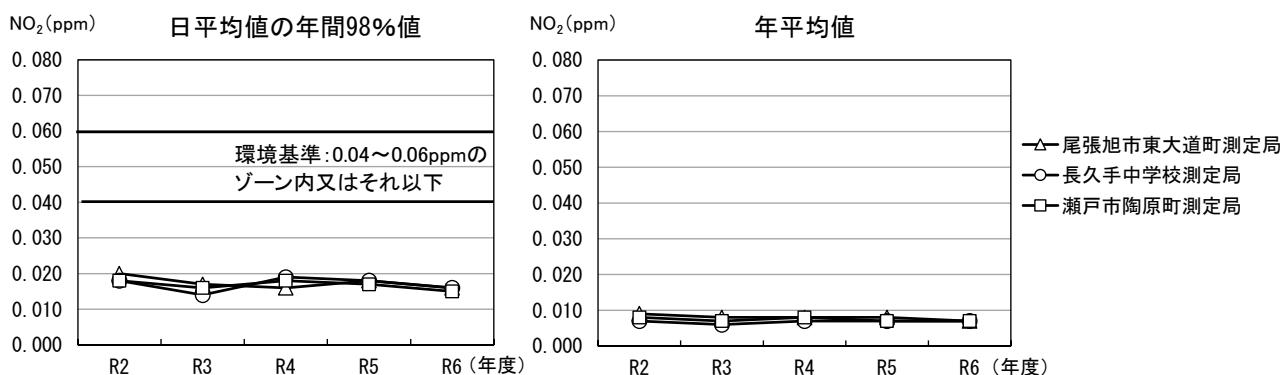
注) 1年間に測定されたすべての日平均値（欠測日を除く。）を、1年間での最低値を第1番目として、値の低い方から高い方に順（昇順）に並べたとき、低い方（最低値）から数えて98%目に該当する日平均値。

表 3.1.6 二酸化窒素の測定結果（令和6年度）

種別	測定局	年平均値 (ppm)	環境基準との比較				1時間値の最高値 (ppm)	長期的評価		
			1日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合 (日) (%)	1日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合 (日) (%)	(ppm)	(達成○・非達成×)				
一般局	尾張旭市東大道町測定局	0.007	0	0.0	0	0.0	0.042	0.016	○	
	長久手中学校測定局	0.007	0	0.0	0	0.0	0.044	0.016	○	
自排局	瀬戸市陶原町測定局	0.007	0	0.0	0	0.0	0.035	0.015	○	

注) ○は長期的評価による環境基準（日平均値の年間98%値が0.06ppm以下であること。）達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.7 二酸化窒素の経年変化

### (3) 浮遊粒子状物質 (SPM)

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局における浮遊粒子状物質の令和6年度の測定結果は表 3.1.7に、過去5年間の経年変化は図 3.1.8に示すとおりである。

令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準（短期的評価及び長期的評価）を達成している。

また、日平均値の年間2%除外値の経年変化をみると、過去5年間においてすべての測定局で環境基準（長期的評価）を達成しており、年平均値は概ね横ばいとなっている。

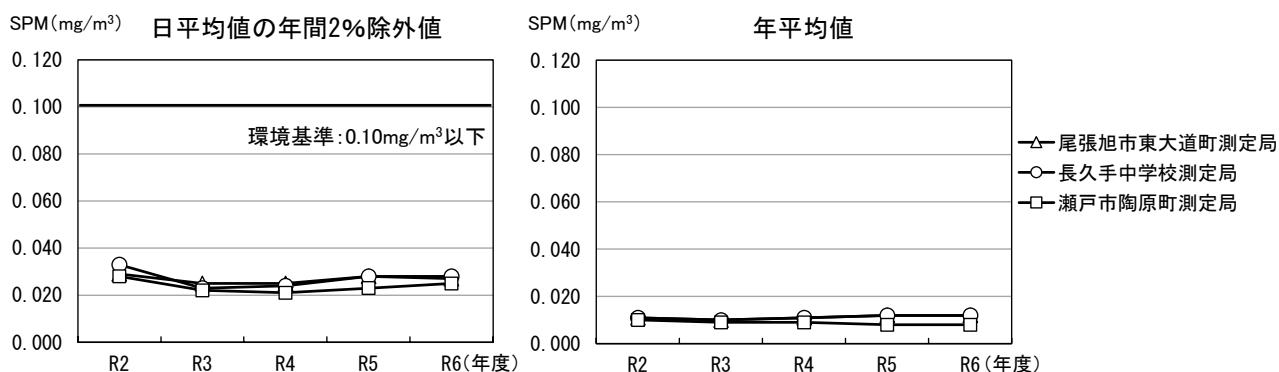
表 3.1.7 浮遊粒子状物質の測定結果（令和6年度）

種別	測定局	年平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	短期的評価			長期的評価				
			1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数 とその割合 (時間)	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数と その割合 (%)	環境基準 との比較 <sup>注1)</sup> (日)	日平均値 の年間2% 除外値 (%)	(達成○・ 非達成×) (mg/m <sup>3</sup> )	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日が 2日以上連続 したことの有無 (有×・無○)		
一般局	尾張旭市 東大道町 測定局	0.012	0	0.0	0	0.0	○	0.027	○	○
	長久手 中学校 測定局	0.012	0	0.0	0	0.0	○	0.028	○	○
自排局	瀬戸市 陶原町 測定局	0.008	0	0.0	0	0.0	○	0.025	○	○

注1) ○は短期的評価による環境基準（1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下で、かつ、1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であること。）達成局。

注2) ○は長期的評価による環境基準（日平均値の2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下で、かつ、日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日が2日以上連続していないこと。）達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.8 浮遊粒子状物質の経年変化

#### (4) 光化学オキシダント ( $O_x$ )

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局における、光化学オキシダントの令和 6 年度の測定結果は表 3.1.8 に、過去 5 年間の経年変化は図 3.1.9 に示すとおりである。

令和 6 年度の光化学オキシダントの昼間の年平均値は 0.035~0.036ppm である。また、昼間の 1 時間値の最高値をみると、すべての測定局において環境基準を達成していない。

また、経年変化をみると、過去 5 年間において、昼間年平均値は概ね横ばいとなっており、昼間の 1 時間値の最高値は、すべての測定局で環境基準非達成の状況である。

なお、光化学オキシダントについて環境基準の達成状況が低いのは、当該地域特有ではなく全国的な傾向である。

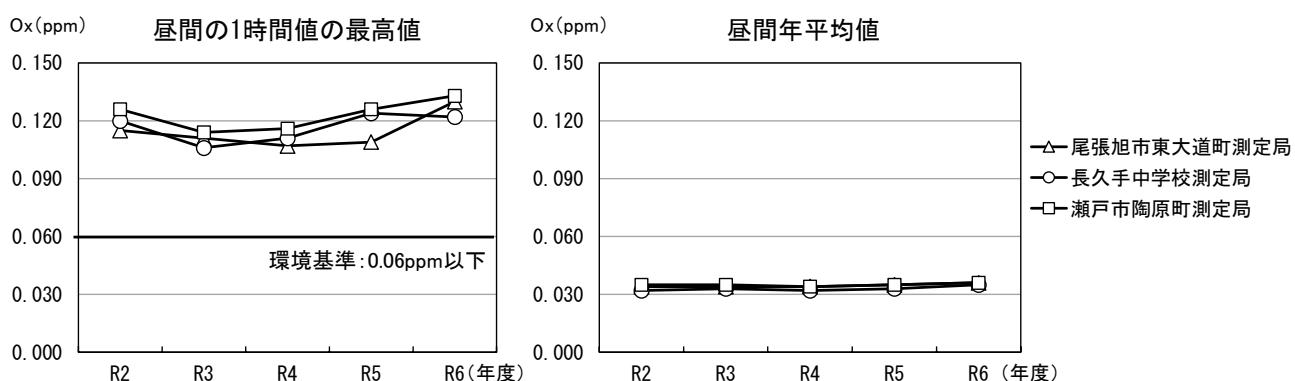
表 3.1.8 光化学オキシダントの測定結果（令和6年度）

種別	測定局	昼間年平均値 (ppm)	短期的評価					昼間の1時間値の最高値 (ppm)	
			昼間 <sup>注1)</sup> の1時間値が0.06ppmを超えた時間数及び日数とその割合				環境基準との比較 <sup>注2)</sup> (達成○・非達成×)		
			(時間)	(%)	(日)	(%)			
一般局	尾張旭市東大道町測定局	0.036	516	9.5	105	28.8	×	0.130	
	長久手中学校測定局	0.035	447	8.2	99	27.1	×	0.122	
自排局	瀬戸市陶原町測定局	0.036	501	9.2	103	28.2	×	0.133	

注 1) 昼間とは 5 時～20 時を示す。

注 2) ×は短期的評価による環境基準（1 時間値が 0.06ppm 以下であること。）非達成局。

出典：「2024 年度 大気汚染調査結果」（令和 7 年 6 月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.9 光化学オキシダントの経年変化

## (5) 微小粒子状物質 (PM2.5)

対象事業実施想定区域及びその周囲の一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局における微小粒子状物質の令和6年度の測定結果は表 3.1.9に、過去5年間の年平均値の経年変化は図3.1.10に示すとおりである。

令和6年度の測定結果をみると、すべての測定局で環境基準（短期基準及び長期基準）を達成している。

また、年平均値の経年変化をみると、過去5年間において環境基準（長期基準）を達成しており、概ね横ばいとなっている。

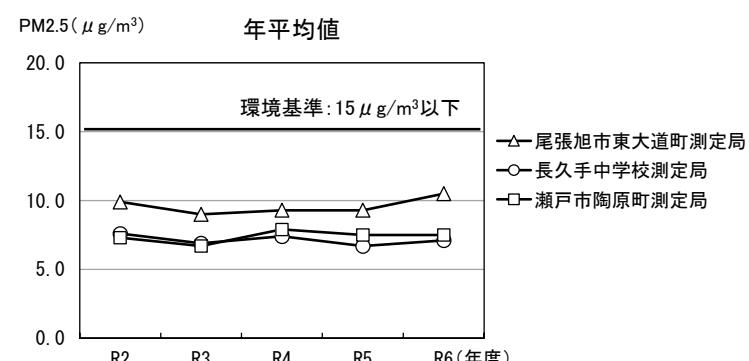
表 3.1.9 微小粒子状物質の測定結果（令和6年度）

種別	測定局	長期的評価				
		短期基準（1日平均値）			長期基準	
		1日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた 日数とその割合 (日)	1日平均値 の 年間98%値 (%)	環境基準と の比較 <sup>注1)</sup> ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	年平均値 (達成○・ 非達成×)	環境基準と の比較 <sup>注2)</sup> ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )
一般局	尾張旭市東大道町 測定局	1	0.3	21.7	○	10.5
	長久手中学校 測定局	1	0.3	19.7	○	7.1
自排局	瀬戸市陶原町 測定局	1	0.3	18.3	○	7.5

注1) ○は短期基準による環境基準（1日平均値の年間98%値が35  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。）達成局。

注2) ○は長期基準による環境基準（1年平均値が15  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。）達成局。

出典：「2024年度 大気汚染調査結果」（令和7年6月 愛知県）



出典：「2020年度～2024年度 大気汚染調査結果」（愛知県）

図 3.1.10 微小粒子状物質（年平均値）の経年変化

## (6) ダイオキシン類

対象事業実施想定区域及びその周囲におけるダイオキシン類の令和 6 年度の測定結果は表 3.1.10 に、過去 5 年間の年平均値の経年変化は図 3.1.11 に示すとおりである。

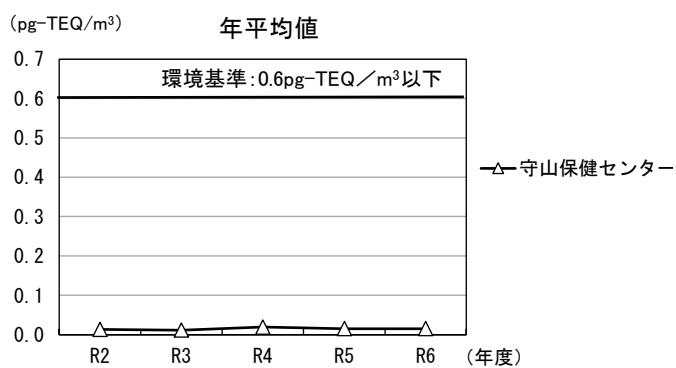
令和 6 年度の測定結果をみると、環境基準を達成している。また、年平均値の経年変化をみると、過去 5 年間において環境基準を達成しており、概ね横ばいとなっている。

表 3.1.10 ダイオキシン類の測定結果（令和6年度）

測定地点	測定結果 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )					環境基準の達成状況 <sup>注)</sup> (達成○・非達成×
	春季	夏季	秋季	冬季	平均値	
守山保健センター	0.013	0.014	0.023	0.010	0.015	○

注) ○は環境基準（年間平均値が 0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup> 以下であること。）達成地点。

出典：「2024 年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」（愛知県ホームページ）



出典：「2020年度～2024年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」  
(愛知県ホームページ)

図 3.1.11 ダイオキシン類（年平均値）の経年変化

## (7) 降下ばいじん量

対象事業実施想定区域及びその周囲における降下ばいじん量の令和 6 年度の測定結果は表 3.1.11 に示すとおりである。降下ばいじん量の比較的高い地域の値とされている 10t/km<sup>2</sup>・月と比較して、小さい値となっている。

表 3.1.11 降下ばいじん量の測定結果（令和6年度）

単位 : t/km<sup>2</sup>・月

測定地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
瀬戸保健所	2.09	0.81	0.90	—	1.02	1.06	0.63	0.60	0.52	0.63	1.02	1.68	0.99

注) —は容器破損のため欠測

出典：「降下ばいじん調査結果」（愛知県ホームページ）

### 3.1.2 騒音等に係る環境の状況

#### 3.1.2.1 低周波音

対象事業実施想定区域及びその周囲において、低周波音に係る調査は実施されていない。

#### 3.1.2.2 環境騒音

対象事業実施想定区域及びその周囲における環境騒音の調査が、令和6年度に名古屋市において実施されている。調査結果は表 3.1.12 に示すとおりである。いずれの地点も、環境基準値以下となっている。

表 3.1.12 環境騒音調査結果（名古屋市：令和6年度）

単位：デシベル

番号	調査地点	用途地域			基準時間帯	
		類型	土地利用 <sup>注1)</sup>	寄与音源 <sup>注2)</sup>	朝	夜
1	守山区向台三丁目	1種住居			46	38
		B	1	7		
2	守山区白山四丁目	1種中高層			47	39
		A	2	7		
3	名東区朝日が丘	1種住居			48	40
		B	2	2		

注 1) 土地利用の種類

- 1 低密住宅（一般住宅の散在する地域）
- 3 中高層住宅団地
- 5 住宅・事務所（一般住宅と事務所が混在する地域）
- 7 商業・事務所（商店と事務所が混在する地域）
- 9 工業
- 11 厚生（病院等）
- 13 公園・緑地
- 15 その他
- 2 高密住宅（一般住宅の密集する地域）
- 4 住宅・商業（一般住宅と商店が混在する地域）
- 6 住宅・工業（一般住宅と工場が混在する地域）
- 8 路線商業（商店街）
- 10 文教（学校等）
- 12 官公所（公事務）
- 14 空地

注 2) 音源の種類

- 1 航空機騒音：航空機による騒音
- 3 自動車騒音：自動車・バイクによる騒音
- 5 建設騒音：建設現場から発生するすべての騒音
- 6 営業騒音：営業活動に伴うもので、環境保全条例第39条及び40条に係る騒音
- 7 その他
- 2 鉄道騒音：鉄道による騒音
- 4 工場騒音：工場敷地内から発生するすべての騒音

注 3) 調査地点の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「名古屋市の騒音 環境騒音編（令和6年度）」（令和7年9月 名古屋市）

#### 3.1.2.3 自動車騒音

対象事業実施想定区域及びその周囲における令和6年度の自動車騒音の調査結果は表 3.1.13～表 3.1.16 に示すとおりである。

環境基準の達成状況調査については、表 3.1.13 に示すとおりであり、東名高速道路、名古屋第二環状自動車道、一般国道302号、一般国道363号、県道力石名古屋線、県道名古屋中環状線、県道名古屋長久手線、県道愛・地球博記念公園瀬戸線及び県道松本名古屋線では、環境基準を達成していない住戸のある区間がある。

要請限度調査については、表 3.1.14 に示すとおりであり、要請限度以下となっている。

また、瀬戸市及び長久手市による調査については、表 3.1.15 及び表 3.1.16 に示すとおりであり、いずれも環境基準や要請限度を下回っている。

表 3.1.13(1) 自動車騒音調査結果（環境基準の達成状況）（令和6年度）

番号	道路名	調査地点	評価区間			騒音レベル (L <sub>Aeq</sub> ) (デシベル)		環境基準達成戸数 (戸)			調査 区間 内全 戸数 (戸)	環境基準達成率		
			起点	終点	区間 延長 (km)	昼間	夜間	昼間	夜間	昼夜		昼間	夜間	昼夜
1	東名高速 道路	名古屋市 守山区森 孝3丁目	名古屋市 名東区 猪高町大 字上社	名古屋市 名東区 小井堀町	0.6	63	57	31	31	31	31	100.0%	100.0%	100.0%
2		名古屋市 名東区 石が根町	名古屋市 名東区 小井堀町	名古屋市 名東区 小池町	1.1	59	55	994	981	981	1014	98.0%	96.7%	96.7%
3		名古屋市 名東区 石が根町	名古屋市 名東区 小池町	名古屋市 名東区 豊が丘	0.9	59	55	504	490	490	504	100.0%	97.2%	97.2%
4		名古屋市 守山区森 孝3丁目	名古屋市 名東区 豊が丘	名古屋市 守山区 今尻町	2	63	57	343	343	343	358	95.8%	95.8%	95.8%
5		名古屋市 守山区森 孝3丁目	名古屋市 守山区八 剣2丁目	名古屋市 守山区大 森5丁目	0.2	63	57	9	9	9	9	100.0%	100.0%	100.0%
6		名古屋市 守山区百 合が丘	名古屋市 守山区 大森北2 丁目	名古屋市 守山区 泉が丘	1.9	56	52	235	232	232	242	97.1%	95.9%	95.9%
7		名古屋市 守山区百 合が丘	名古屋市 守山区 泉が丘	名古屋市 守山区 日の後	0.3	56	52	22	22	22	22	100.0%	100.0%	100.0%
8		名古屋市 守山区森 孝3丁目	名古屋市 守山区 日の後	名古屋市 守山区 大字下志 段味	0.6	63	57	106	106	106	106	100.0%	100.0%	100.0%
9		名古屋市 守山区森 孝3丁目	名古屋市 守山区東 禅寺	名古屋市 守山区 大字下志 段味	1.1	63	57	33	33	33	33	100.0%	100.0%	100.0%
10	名古屋第 二環状自 動車道	名古屋市 名東区 社が丘	名古屋市 名東区 社が丘	名古屋市 名東区 姫若町	0.6	61	54	30	56	30	146	20.5%	38.4%	20.5%
11	一般国道 302号	名古屋市 名東区 文教台2 丁目	名古屋市 名東区 引山	名古屋市 名東区 上社	2.6	57	53	1579	1562	1562	1688	93.5%	92.5%	92.5%
12		名古屋市 名東区 文教台2 丁目	名古屋市 名東区 上社	名古屋市 名東区 上社	0.2	57	53	50	54	50	89	56.2%	60.7%	56.2%
13		名古屋市 名東区 牧の原1 丁目	名古屋市 名東区 上社	名古屋市 名東区 貴船	0.4	60	55	284	284	284	284	100.0%	100.0%	100.0%
14	一般国道 363号	名古屋市 守山区森 孝4丁目	名古屋市 名東区 引山	名古屋市 守山区 白山	2.3	65	60	1739	1739	1739	1739	100.0%	100.0%	100.0%
15		名古屋市 守山区 白山	名古屋市 名東区 白山	名古屋市 守山区 白山	0.7	71	65	103	111	103	111	92.8%	100.0%	92.8%
16		瀬戸市 高根町	瀬戸市 小坂町	瀬戸市 幸町	5.2	67	63	716	716	716	716	100.0%	100.0%	100.0%
17		尾張旭市 晴丘町東	尾張旭市 北本地ヶ 原町	尾張旭市 晴丘町東	1.9	71	66	243	243	243	260	93.5%	93.5%	93.5%
18	県道力石 名古屋線	名古屋市 名東区 照が丘	名古屋市 名東区 朝日が丘	名古屋市 名東区 本郷	1.4	66	60	1344	1338	1338	1344	100.0%	99.6%	99.6%

注 1) 昼間：6 時から 22 時まで 夜間：22 時から 翌朝 6 時まで

注 2) 評価区間の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「2024 年度 交通騒音・振動調査結果資料集」（令和 7 年 9 月 愛知県）

表 3.1.13(2) 自動車騒音調査結果（環境基準の達成状況）(令和6年度)

番号	道路名	調査地点	評価区間			騒音レベル (L <sub>Aeq</sub> ) (デシベル)		環境基準達成戸数 (戸)			調査 区間内全 戸数 (戸)	環境基準達成率		
			起点	終点	区間 延長 (km)	昼間	夜間	昼間	夜間	昼夜		昼間	夜間	昼夜
19		名古屋市 名東区 猪高台 1 丁目	名古屋市 名東区 本郷	名古屋市 名東区 猪高台	1.1	64	59	827	827	827	827	100.0%	100.0%	100.0%
20	県道力石 名古屋線	長久手市 松ヶ池	長久手市 茨ヶ廻間	長久手市 久保山	5	72	66	419	425	419	427	98.1%	99.5%	98.1%
21		長久手市 久保山	長久手市 久保山	長久手市 作田	1.6	68	63	711	711	711	712	99.9%	99.9%	99.9%
22		瀬戸市 環状線	瀬戸市 瀬戸口町	瀬戸市 石田町	2.2	68	60	668	668	668	668	100.0%	100.0%	100.0%
23	県道瀬戸 大府東海 線	長久手市 岩作東中	長久手市 北浦	長久手市 先達	2.8	67	61	343	343	343	343	100.0%	100.0%	100.0%
24		長久手市 山野田	長久手市 岩作権代	長久手市 山野田	1.8	68	61	467	467	467	467	100.0%	100.0%	100.0%
25		名古屋市 名東区貴 船 2 丁目	名古屋市 名東区 社が丘	名古屋市 名東区 社が丘	1.2	66	61	1019	1021	1019	1038	98.2%	98.4%	98.2%
26	県道名古 屋中環状 線	名古屋市 名東区貴 船 2 丁目	名古屋市 名東区 社が丘	名古屋市 守山区 四軒家	2.1	66	61	1464	1456	1456	1464	100.0%	99.5%	99.5%
27		名古屋市 守山区大 森 2 丁目	名古屋市 守山区 森孝	名古屋市 守山区 大森	2.3	65	58	895	895	894	897	99.8%	99.8%	99.7%
28		名古屋市 千種区星 桜が丘	名古屋市 千種区星 桜が丘元町	名古屋市 名東区 上社	2	70	66	1980	1963	1963	1980	100.0%	99.1%	99.1%
29	県道名古 屋長久手 線	名古屋市 名東区上 社 1 丁目	名古屋市 名東区 上社	名古屋市 名東区 上社	0.4	71	66	145	147	145	233	62.2%	63.1%	62.2%
30		名古屋市 名東区上 社 3 丁目	名古屋市 名東区 上社	名古屋市 名東区 姫若町	0.7	72	67	531	549	531	581	91.4%	94.5%	91.4%
31		名古屋市 名東区 小井堀町	名古屋市 名東区 姫若町	名古屋市 名東区 小井堀町	0.9	65	60	706	704	704	716	98.6%	98.3%	98.3%
32		県道名古 屋瀬戸線	尾張旭市 向町	尾張旭市 印場元町	尾張旭市 三郷町栄	4	66	61	1176	1176	1176	1176	100.0%	100.0%
33		尾張旭市 東栄町	尾張旭市 大字新居	尾張旭市 瀬戸川町	4.3	66	61	1036	1036	1036	1036	100.0%	100.0%	100.0%
34	県道春日 井長久手 線	長久手市 岩作長池	長久手市 岩作寅山	長久手市 岩作早稻 田	1.1	64	55	59	59	59	59	100.0%	100.0%	100.0%
35		長久手市 岩作長池	長久手市 岩作宮前	長久手市 富士浦	0.9	64	55	160	160	160	160	100.0%	100.0%	100.0%
36	県道上半 田川名古 屋線	名古屋市 名東区引 山 3 丁目	名古屋市 守山区 四軒家	名古屋市 守山区 向台	0.3	61	54	44	44	44	44	100.0%	100.0%	100.0%
37		名古屋市 名東区引 山 3 丁目	名古屋市 守山区 森孝	名古屋市 名東区神 月町	1	61	54	455	455	455	455	100.0%	100.0%	100.0%
38	県道愛・ 地球博記念 公園瀬戸線	瀬戸市 石田町	瀬戸市 南山口町	瀬戸市 幡野町	3.3	68	63	450	450	450	451	99.8%	99.8%	99.8%
39	県道篠木 尾張旭線	名古屋市 守山区 平池東	名古屋市 守山区 深沢	名古屋市 守山区 大森北	1.9	65	61	303	303	303	303	100.0%	100.0%	100.0%
40		尾張旭市 庄南町	尾張旭市 桜ヶ丘町	尾張旭市 白鳳町	1.3	66	60	478	478	478	478	100.0%	100.0%	100.0%

注 1) 昼間：6 時から 22 時まで 夜間：22 時から翌朝 6 時まで

注 2) 評価区間の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「2024 年度 交通騒音・振動調査結果資料集」(令和 7 年 9 月 愛知県)

表 3.1.13(3) 自動車騒音調査結果（環境基準の達成状況）（令和6年度）

番号	道路名	調査地点	評価区間			騒音レベル (L <sub>Aeq</sub> ) (デシベル)		環境基準達成戸数 (戸)			調査 区間 内全 戸数 (戸)	環境基準達成率		
			起点	終点	区間 延長 (km)	昼間	夜間	昼間	夜間	昼夜		昼間	夜間	昼夜
41	県道松本 名古屋線	名古屋市 守山区桜 坂4丁目	名古屋市 守山区大 字中志段 味	名古屋市 守山区大 字中志段 味	0.8	65	58	94	94	94	94	100.0%	100.0%	100.0%
42		名古屋市 守山区桜 坂4丁目	名古屋市 守山区 中志段味 墓前	名古屋市 守山区 青山台	2.7	65	58	348	349	348	349	99.7%	100.0%	99.7%
43		名古屋市 守山区 四軒家	名古屋市 守山区 四軒家1 丁目	名古屋市 守山区 四軒家2 丁目	0.2	68	63	81	81	81	81	100.0%	100.0%	100.0%
44		尾張旭市 庄南町	尾張旭市 平子町北	尾張旭市 桜ヶ丘町	0.7	66	60	1	1	1	1	100.0%	100.0%	100.0%
45		尾張旭市 庄南町	尾張旭市 白鳳町	尾張旭市 大塚町	1.3	66	60	368	368	368	368	100.0%	100.0%	100.0%
46		尾張旭市 庄南町	尾張旭市 大塚町	尾張旭市 西山町	0.7	66	60	150	150	150	150	100.0%	100.0%	100.0%
47	県道田畠 名古屋線	名古屋市 守山区 森孝東2 丁目	名古屋市 守山区 森孝東	名古屋市 守山区 白山	0.7	65	60	438	438	438	438	100.0%	100.0%	100.0%
48	県道浅田 名古屋線	名古屋市 名東区 勢子坊2 丁目	名古屋市 名東区 社が丘	名古屋市 名東区 新宿	2	65	59	1087	1087	1087	1087	100.0%	100.0%	100.0%
49	市道瀬戸 新居線	尾張旭市 新居町西 浦	尾張旭市 桜ヶ丘町 西	尾張旭市 根の鼻町	4.3	66	59	1292	1292	1292	1292	100.0%	100.0%	100.0%

注1) 昼間：6時から22時まで 夜間：22時から翌朝6時まで

注2) 評価区間の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「2024年度 交通騒音・振動調査結果資料集」（令和7年9月 愛知県）

表 3.1.14 自動車騒音調査結果（要請限度）（令和6年度）

道路名	測定地点	測定日	等価騒音レベル (デシベル)	
			昼間	夜間
県道名古屋長久手線	名古屋市名東区 小井堀町	R6. 11. 7～ R6. 11. 13	65	60

注 1) 昼間：6 時から 22 時まで 夜間：22 時から翌朝 6 時まで

注 2) 測定地点の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「2024 年度 交通騒音・振動調査結果資料集」（令和 7 年 9 月 愛知県）

表 3.1.15 自動車騒音調査結果（瀬戸市：令和6年度）

道路名	測定地点	測定日	区分	騒音 <sup>注 1)</sup> (デシベル)	
				昼間	夜間
国道 363 号	瀬戸市西原町	R7. 1. 27～ R7. 1. 30	測定値	68	61
			評価 (要請限度)	○ 75	○ 70
			評価 (環境基準)	○ 70	○ 65

注 1) 騒音計の不具合によると思われる著しく低い数値は調査結果から除外した。

注 2) 昼間：6 時から 22 時まで 夜間：22 時から翌日 6 時まで

注 3) 測定地点の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「令和 7 年度版第 3 次瀬戸市環境基本計画年次報告書」（令和 7 年 10 月 瀬戸市）

表 3.1.16 自動車騒音調査結果（要請限度）（長久手市：令和6年度）

道路名	測定地点	測定日	区分	騒音 (デシベル)	
				昼間	夜間
県道力石名古屋線	長久手市杣ヶ池	R6. 12. 11～ R6. 12. 12	測定結果	72	66
			評価	○ 75	○ 70

注 1) 昼間：6 時から 22 時まで 夜間：22 時から翌日 6 時まで

注 2) 測定地点の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「令和 6 年度自動車騒音常時監視調査」（長久手市ホームページ）

### 3.1.3 振動に係る環境の状況

対象事業実施想定区域及びその周囲における道路交通振動の調査結果は表 3.1.17 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲では 1 地点で調査されており、昼夜ともに要請限度以下である。また、人が振動を感じ始める値である振動感覚閾値（55 デシベル）を下回っている。

表 3.1.17 道路交通振動調査結果（要請限度）（令和6年度）

道路名	測定地点	測定日	区分	振動 (デシベル)	
				昼間	夜間
国道 363 号	瀬戸市西原町	R7. 1. 27～ R7. 1. 30	測定値	34	26
			評価	○ 65	○ 60

注 1) 昼間：7 時から 20 時まで 夜間：20 時から翌日 7 時まで

注 2) 測定地点の位置は公表されていないため図示していない。

出典：「令和 7 年度版第 3 次瀬戸市環境基本計画年次報告書」（令和 7 年 10 月 瀬戸市）

### 3.1.4 悪臭に係る環境の状況

対象事業実施想定区域及びその周囲において、悪臭に係る調査は実施されていない。

### 3.1.5 水象、水質、水底の底質その他の水に係る環境の状況

#### 3.1.5.1 水象

対象事業実施想定区域及びその周囲における主要な河川・用水路等の分布状況は、図 3.1.12 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の主要な河川としては、対象事業実施想定区域北側を流れる庄内川水系の一級河川である矢田川やその支流、南側を流れる庄内川水系の一級河川である香流川やその支流がある。また、主要な用水路として、対象事業実施想定区域東側を北から南へ愛知用水が流れている。

#### 3.1.5.2 水質

対象事業実施想定区域及びその周囲における河川の水質の調査結果は表 3.1.18～表 3.1.22 に、ため池の水質調査結果は表 3.1.23 及び表 3.1.24 に、調査地点は図 3.1.12 に示すとおりである。

環境基準の適合状況をみると、類型指定されている矢田川上流(宮下橋及び大森橋)については、すべての項目で環境基準に適合している。また、瀬戸市により調査が実施されている瀬戸川(三郷橋)及び矢田川(本地大橋)についても、環境基準に適合している。

矢田川(大森橋)ではダイオキシン類に係る調査も実施されており、令和 6 年度の調査結果をみると 0.22pg-TEQ/L であり、環境基準 (1pg-TEQ/L) に適合している。

表 3.1.18 河川の水質調査結果（令和5年度）

項目	測定地点名	河川等						環境基準	
		1		2		3			
		矢田川上流		矢田川上流		瀬戸川			
		宮下橋		大森橋		共栄橋			
		測定結果	適合しない割合(検体数)	測定結果	適合しない割合(検体数)	測定結果	適合しない割合(検体数)		
生活環境項目	環境基準類型	D/生物B		D/生物B		—	D/生物B		
	pH	7.6 (7.3~8.2)	0/12	7.5 (7.3~7.6)	0/12	8.0 (7.5~9.0)	-/12	6.0~8.5	
	DO (mg/L)	9.2 (8.1~10)	0/12	9.3 (7.8~11)	0/12	11 (8.8~13)	-/12	2以上	
	BOD (mg/L)	3.2 (3.8)	0/12	3.4 (4.2)	0/12	1.2 (1.3)	-/12	8以下	
	COD (mg/L)	8.8	-/12	7.2	-/12	4.4	-/12	—	
	SS (mg/L)	5 (4~7)	0/12	6 (2~11)	0/12	4 (1~7)	-/12	100以下	
	大腸菌数 (CFU/100mL)	—	—	—	—	—	—	—	
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)	—	—	ND	-/2	—	—	—	
	全窒素 (mg/L)	—	—	3.6	-/6	—	—	—	
	全燐 (mg/L)	—	—	0.23	-/6	—	—	—	
健康項目	全亜鉛 (mg/L)	0.019	0/4	0.026	4/12	—	—	0.03以下	
	ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	0/4	0.00006	0/12	<0.00006	-/4	0.002以下	
	LAS (mg/L)	0.0061	0/4	0.0074	0/12	0.0089	-/4	0.05以下	
	カドミウム (mg/L)	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	<0.0005	0/4	0.003以下	
	全シアン (mg/L)	ND	0/4	ND	0/4	ND	0/4	検出されないこと	
	鉛 (mg/L)	<0.005	0/4	<0.005	0/4	<0.005	0/4	0.01以下	
	六価クロム (mg/L)	<0.01	0/2	<0.01	0/4	<0.01	0/2	0.02以下	
	砒素 (mg/L)	<0.005	0/2	<0.005	0/2	<0.005	0/2	0.01以下	
	総水銀 (mg/L)	—	—	ND	0/4	—	—	0.0005以下	
	アルキル水銀 (mg/L)	—	—	ND	0/1	—	—	検出されないこと	
	PCB (mg/L)	—	—	ND	0/1	—	—	検出されないこと	
	ジクロロメタン (mg/L)	—	—	<0.002	0/4	—	—	0.02以下	
	四塩化炭素 (mg/L)	—	—	<0.0002	0/4	—	—	0.002以下	
	1, 2-ジクロロエタン (mg/L)	—	—	<0.0004	0/4	—	—	0.004以下	
	1, 1-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.01	0/4	—	—	0.1以下	
	シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.004	0/4	—	—	0.04以下	
	1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	<0.1	0/4	—	—	1以下	
	1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)	—	—	<0.0006	0/4	—	—	0.006以下	
	トリクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.001	0/4	—	—	0.01以下	
	テトラクロロエチレン (mg/L)	—	—	<0.0005	0/4	—	—	0.01以下	
	1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)	—	—	<0.0002	0/4	—	—	0.002以下	
	チウラム (mg/L)	<0.0006	0/2	<0.0006	0/4	<0.0006	0/2	0.006以下	
	シマジン (mg/L)	<0.0003	0/2	<0.0003	0/4	<0.0003	0/2	0.003以下	
	チオベンカルブ (mg/L)	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/2	0.02以下	
	ベンゼン (mg/L)	—	—	<0.001	0/4	—	—	0.01以下	
	セレン (mg/L)	<0.002	0/2	<0.002	0/4	<0.002	0/2	0.01以下	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	—	—	2.0	0/4	—	—	10以下	
	ふつ素 (mg/L)	—	—	0.10	0/2	—	—	0.8以下	
	ほう素 (mg/L)	—	—	0.09	0/2	—	—	1以下	
	1, 4-ジオキサン (mg/L)	—	—	<0.005	0/4	—	—	0.05以下	

注1) 表中の値は年平均値を示す。

注2) pH、DO、SSの( )は最小及び最大の値を、BODの( )は75%値を示す。

注3) 「適合しない割合(検体数)」は「環境基準値に適合しない検体数／総検体数」を示す。ただし、環境基準に具体的な数値が規定されていない項目、または環境基準の設定されていない地点及び項目については、「-／総検体数」と表示する。

注4) 表中の番号は、図 3.1.12の番号に対応する。

注5) 全シアン、総水銀、アルキル水銀、PCBについて、出典では年平均値が算出されていないが、測定結果はすべて不検出であったため「ND」とした。

出典：「令和5(2023)年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」(愛知県ホームページ)

表 3.1.19 河川の水質調査結果（尾張旭市：令和5年度）

番号	4	
河川名	矢田川（庄中町）	
区分	pH	BOD
	7.2	5.5 mg/L

注1) 数値は、年度間の平均値。

注2) 令和2年度から自主調査のため参考値とする。

出典：「令和6年版尾張旭市の統計」（令和7年3月 尾張旭市）

表 3.1.20 河川の水質調査結果（瀬戸市：令和6年度）

番号	5	6
測定場所	瀬戸川（三郷橋）	矢田川（本地大橋）
測定値	水素イオン濃度	7.6
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	1.3
	浮遊物質量 (mg/L)	3
	溶存酸素量 (mg/L)	10
評価	○ (D類型)	○ (C類型) <sup>注2)</sup>
(環境基準)	水素イオン濃度	6.0以上8.5以下
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	8以下
	浮遊物質量 (mg/L)	100以下
	溶存酸素量 (mg/L)	2以上

注1) 表中の番号は、図3.1.12の番号に対応する。

注2) 瀬戸川は類型未指定、矢田川上流（大森橋より上流）はD類型に指定されているが、瀬戸市では環境基本計画において上乗せでそれぞれD類型、C類型を目標に設定している。

出典：「令和7年度版第3次瀬戸市環境基本計画年次報告書」（令和7年10月 瀬戸市）

表 3.1.21 河川の水質調査結果（長久手市：令和6年度）

測定場所	項目	年	月	日	pH	BOD mg/L	COD mg/L	SS mg/L	DO mg/L	大腸菌群数 MPN/100ml	全窒素 mg/L	全りん mg/L
7 香流川 (香桶川 合流点)		6	5	15	7.6	2.1	6.6	1	10	190	1.3	0.14
		6	6	13	7.8	<0.5	5.8	1	7.5	80	1.2	0.11
		6	8	21	7.7	0.9	5.4	2	8.1	9200	1.4	0.13
		6	10	11	7.4	0.7	4.4	2	8.6	180	1.3	0.11
		6	12	5	7.2	1.2	3.0	2	9.8	210	2.6	0.200
		7	2	6	7.1	2.3	4.3	3	11	210	3.6	0.130
8 香流川 (下川原橋)		6	5	15	7.2	5.8	7.0	12	7.3	210	3.8	0.23
		6	6	13	7	3.2	7.5	4	5.5	130	4.4	0.18
		6	8	21	7.1	1.5	6.6	2	5.9	1200	4.9	0.17
		6	10	11	7.1	3.3	6.7	2	6.7	120	4.2	0.18
		6	12	5	7	2.3	8	1	6.4	40	7	0.32
		7	2	6	7	12	14	19	8.5	40	7.6	0.81
9 雁又川 (雁又橋)		6	5	15	7.6	4.7	10	38	8.2	710	6.3	0.85
		6	6	13	7.2	3.7	11	2	5.1	77	7.2	1.00
		6	8	21	6.8	8.9	12	6	4.1	10300	6.6	1.3
		6	10	11	6.8	13	13	6	5.6	2200	9.0	1.1
		6	12	5	6.7	15	17	12	6.3	1100	14.0	1.5
		7	2	6	6.7	29	34	41	6.8	5700	8.9	2.40
10 雁又川 (上西浦橋)		6	5	15	7.4	3.0	6.3	3	8.6	120	3.9	0.36
		6	6	13	7.4	0.9	7.4	2	8.5	370	4.2	0.41
		6	8	21	7.3	0.7	6.2	1	7.4	290	4.7	0.50
		6	10	11	7.3	<0.5	6.6	2	8.9	250	6.2	0.45
		6	12	5	7.4	1.7	6.7	2	9.9	200	7.0	0.61
		7	2	6	7.4	7.8	10.0	2	12	360	7.3	0.79
11 堀越川		6	6	13	7.7	<0.5	7.4	8	7.3	65	1.1	0.11
		7	2	6	7.4	2.8	5.7	1	11	100	4.2	0.070
12 鴨田川 (上流)		6	6	13	9.2	0.6	2.4	1	11	65	1.2	0.035
		7	2	6	8	3.1	4.2	5	12	150	3.1	0.090
13 鴨田川 (藤ノ木川 合流点)		6	5	15	9.5	2.0	2.5	1	9.7	130	1.5	0.054
		6	6	13	10.3	<0.5	3.9	5	9.3	150	1.3	0.027
		6	8	21	10.0	<0.5	3.1	<1	9.4	230	0.91	0.033
		6	10	11	8.5	2.3	5.6	1	9.9	310	1.6	0.240
		6	12	5	9.2	1.4	3.3	2	10	50	2.1	0.050
		7	2	6	9.4	4.5	4.1	6	15	370	2.6	0.040
14 森孝川		6	6	13	7.3	<0.5	5.9	8	6.5	75	2.1	0.14
		7	2	6	7.3	6.2	8.9	3	9.4	710	5.3	0.67

注) 表中の番号は、図 3.1.12 の番号に対応する。

## 【生活環境の保全に関する環境基準（参考）】

項目類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度(pH)	生物化学的酸 素要求量(BOD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
D	工業用水 2 級 農業用水 工業用水 3 級 環境保全	6.0 以上 8.5 以下	8mg/l 以下	100mg/l 以下	2mg/l 以上	—

注) 香流川は、水域の指定がないため、矢田川上流（大森橋上流）の基準であるD類型を参考にしている。

出典：「水質 河川・池の水質調査」（長久手市ホームページ）

表 3.1.22 河川の水質調査結果（名古屋市：令和6年度）

測定場所 項目	15 香流川（下川原橋）								
	Date	2024/5/22	2024/7/24	2024/9/12	2024/11/13	2025/1/15	2025/3/6	平均値	最大値
採水時刻	11:40	12:15	11:35	11:50	11:50	12:00			
気温 ℃	24.5	32.1	35.0	20.7	9.8	11.0	22.2	35.0	9.8
水温 ℃	22.4	28.1	31.5	21.1	14.0	13.5	21.8	31.5	13.5
水色	黄緑	灰緑	緑褐	緑褐	無色透明	褐色			
水深 m	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2
pH	7.4	6.9	7.6	7.2	7.2	7.3	7.3	7.6	6.9
透視度	100<	72	61	70	53	79		100<	53
DO mg/L	7.4	5.6	6.9	6.9	8.2	9.0	7.3	9.0	5.6
BOD mg/L	3.5	2.4	3.7	5.7	12.1	6.3	5.6	12.1	2.4
COD mg/L	7.0	6.6	7.5	7.4	9.6	9.6	8.0	9.6	6.6
C1 mg/L	1.95E+01	1.67E+01	1.95E+01	2.37E+01	2.93E+01	3.03E+01	2.32E+01	3.03E+01	1.67E+01
SS mg/L	5.5	4.6	2.9	5.5	10.0	6.7	5.9	10.0	2.9
T-N mg/L	2.98	3.05	4.40	6.48	7.05	3.05	4.50	7.05	2.98
K-N mg/L	0.77	0.82	1.01	2.58	4.75	1.65	1.93	4.75	0.77
NO3-N mg/L	1.98	1.86	2.62	3.28	1.64	1.33	2.12	3.28	1.33
NO2-N mg/L	0.23	0.37	0.76	0.62	0.66	0.07	0.45	0.76	0.07
T-P mg/L	0.14	0.18	0.16	0.25	0.52	0.35	0.27	0.52	0.14
PO4-P mg/L	0.10	0.11	0.11	0.12	0.27	0.16	0.14	0.27	0.10
MPN MPN/100ml	4.9E+03	7.9E+03	1.3E+04	3.3E+03	6.8E+01	4.9E+03	5.7E+03	1.3E+04	6.8E+01

注) 表中の番号は、図 3.1.12 の番号に対応する。

出典：「令和 6 年度 河川水質調査結果」(名古屋市ホームページ)

表 3.1.23 ため池の水質調査結果（長久手市：令和6年度）

測定場所 項目	1		2		3	
	新池	立石池	立石池	宮ヶ洞池	立石池	宮ヶ洞池
年月日	6.6.13	7.2.5	6.6.12	7.2.5	6.6.12	7.2.5
採水時間	9:10	16:20	16:15	16:45	15:50	17:00
気温 ℃	27.7	3.6	33.3	5.4	32.6	1.8
水温 ℃	25.3	6.4	27.7	6.9	25.5	6.8
pH	7.6	8.6	7.8	7.4	8.5	7.7
BOD mg/L	1.3	17	1.1	2.8	1.0	2.9
COD mg/L	5.5	22	4.0	4.5	2.8	5.9
SS mg/L	5	21	3	2	2	5
DO mg/L	8.5	14	8.3	11	9.3	11
大腸菌群数 MPN/100ml	3	35	<1	<1	1	1
全窒素 mg/L	1.1	6.1	0.23	0.32	0.24	0.26
全りん mg/L	0.16	0.70	0.017	0.018	0.018	0.025
電気伝導率 mS/m	11	57	5.7	6.0	6.2	11
アンモニア性窒素 mg/L	0.04	1.2	0.10	0.06	0.07	0.04
硝酸性窒素 mg/L	0.25	1.9	<0.05	<0.05	0.08	<0.05
亜硝酸性窒素 mg/L	<0.05	0.14	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
有機体窒素 mg/L	0.77	2.9	0.11	0.26	0.1	0.22
陰イオン界面活性剤 mg/L	<0.02	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02

注) 表中の番号は、図 3.1.12 の番号に対応する。

出典：「水質 河川・池の水質調査」(長久手市ホームページ)

表 3.1.24 ため池の水質調査結果（名古屋市：令和5年度）

項目	測定場所	4 明徳池					
		20230413	20230712	20231018	20240111	年平均値	最大値
採水月日		20230413	20230712	20231018	20240111	年平均値	最大値
採水時刻		10:15	11:00	12:25	10:50	—	—
気温	℃	17.2	33.8	22.8	6.8	20.2	33.8
水温	℃	17.8	30.9	22.2	6.0	19.2	30.9
水色		茶褐	茶	緑	茶褐	—	—
pH	比色	6.8	6.8	7.4	6.7	6.9	7.4
透視度	Cm	18	27	19	45	27	45
D0	mg/L	6.7	9.0	10.5	9.1	8.8	10.5
BOD	mg/L	8.9	3.6	10.5	10.1	8.3	10.5
COD	mg/L	24.0	10.1	24.8	22.3	20.3	24.8
C1	mg/L	5.4	3.7	4.3	5.0	4.6	5.4
SS	mg/L	28.0	11.5	26.6	11.0	19.3	28.0
全窒素	mg/L	1.31	0.83	1.14	1.14	1.10	1.31
全リン	mg/L	0.125	0.049	0.061	0.079	0.078	0.125
Chl.a	μg/L	49	21	91	29	47	91
							21

注) 表中の番号は、図 3.1.12 の番号に対応する。

出典：「令和 5 年度 ため池水質調査結果」(名古屋市ホームページ)

### 3.1.5.3 水底の底質

矢田川（大森橋）では水底の底質に係る調査（ダイオキシン類）が実施されており、令和 6 年度の調査結果をみると 0.86pg-TEQ/g であり、環境基準（150pg-TEQ/g）を満足している。



## 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- 市区界
- 河川
- 用水路等
- 水質調査地点（愛知県） □ ため池調査地点（長久手市、名古屋市）
- 水質調査地点（尾張旭市、瀬戸市、長久手市及び名古屋市）

注) 図中の番号は、表 3.1.18～表 3.1.24の番号と対応する。

出典：「国土数値情報（河川データ）」（国土交通省国土政策局国土情報課ホームページ）

「令和6年版尾張旭市の統計」（令和7年3月 尾張旭市）

「令和7年度版第3次瀬戸市環境基本計画年次報告書」（令和7年10月 瀬戸市）

「水質 河川・池の水質調査」（長久手市ホームページ）

「令和6年度 河川水質調査結果」（名古屋市ホームページ）

「令和5（2023）年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」（愛知県ホームページ）

「令和5年度 ため池水質調査結果」（名古屋市ホームページ）

「愛知用水事業平面図」（水資源機構 愛知用水総合事業部）

「電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成」

1:40,000

0 0.4 0.8

1.6 km

N

図 3.1.12 主要な河川・用水路等の分布状況

### 3.1.6 地形及び地質の状況

#### 3.1.6.1 地形

対象事業実施想定区域及びその周囲の地形分類図は、図 3.1.13 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の地形は砂礫台地となっており、瀬戸川から矢田川にかけての北岸地域及び矢田川と香流川に挟まれた地域は河岸段丘である矢田川台地が分布している。また、矢田川北岸や香流川沿いには、谷底平野・氾濫平野が見られる。人工改変地も点在している。

#### 3.1.6.2 地質

対象事業実施想定区域及びその周囲の表層地質図は、図 3.1.14 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の表層地質は半固結堆積物の砂・泥の互層となっており、同様の地質が南東側の丘陵地にも広がっている。また、対象事業実施想定区域西側から北側を通って東側にかけては未固結堆積物の砂・泥が広がっているほか、対象事業実施想定区域南側から南西側にかけては未固結堆積物の礫を主とする層が広くみられる。

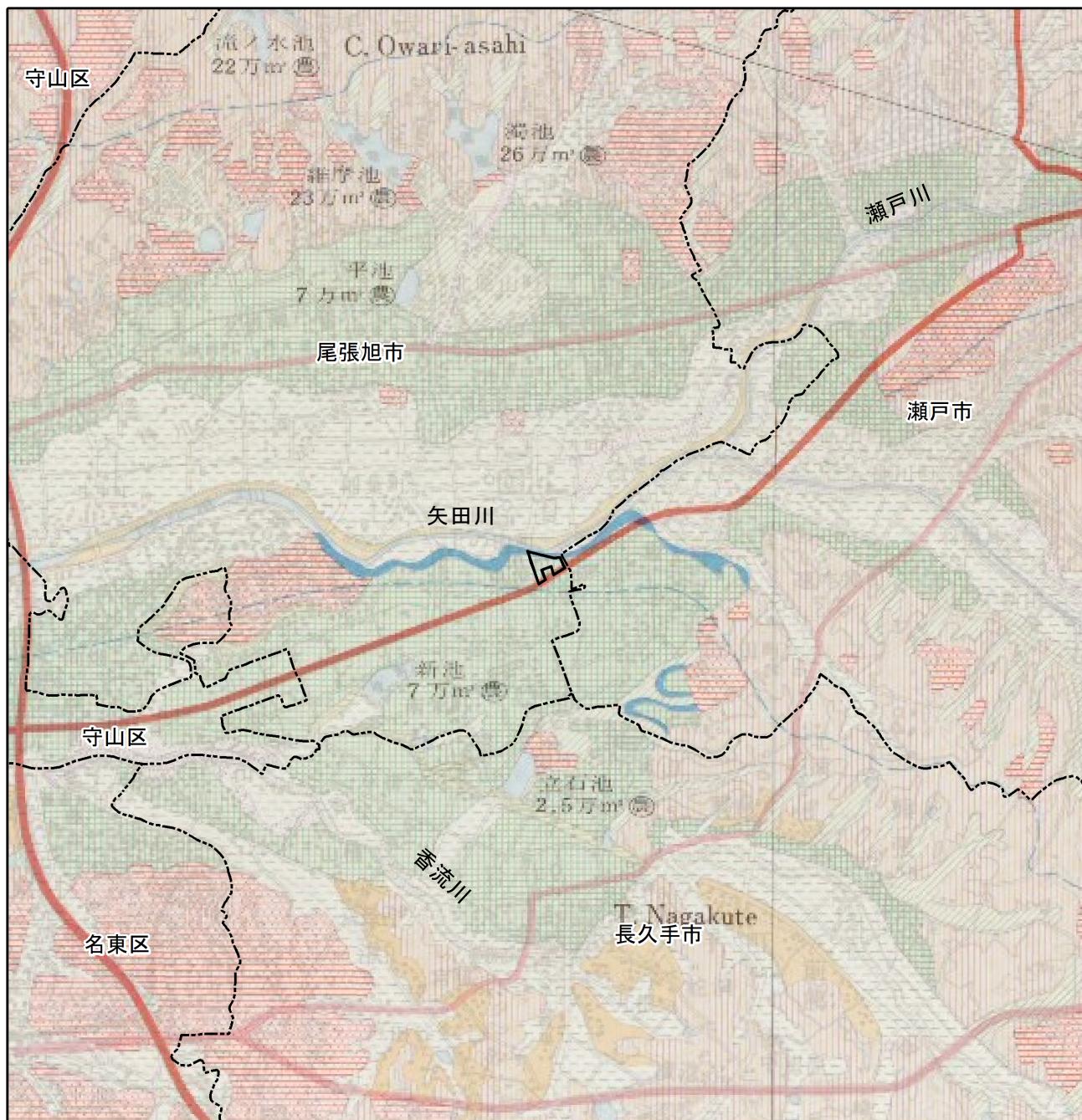
#### 3.1.6.3 重要な地形・地質

「日本の地形レッドデータブック 第1集」(平成6年2月 小泉・青木編) や「日本の地形レッドデータブック 第2集」(平成14年3月 小泉・青木編)、「第3回自然環境保全基礎調査」(平成元年 環境庁) 等によると、対象事業実施想定区域及びその周囲には重要な地形・地質は存在していない。

#### 3.1.6.4 断層

対象事業実施想定区域及びその周囲の活断層の状況は、図 3.1.15 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の南東側に、推定活断層（地表）（位置やや不明確）が存在している。



凡 例

□ 対象事業実施想定区域

--- 市区界

山地および丘陵地

丘陵地

台地

砂礫台地

低地

扇状地・勾配の急な谷底

谷底平野・氾濫平野

河原

その他

崖

河川・溜池・人造湖

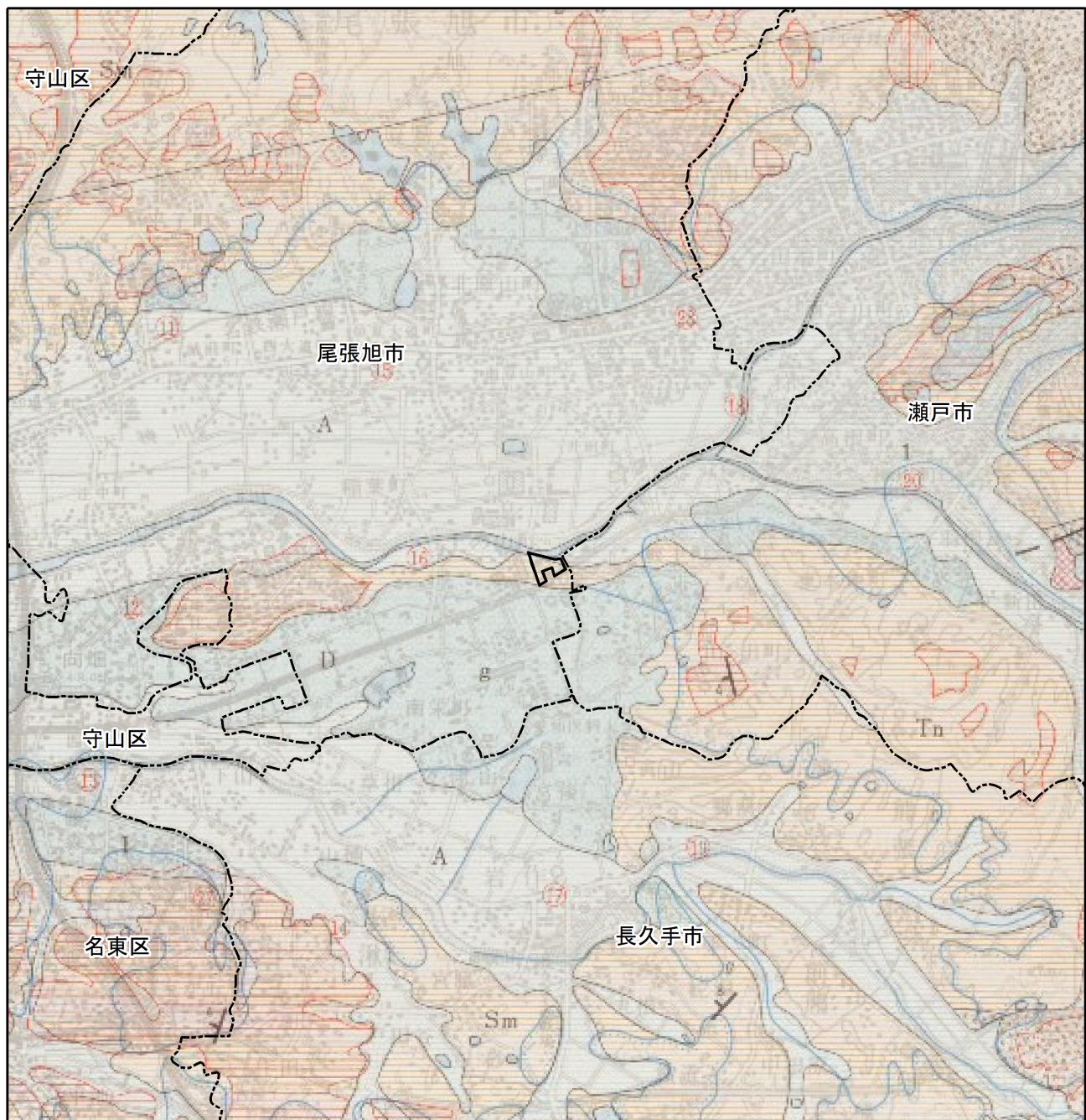
人工改変地

国道および主要地方道

出典：「土地分類基本調査図 地形分類図 濑戸」（昭和 57 年 6 月 愛知県）

1:40,000  
0 0.4 0.8 1.6 km  
N

図 3.1.13 地形分類図



## 凡 例

### □ 対象事業実施想定区域

----- 市区界

### 未固結堆積物

砂・泥

卷之三

碑文主

第2回 半固結堆積物

断層

## 十一 圖解堆積物

砂・泥の  
堆積

卷一百一十一

砂・粘土

## 固結堆

altsm 粘板岩·砂岩

A 斷面線

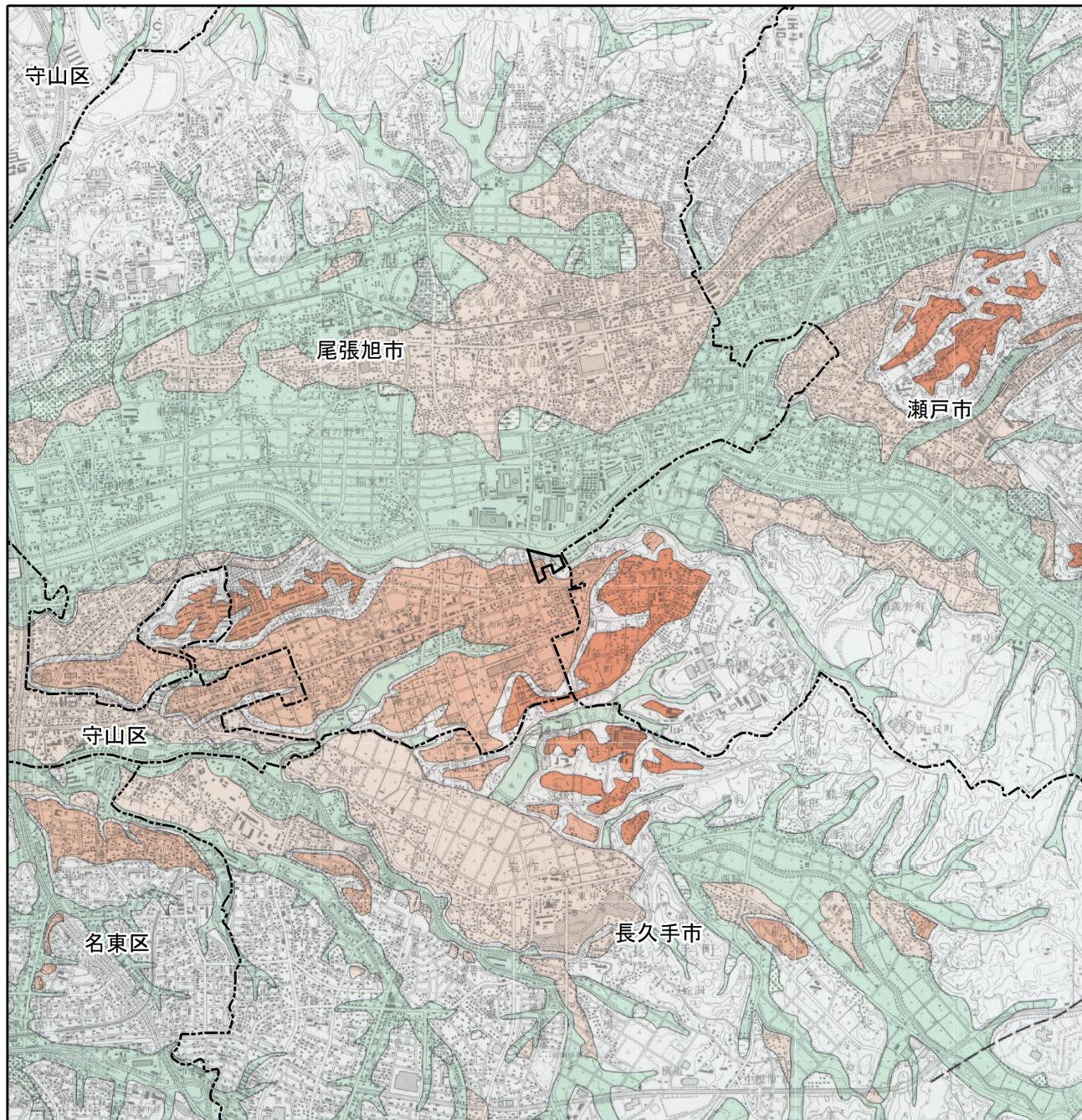
出典：「土地分類基本調査図 表層地質図 瀬戸」（昭和 57 年 6 月 愛知県）

1:40,000

0 0.4 0.

1.6

図 3.1.14 表層地質図



#### 凡 例

<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	対象事業実施想定区域	<span style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	推定活断層（地表）（位置やや不明確）
<span style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	市区界		
		<span style="background-color: #c8512e; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	上位段丘面
		<span style="background-color: #f0a050; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	中位段丘面
		<span style="background-color: #f5c7b1; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	下位段丘面
		<span style="background-color: #82e0AA; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	沖積低地
		<span style="background-color: #2e9e9e; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	扇状地・沖積錐
		<span style="background-color: #2e9e9e; border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	埋立地・干拓地

出典：「1:25,000 都市圏活断層図「瀬戸」（2004）」（国土地理院ホームページ）

1:40,000  
0 0.4 0.8 1.6 km  
N

図 3.1.15 活断層の位置

### 3.1.7 地盤、地下水及び土壤の状況

#### 3.1.7.1 地盤沈下

対象事業実施想定区域西側に位置する名古屋市では、地盤沈下の調査が行われており、令和6年調査結果は、表 3.1.25 に示すとおりである。250 地点で水準測量が実施されており、令和5年調査結果と令和6年調査結果を比較すると、その変動量の平均は+1.2mm で、地盤沈下の目安とされる1cm以上の沈下がみられた地点はなかった。なお、尾張旭市、瀬戸市及び長久手市では調査は実施されていない。

表 3.1.25 地盤沈下の状況（令和6年）

市名	有効水準点数	沈下点数	変動量 (mm)		
			平均	最大 (-)	最低 (+)
名古屋市	250 (252)	95 (32)	+1.2 (+0.2)	-7.6 (-0.5)	+10.9 (+0.7)

注1) ( ) 内は、前回測量時である令和5年数値。

注2) 変動量は1年間に換算した変動量を示す。

出典：「2024年 地盤沈下調査結果」（令和7年9月 愛知県）

### 3.1.7.2 地下水

対象事業実施想定区域及びその周囲における地下水質調査結果は、表 3.1.26 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の地下水質の調査としては、地下水質の概況を把握するためのメッシュ調査が 2 地点、過去に地下水汚染が判明した地域の継続的な監視を行うための定期モニタリング調査が 5 地点で実施されている。

定期モニタリングの調査結果をみると、長久手市前熊でふつ素が、長久手市岩作でトリクロロエチレンが環境基準を超過している。

表 3.1.26(1) 地下水質調査結果（令和5年度 概況調査（メッシュ））

調査項目	調査地点	尾張旭市平子町北	瀬戸市坊金町	環境基準
	調査区分	概況調査（メッシュ）		
カドミウム	mg/L	<0.0005	<0.0005	0.003 以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	0.01 以下
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	0.02 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	0.01 以下
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	0.0005 以下
アルキル水銀	mg/L	—	—	検出されないこと
P C B	mg/L	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	0.004 以下
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	0.1 以下
1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	0.04 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	1 以下
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	0.01 以下
1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.002 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	0.006 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	0.02 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	0.01 以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	1.0	1.8	10 以下
ふつ素	mg/L	<0.08	<0.08	0.8 以下
ほう素	mg/L	0.02	<0.02	1 以下
1, 4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	0.05 以下
pH		6.4	5.7	
電気伝導率	mS/m	14	10	

注 1) 表中の「<」は、報告下限値未満であることを示す。

注 2) 表中の「—」は、調査を行っていないことを示す。

注 3) 表中の「■」は、環境基準を超過していることを示す。

出典：「令和 5 (2023) 年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」（愛知県ホームページ）

表 3.1.26(2) 地下水質調査結果（令和5年度 定期モニタリング）

調査項目	調査地点	長久手市前熊		環境基準	
	調査区分	定期モニタリング（継続監視）調査 (概況調査等により判明した汚染)			
	発端・周辺の区分	発端井戸	周辺井戸		
	井戸場所	長久手市前熊	長久手市前熊		
カドミウム	mg/L	—	—	0.003 以下	
全シアン	mg/L	—	—	検出されないこと	
鉛	mg/L	—	—	0.01 以下	
六価クロム	mg/L	—	—	0.02 以下	
砒素	mg/L	—	—	0.01 以下	
総水銀	mg/L	—	—	0.0005 以下	
アルキル水銀	mg/L	—	—	検出されないこと	
P C B	mg/L	—	—	検出されないこと	
ジクロロメタン	mg/L	—	—	0.02 以下	
四塩化炭素	mg/L	—	—	0.002 以下	
クロロエチレン (別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	mg/L	—	—	0.002 以下	
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	0.004 以下	
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	0.1 以下	
1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	0.04 以下	
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	1 以下	
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	0.006 以下	
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	0.01 以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	0.01 以下	
1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	0.002 以下	
チウラム	mg/L	—	—	0.006 以下	
シマジン	mg/L	—	—	0.003 以下	
チオベンカルブ	mg/L	—	—	0.02 以下	
ベンゼン	mg/L	—	—	0.01 以下	
セレン	mg/L	—	—	0.01 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	10 以下	
ふつ素	mg/L	10	<0.08	0.8 以下	
ほう素	mg/L	—	—	1 以下	
1, 4-ジオキサン	mg/L	—	—	0.05 以下	
pH		7.2	6.0		
電気伝導率	mS/m	18	11		

注 1) 表中の「&lt;」は、報告下限値未満であることを示す。

注 2) 表中の「—」は、調査を行っていないことを示す。

注 3) 表中の「■」は、環境基準を超過していることを示す。

出典：「令和5(2023)年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」(愛知県ホームページ)

表 3.1.26(3) 地下水質調査結果（令和5年度 定期モニタリング）

調査項目	調査 地点	長久手市 岩作			環境基準	
	調査 区分	定期モニタリング調査 (事業者からの報告等により判明した汚染)				
	発端・周辺 の区分	発端代替	周辺井戸 1	周辺井戸 2		
	井戸場所	長久手市 岩作	長久手市 岩作	長久手市 岩作		
カドミウム	mg/L	—	—	—	0.003 以下	
全シアン	mg/L	—	—	—	検出されないこと	
鉛	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
六価クロム	mg/L	—	—	—	0.02 以下	
砒素	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
総水銀	mg/L	—	—	—	0.0005 以下	
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	検出されないこと	
P C B	mg/L	—	—	—	検出されないこと	
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	0.02 以下	
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	0.002 以下	
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 以下	
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	0.004 以下	
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 以下	
1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 以下	
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	1 以下	
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	0.006 以下	
トリクロロエチレン	mg/L	0.097	0.085	<0.001	0.01 以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	0.002 以下	
チウラム	mg/L	—	—	—	0.006 以下	
シマジン	mg/L	—	—	—	0.003 以下	
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	0.02 以下	
ベンゼン	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
セレン	mg/L	—	—	—	0.01 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	10 以下	
ふつ素	mg/L	—	—	—	0.8 以下	
ほう素	mg/L	—	—	—	1 以下	
1, 4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	0.05 以下	
pH		6.1	6.3	5.9		
電気伝導率	mS/m	13	11	9.4		

注 1) 表中の「&lt;」は、報告下限値未満であることを示す。

注 2) 表中の「—」は、調査を行っていないことを示す。

注 3) 表中の「■」は、環境基準を超過していることを示す。

出典：「令和 5 (2023) 年度公共用水域及び地下水の水質調査結果」（愛知県ホームページ）

### 3.1.7.3 土壤

#### (1) 土壤

対象事業実施想定区域及びその周囲の土壤図は、図 3.1.16 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域の土壤は市街地・人工改変地・ゴルフ場・その他となっている。対象事業実施想定区域の周囲は、黄色土壤の乙部統、古屋統、中畠統及び灰色低地土壤の針曾根統等となっている。

#### (2) 土壌汚染

対象事業実施想定区域及びその周囲では、表 3.1.27 に示す場所が「土壤汚染対策法」(平成 14 年法律第 53 号) に係る形質変更時要届出区域に指定されている。

なお、対象事業実施想定区域及びその周囲は「土壤汚染対策法」に係る要措置区域には指定されていない。

表 3.1.27 形質変更時要届出区域

指定番号	指定年月日	区域が存在する場所	区域の面積	基準に適合しない特定有害物質
形-35	令和 3 年 2 月 26 日	長久手市岩作雁又 1 番 11 及び 1 番 12 並びに岩作北山 4 番 11 及び 4 番 15 の各一部	158.2 m <sup>2</sup>	砒素及びその化合物 (溶出)
形-81	令和 7 年 7 月 29 日	長久手市蟹原 2201 番、2202 番、2207 番、2208 番、2209 番、2210 番、2211 番、2212 番、2224 番及び 2225 番の各一部	2,838.50m <sup>2</sup>	クロロエチレン (溶出) 1,2-ジクロロエチレン (溶出) トリクロロエチレン (溶出) ふつ素及びその化合物 (溶出)

注) 令和 7 年 10 月 8 日時点

出典:「土壤汚染対策法に基づく要措置区域・形質変更時要届出区域の指定状況」(愛知県ホームページ)

#### (3) 土地利用の履歴

「地図・空中写真閲覧サービス」(国土交通省国土地理院ホームページ) によると、対象事業実施想定区域及びその周囲の土地利用は、昭和 35 年ごろまでは主に荒地となっており、その後、対象事業実施想定区域近傍には工場や耕作地等が見られるようになる。対象事業実施想定区域は、昭和 48 年 8 月に破碎処理施設、昭和 49 年 7 月にごみ焼却施設が完成し、それぞれ平成 2 年 3 月、平成 4 年 3 月まで稼働していた。その後、平成 2 年 3 月に現粗大ごみ処理施設、平成 4 年 3 月に現晴丘センターが建設され、現在も稼働している。

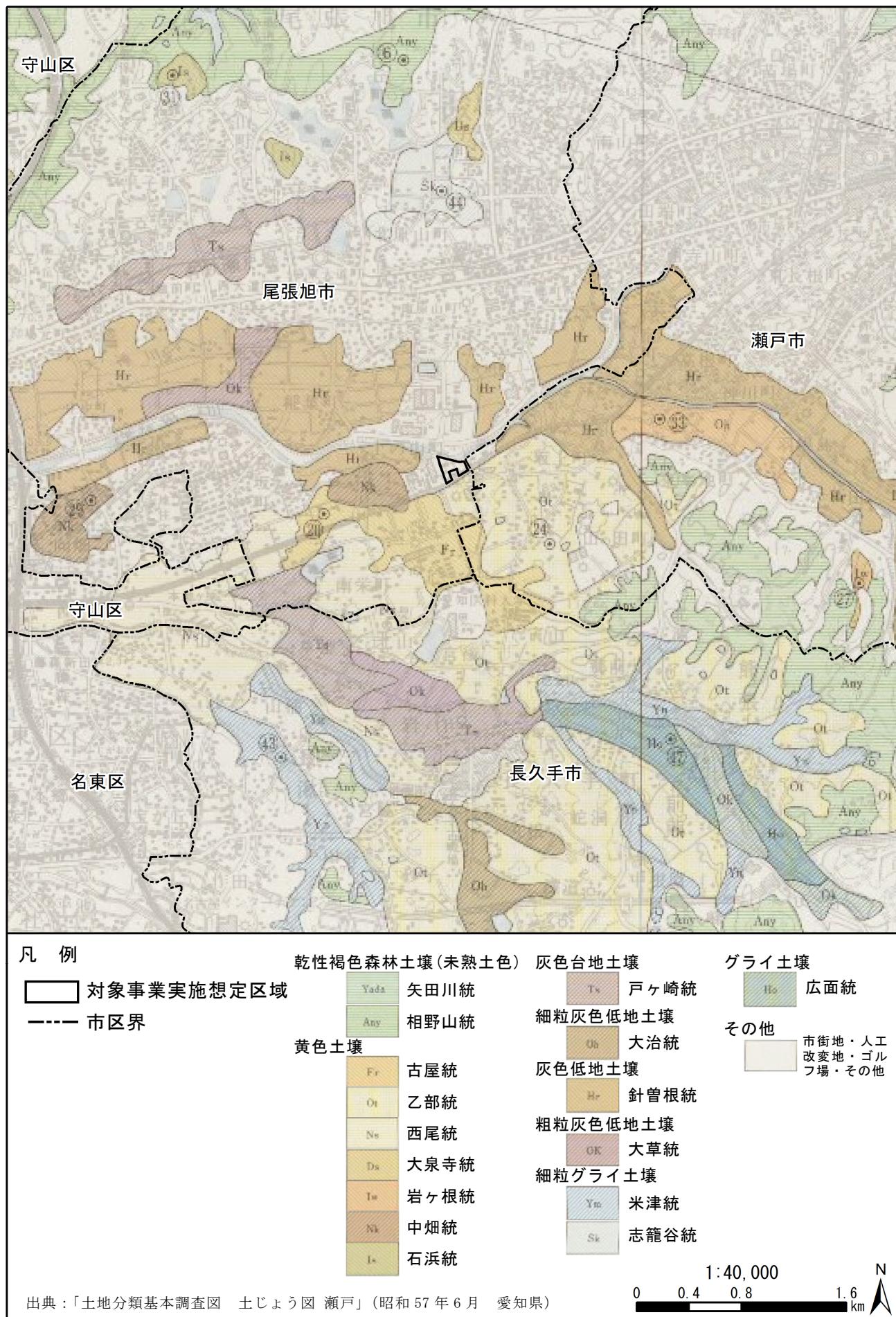


図 3.1.16 土壤図

### 3.1.8 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

#### 3.1.8.1 動物

##### (1) 動物相の概要

対象事業実施想定区域及びその周囲の動物の状況については、表 3.1.28 に示す既存資料により整理した。

表 3.1.28(1) 確認文献一覧

番号	文献	分布想定種
1	「レッドデータブックあいち 2020」 (令和 2 年 3 月 愛知県)	調査対象とした野生動物（哺乳類、爬虫類、両生類、昆虫類、クモ類）のうち、対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種または尾張旭市、瀬戸市、長久手市、名古屋市での分布記載のある種 (鳥類、魚類、貝類はメッシュ情報なし)
2	名古屋市版レッドリスト 2025 (令和 7 年 4 月 名古屋市) レッドデータブックなごや 2025 動物編 (令和 7 年 4 月 名古屋市)	調査対象とした野生動物（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、クモ類、貝類）のうち、新規掲載種が対象事業実施想定区域及びその周囲に含まれる名古屋市守山区、名東区で確認されている種
3	「第 2 回～第 7 回自然環境保全基礎調査」 (昭和 53 年～平成 24 年 環境省) 哺乳類（中大型哺乳類分布調査、要注意鳥獣（クマ等）生息分布調査） (平成 27 年度～令和 3 年度、環境省)	調査対象とした野生動物（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類）のうち、対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
4	「全国鳥類繁殖分布調査報告 日本の鳥の今を描こう 2016～2021 年」 (令和 3 年 10 月 鳥類繁殖分布調査会)	調査対象とした野生動物（鳥類）のうち対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
5	「全国鳥類越冬分布調査報告 2016～2022 年」 (令和 5 年 2 月 特定非営利活動法人 バードリサーチ 公益財団法人 日本野鳥の会)	調査対象とした野生動物（鳥類）のうち対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
6	「愛知の野鳥 1995」 (愛知県農地林務部自然保護課)	対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種
7	令和 3 年度 河川水辺の国勢調査 (令和 4 年 愛知県)	調査対象とした野生動物（魚類）のうち矢田川で確認されている種
8	尾張旭市自然環境基礎調査報告書 (平成 13 年 3 月、令和 5 年 3 月 尾張旭市)	調査で確認されている種
9	尾張旭市誌（本文編）(1971 年 尾張旭市)	市誌に記載されている鳥類、魚類、貝類、昆虫類、両生類、爬虫類、その他動物
10	瀬戸市史 資料編 2(自然) (1986 年 3 月 瀬戸市)	目録記載の種
11	海上の森 確認種リスト(令和元年 愛知県)	調査で確認されている種
12	長久手町史 資料編 2 自然 (昭和 58 年 4 月 長久手町)	目録記載の種
13	名古屋市生物目録 (2015 年 名古屋市)	名古屋市の生物目録（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、クモ類、貝類）なお、海域・干潟を生息環境とする種は除く。
14	なごや生きものマップ (令和 7 年 4 月現在 名古屋市)	対象事業実施想定区域及びその周囲に含まれる地域で確認されている種

表 3.1.28(2) 確認文献一覧

番号	文献	分布想定種
15	なごや生きもの一斉調査 (2023 ハエトリグモ編、2022 陸貝編、2021 テントウムシ編、2020 バッタ編、2018 アリ編、2017 淡水貝編、2016 セミの抜け殻編、2015 カマキリ編、2014 甲殻類編、H24 なごやで探そう!カタツムリ、H24 なごや丸ごと鳥さがし!!) (平成 25 年 3 月～令和 5 年 4 月 名古屋市)	調査対象とした野生動物のうち、対象事業実施想定区域及びその周囲に含まれている名古屋市守山区、名東区で確認されている種
16	市内ため池における 2017 年度および 2021 年度の生物調査結果概要（底生動物、魚類、両生類） (令和 5 年 2 月 名古屋市環境科学調査センター年報)	調査対象とした野生動物のうち、対象事業実施想定区域及びその周囲に含まれている名古屋市守山区、名東区のため池で確認されている種
17	新修名古屋市史資料編 自然 目録 (平成 20 年 3 月 名古屋市)	目録記載の種 なお、海域・干潟を生息環境とする種は除く。

## ① 哺乳類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる哺乳類は、表 3.1.29 に示すとおり、7 目 20 科 40 種である。

対象事業実施想定区域及びその周囲では、農地や河川敷等の草地や樹林を生息環境とするタヌキ、キツネ、ニホンイタチ、市街地や河川上空等ひらけた空間を利用するアブラコウモリなどが確認されている。

また、アライグマやヌートリアといった外来種も確認されている。

表 3.1.29 確認種一覧（哺乳類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号												
					1	2	3	8	10	11	12	13	14	17			
1	モグラ目（食虫目）	トガリネズミ科	ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
2		モグラ科	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3			シナノミズラモグラ	<i>Euroscaptor mizura ohai</i>													
4			アズマモグラ	<i>Mogera imazumi</i>							●						
5			コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	
-			モグラ属の一種	<i>Mogera sp.</i>			●			●	●	●	●	●	●	●	
6	コウモリ目（翼手目）	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ (ニホンコキクガシラコウモリ)	<i>Rhinolophus cornutus (R. c. cornutus)</i>							●						
7			キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	●	●				●	●	●	●	●	●	●	
8		ヒナコウモリ科	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
9			ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>	●												
-			ヒナコウモリ科の一種	<i>Vesperilionidae sp.</i>					●								
10		オヒキコウモリ科	オヒキコウモリ	<i>Tadarida insignis</i>	●	●							●				
-		コウモリ目（翼手目）	Chiroptera				●		●	●	●	●	●	●	●	●	
11	サル目（霊長目）	オナガザル科	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i>			●			●	●	●	●	●	●	●	
12	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	<i>Lepus brachyrurus</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
13			アナウサギ	<i>Oryctolagus cuniculus</i>													
14	ネズミ目（齧歯目）	リス科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
15			シマリス（チョウセンシマリス）	<i>Tamias sibiricus (T. s. barbieri)</i>						●							
16			ムササビ	<i>Petaurus leucogenys</i>	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
17		ネズミ科	スミスネズミ	<i>Craseomys smithii</i>							●						
18			ハタネズミ	<i>Alexandromys montebelli</i>	●	●	●					●	●	●	●	●	
19			アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	
20			ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i>							●						
21			カヤネズミ	<i>Microtus minutus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
22			ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
23			クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>							●	●	●	●	●	●	
24			ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>			●				●	●	●	●	●	●	
-			ネズミ科の一種	<i>Muridae sp.</i>							●						
25		ヌートリア科	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
26	ネコ目（食肉目）	クマ科	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>	●												
27		アライグマ科	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
28		イヌ科	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
29			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
30			ノイヌ（オオカミ）	<i>Canis lupus</i>													
31		イタチ科	テン（ホンドテン）	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
32			シベリアイタチ	<i>Mustela sibirica</i>													
33			ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	●					●	●	●	●	●	●	●	
34			イタチ属の一種	<i>Mustela sp.</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	
35		ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>		●	●			●	●	●	●	●	●	●	
36		ネコ科	ノネコ	<i>Felis catus</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	
37	ウシ目（偶蹄目）	イノシシ科	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
38			交雑イノシシ（イノブタ）	<i>Sus scrofa</i>													
39		シカ科	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	
40		ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>		●			●	●	●	●	●	●	●	●	
	7目	20科	40種		12種	16種	23種	21種	11種	29種	10種	28種	3種	29種	29種		

注1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

## ② 鳥類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる鳥類は、表 3.1.30 に示すとおり、22 目 71 科 326 種である。

住宅地周辺を利用するスズメやムクドリ、メジロ、河川敷や水田等耕作地を利用するコサギ、アオサギ等サギ科や草地を利用するヒバリ、ケリ、樹林地を生息環境とするカケスやヤマガラ等のシジュウカラ科、オオルリ等ヒタキ科が確認されているほか、タカ科、フクロウ科などの生態系上位種も確認されている。また、ソウシチョウやガビチョウ等の外来種も確認されている。

表 3.1.30(1) 確認種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号													
					1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	15	17
1	カモ目	カモ科	コクガン	<i>Branta bernicla</i>				●										
2			ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>				●			●	●				●	●	
3			マガソ	<i>Anser albifrons</i>				●			●	●				●	●	
4			カリガネ	<i>Anser erythropus</i>				●										
5			コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>		●	●											
6			コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>		●	●			●					●			
7			オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>				●										
8			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	●			●							●		●	
9			アカツクシガモ	<i>Tadorna ferruginea</i>														
10			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
11			トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>	●			●	●	●	●							
12			シマアジ	<i>Spatula querquedula</i>														
13			ハシビロガモ	<i>Spatula clypeata</i>	●			●	●	●	●			●	●	●	●	
14			オカヨシガモ	<i>Mareca strepera</i>				●	●	●	●				●	●	●	
15			ヨシガモ	<i>Mareca falcata</i>	●			●	●	●	●			●	●	●	●	
16			ヒドリガモ	<i>Mareca penelope</i>				●	●	●	●			●	●	●	●	
17			アメリカヒドリ	<i>Mareca americana</i>				●	●	●	●			●	●	●	●	
18			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	
19			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	
20			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	
21			コガモ	<i>Anas crecca</i>	●			●	●	●	●		●	●	●	●	●	
22			オオホシハジロ	<i>Aythya valisineria</i>				●										
23			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	
24			アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>				●							●			
25			メジロガモ	<i>Aythya nyroca</i>					●									
26			クビワキンククロ	<i>Aythya collaris</i>											●			
27			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	
28			スズガモ	<i>Aythya marila</i>		●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	
29			シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>	●			●	●	●	●							
30			ビロードキンクロ	<i>Melanitta stejnegeri</i>	●				●									
31			クロガモ	<i>Melanitta americana</i>	●				●									
32			コオリガモ	<i>Clangula hyemalis</i>					●						●	●	●	
33			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>					●						●	●	●	
34			ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>		●			●	●	●	●		●	●	●	●	
35			カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>	●				●	●	●	●		●	●	●	●	
36			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>					●						●			
37			コウライアイサ	<i>Mergus squamatus</i>					●									
38			アヒル	<i>Anas platyrhynchos var. domesticus</i>					●									
39	キジ目	キジ科	ヤマドリ	<i>Syrmaticus soemmerringii</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
40			キジ	<i>Phasianus versicolor</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
41			ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
42			キジ科の一種	<i>Phasianidae sp.</i>														
43			ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
44	アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
45			アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
46			カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Iherocrax hyperythrus</i>	●			●								
47			ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
48			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
49			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
50	ハト目	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
51			オオバト	<i>Trogon sieboldii</i>														
52	ツル目	クイナ科	クイナ	<i>Rallus indicus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
53			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
54			オオバン	<i>Fulica atra</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	
55			シマクイナ	<i>Coturnicops exquisitus</i>														
56			ヒクイナ	<i>Zapornia fusca</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
57			ツルクイナ	<i>Gallicrex cinerea</i>														
58			シロハラクイナ	<i>Amadorornis phoenicurus</i>														
59			ナベヅル	<i>Grus monacha</i>														
60	カツブリ目	カツブリ科	カツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
61			アカエリカツブリ	<i>Podiceps grisegena</i>	●				●									
62			カムリカツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
63			ミミカツブリ	<i>Podiceps auritus</i>	●				●									
64			ハジロカツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>					●									
65			ミヤコドリ科	<i>Haematoopus ostralegus</i>														
66			セイタカシギ科	<i>Himantopus himantopus</i>	●				●									
67			ソリハシセイタカシギ	<i>Recurvirostra avosetta</i>														
68			チドリ科	<i>Vanellus vanellus</i>														
69			タゲリ	<i>Vanellus cinereus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
70	チドリ目	チドリ科	ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>														
71			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>														
72			ハジロチドリ	<i>Charadrius hiaticula</i>														
73			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
74			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>														
75			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>														
76			オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>														
77			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>														

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第 8 版 掲載鳥類リスト」(令和 6 年 10 月 日本鳥学会) に準拠した。

表 3.1.30(2) 確認種一覽 (鳥類)

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版 掲載鳥類リスト」(令和6年10月 日本鳥学会)に準拠した。

表 3.1.30(3) 確認種一覽 (鳥類)

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版 掲載鳥類リスト」(令和6年10月 日本鳥学会)に準拠した。

表 3.1.30(4) 確認種一覧 (鳥類)

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号														
					1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	15	17	
271	スズメ目	ヒタキ科	コルリ	<i>Larvivora cyane</i>	●			●					●	●		●		●	
272			コマドリ	<i>Larvivora akahige</i>	●			●					●	●		●		●	
273			マミジロキビタキ	<i>Ficedula zanthopygia</i>															
274			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
275			ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>															
276			ニシオジロビタキ	<i>Ficedula parva</i>					●										
277			オジロビタキ	<i>Ficedula albicilla</i>														●	
278			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
279			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
280			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
281			ノビタキ	<i>Saxicola stejnegeri</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
282			カワガラス科	<i>Cinclus pallasi</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
283			スズメ科	<i>Passer cinnamomeus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
284			スズメ	<i>Passer montanus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
285			イワヒバリ科	<i>Prunella rubida</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
286			セキレイ科	<i>Dendronanthus indicus</i>															
287			キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
288			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
289			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
-			セキレイ属の一種	<i>Motacilla sp.</i>															
290			ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
291			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
292	アトリ科	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
293			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
294			コイカル	<i>Eophona migratoria</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
295			イカル	<i>Eophona personata</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
296			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>															
297			アカウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula rosacea</i>															
298			ハギマシコ	<i>Leucosticte arctoa</i>															
299			ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i>															
300			オオマシコ	<i>Carpodacus roseus</i>															
301			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
302			オオカワラヒワ	<i>Chloris sinica kawarabia</i>															
303			ベニヒワ	<i>Acanthis flammea</i>															
304			イスカ	<i>Loxia curvirostra</i>															
305			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>															
306	ツメナガホオジロ科	ホオジロ科	ユキホオジロ	<i>Plectrophenax nivalis</i>															
307			ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
308			ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
309			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
310			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
311			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	●			●											
312			アオジ	<i>Emberiza personata</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
313			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
314			シベリアジュリン	<i>Emberiza pallasi</i>						●									
315			コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i>	●						●								
316			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>							●								
317			コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>							●								
318			カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>							●								
319	インコ目	オウム科	オカメインコ	<i>Nymphicus hollandicus</i>															
320			インコ科	<i>Psephotus krameri</i>															
321			セキセインコ	<i>Melopsittacus undulatus</i>					●	●									
322			ガビチョウ科	<i>Leiothrix lutea</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
323			ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
324			カエデチョウ科	<i>Lonchura malacca</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
325			ギンバラ	<i>Lonchura maja</i>						●									
326			ヘキチョウ	<i>Amandava amandava</i>							●								
		22目	71科	326種	92種	9種	92種	139種	220種	146種	183種	68種	131種	169種	84種	270種	49種	237種	

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第 8 版 掲載鳥類リスト」(令和 6 年 10 月 日本鳥学会) に準拠した。

### ③ 爬虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる爬虫類は、表 3.1.31 に示すとおり、2 目 10 科 19 種である。

水田や耕作地を生息環境とするニホンカナヘビやシマヘビ、ヤマカガシ、河川や流れのゆるやかな水路を生息環境とするニホンイシガメやニホンスッポン等が確認されている。

また、ミシシッピアカミミガメやカミツキガメ等の外来種も確認されている。

表 3.1.31 確認種一覧（爬虫類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号									
					1	2	3	8	9	10	11	12	13	17
1	カメ目	イシガメ科	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>		●	●	●			●	●	●	●
2			ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	●	●		●	●	●	●	●	●	●
3		ヌマガメ科	リバークーター	<i>Pseudemys concinna</i>				●						
4			アカミミガメ	<i>Trachemys scripta</i>				●						
5			ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>					●				●	●
6		カミツキガメ科	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>				●						
7		スッポン科	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	●	●		●			●	●	●	●
8	有鱗目	ヤモリ科	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>			●			●	●	●	●	●
9		トカゲ科	ニホントカゲ	<i>Plestiodon japonicus</i>		●			●	●	●	●	●	●
10			ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>				●					●	
11		カナヘビ科	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>			●	●	●	●	●	●	●	●
12		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	●	●		●			●			
13		ナミヘビ科	シロマダラ	<i>Lycodon orientalis</i>		●					●			
14			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>		●					●			
15			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>			●		●	●	●	●	●	●
16			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	●		●		●	●	●	●	●	●
17			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	●	●		●	●		●		●	●
18			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●	●		●	●		●		●	●
19		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydius blomhoffii</i>		●		●	●	●	●	●	●	●
	2目	10科	19種		4種	10種	3種	16種	8種	9種	13種	10種	14種	14種

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(令和 7 年 4 月 日本爬虫両棲類学会) に準拠した。

#### ④ 両生類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる両生類は、表 3.1.32 に示すとおり、2 目 8 科 22 種である。

人家の庭先にも生息することのあるアズマヒキガエル、水田、耕作地で普通にみられるニホンアマガエルやトノサマガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル、水田や池沼を生息環境とするアカハライモリ、低山の草地や樹林地等を生息環境とするニホンアカガエル等が確認されている。

また、ウシガエルといった外来種も確認されている。

表 3.1.32 確認種一覧（両生類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号											
					1	2	3	8	9	10	11	12	13	16	17	
1	有尾目	サンショウウオ科	オワリサンショウウオ	<i>Hynobius owariensis</i>		●										
2			カスミサンショウウオ	<i>Hynobius nebulosus</i>										●		●
3			トウキョウサンショウウオ	<i>Hynobius tokyoensis</i>				●	●		●					
4			マホロバサンショウウオ	<i>Hynobius guttatus</i>	●											
5			ヤマトサンショウウオ	<i>Hynobius vandenburghi</i>	●				●							
6			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>				●								
7			オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>					●						
8			イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	<i>Bufo formosus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10			ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus</i>							●	●				
11		アマガエル科	ニホンアマガエル <sup>注3)</sup>	<i>Dryophytes japonicus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12			タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>	●						●					
13			ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>				●			●	●	●	●	●	●
15			ウシガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16			ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17			ダルマガエル	<i>Pelophylax porosus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18			ナゴヤダルマガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i>	●	●		●			●		●	●	●	●
19			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			トノサマガエル属の一種	<i>Pelophylax</i> sp.					●							
20		ヌマガエル科	ヌマガエル	<i>Fejervarya kawamurai</i>				●			●		●	●	●	●
21			アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●	●	●		●		●	●	●	●	●
22			モリアオガエル	<i>Zhangixalus arboreus</i>									●			
	2目	8科	22種		3	10	10	15	8	10	12	8	12	3	12	
					種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(令和7年4月 日本爬虫両棲類学会)に準拠した。

注 3) 名古屋市版レッドリスト(文献番号 2)では令和7年に新種記載された「ヒガシニホンアマガエル」(「ニホンアマガエル」の東日本集団)が対象となっている。名古屋市及び愛知県における分布状況は不明であることから種名は「ニホンアマガエル」で統一した。

## ⑤ 魚類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる魚類は、表 3.1.33 に示すとおり、12 目 29 科 98 種である。

水田等を生息環境とするドジョウやナマズ、河川等を生息環境とするアユやオイカワ、緩やかな流れや池沼を好むミナミメダカやモツゴ等が確認されている。また、ブルーギルやオオクチバス等の外来種も確認されている。

表 3.1.33(1) 確認種一覧（魚類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号											
					1	2	3	7	8	9	10	11	12	13	16	17
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ類	<i>Lethenteron</i> sp.N and/or sp.S	●	●								●		
2	レビソステウス目	レビソステウス科	アリゲーター	<i>Actrostosteus spatula</i>					●							
3	ガーメ	ガーメ科	スボッテッドガーメ	<i>Lepisosteus oculatus</i>					●							
4	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	●	●		●	●	●			●	●		●
5	コイ目	コイ科	キンギョ	<i>Carassius auratus</i>												
6			ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	●											
7			ギンブナ	<i>Carassius langsdorffii</i>			●		●							
8			フナ類	<i>Carassius buergeri</i>				●	●	●			●	●		●
9			コイ（野生型）	<i>Cyprinus carpio</i>	●											
10			コイ（飼育型）	<i>Cyprinus carpio</i>												
11			コイ（型不明）	<i>Cyprinus carpio</i>					●	●	●					
12			コイ（改良品種型）	<i>Cyprinus carpio</i>					●	●	●					
13			イチモジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>	●									●		
14			イタセンバラ	<i>Acheilognathus longipinnis</i>	●											
15			タナゴ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>							●					
16			カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombaeus</i>												
17			シロヒタビラ	<i>Acheilognathus tabira</i>	●											
18			タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>					●	●						
19			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	●	●										
20			アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i>	●											
21			ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i>	●											
22			ゼザラ	<i>Biwia zezera</i>	●											
23			ホンモロコ	<i>Gnathopogon caerulescens</i>	●											
24			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	●		●									
25			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>												
26			ニゴイ属の一種	<i>Hemibarbus</i> sp.												
27			ニゴイ類	<i>Hemibarbus barbus complex</i>												
28			コウライニゴイ	<i>Hemibarbus labeo</i>												
29			カマツカ	<i>Pseudogobio exocinus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
30			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
31			ウシモツゴ	<i>Pseudorasbora pugnax</i>	●	●										
32			ビワヒガイ	<i>Sarcochelichthys variegatus microoculus</i>												
33			カワヒガイ	<i>Sarcochelichthys variegatus variegatus</i>	●	●										
34			スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>	●											
35			スゴモロコ類	<i>Squalidus chankaensis</i>					●	●						
36			コウライモロコ	<i>Squalidus chankaensis tsuchigae</i>					●							
37			イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>	●											
38			デメモロコ	<i>Squalidus japonicus japonicus</i>	●											
39			ウグイ	<i>Pseudasius hakonensis</i>		●										
40			アブラハヤ	<i>Rhynchocyparis lagowskii steindachneri</i>			●	●	●	●						
41			ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i>												
42			カワバタモロコ	<i>Hemigrammocyparis neglectus</i>	●	●										
43			スマムツ	<i>Candidia sieboldii</i>												
44			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	●											
45			カワムツ属の一種	<i>Candidia</i> sp.												
46			オイカワ	<i>Opsarichthys platypus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
47			ハス	<i>Opsarichthys uncirostris uncirostris</i>	●											
48			コイ科の一種	<i>Cyprinidae</i> sp.												
49		ドジョウ科	アメドジョウ	<i>Niwaella delicata</i>					●							
50			オオガタスジマドジョウ	<i>Cobitis magnostriata</i>	●											
51			トウカイコガタスジマドジョウ	<i>Cobitis minamorii tokaiensis</i>	●	●										
52			ニシシマドジョウ	<i>Cobitis biwae type B</i>	●	●										
53			シマドジョウ種群	<i>Cobitis biwae complex</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
54			ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
55			カラドジョウ	<i>Misgurnus dabryanus</i>												
56		フクドジョウ科	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
57			トウカイナガレホトケドジョウ	<i>Lefua tokaiensis</i>	●											
58		ギギ科	ネコギギ	<i>Tachysurus ichikawai</i>		●										
59			ギギ	<i>Tachysurus nudiceps</i>												
60		ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●
61			アカザ科	<i>Liobagrus reinii</i>	●	●										
62		サケ科	キュウリウオ科	<i>Hypomesus nipponensis</i>												
63			アユ科	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>		●			●							
64			シラウオ科	<i>Salangichthys microdon</i>												
65			サケ科	<i>Oncorhynchus masou ishikawai</i>	●	●										
66			サツキマス・アマゴ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>												
67			サクラマス・ヤマメ	<i>Oncorhynchus mykiss</i>												
68			ニジマス	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>												
69		タウナギ目	タウナギ科	<i>Monopterus albus</i>												
70			ボラ目	<i>Mugil cephalus cephalus</i>												
71			メナダ	<i>Planiliza haematocheilus</i>												
72		カダヤシ目	カダヤシ科	<i>Gambusia affinis</i>					●	●						
73			メダカ科	<i>Oryzias latipes</i>	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
74			メダカ類	<i>Oryzias</i> sp.												
75			サヨリ科	<i>Hyporhamphus intermedius</i>	●									●		

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産魚類全種リスト（JAF リスト）」（令和 7 年 5 月 鹿児島大学総合研究博物館）に準拠した。

表 3.1.33(2) 確認種一覧 (魚類)

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号												
					1	2	3	7	8	9	10	11	12	13	16	17	
65	スズキ目	カジカ科	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	●												
66			ウツセミカジカ (琵琶湖型)	<i>Cottus reinii</i>	●	●											
67			ウツセミカジカ (淡水性両側回遊型)	<i>Cottus reinii</i>											●	●	
68			カマキリ (アユカケ)	<i>Rheopresbe kazika</i>	●	●								●	●		
69		ケツギョ科	オヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i>	●				●								
70		スズキ科	スズキ	<i>Lateslabrus japonicus</i>										●	●	●	●
71		サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>					●	●	●	●	●	●	●	●	●
72			オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
73		ヒイラギ科	ヒイラギ	<i>Nuchequula nuchalis</i>													
74		カワスズメ科	ナイルティラピア	<i>Oreochromis niloticus</i>													
75		ドンコ科	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>	●	●			●	●		●					
76		カワアナゴ科	カワアナゴ	<i>Eleotris oxycephala</i>	●	●											
77		ハゼ科	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>					●								
78			アシロハゼ	<i>Acanthogobius lacertipes</i>										●			
79			ヒモハゼ	<i>Eutaeuichthys gilli</i>		●											
80			ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>								●			●		
81			キセルハゼ	<i>Gymnogobius cylindricus</i>	●												
82			エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>	●									●			
83			スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>	●									●			
84			ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	●				●					●		●	
85			アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>										●			
86			トビハゼ	<i>Periophthalmodon modestus</i>	●									●			
87			マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>	●									●			
88			カワヨシノボリ	<i>Rhinogobius flumineus</i>			●	●		●	●	●	●				
89			オヨシノボリ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	●												
90			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>						●				●		●	
91			ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius similis</i>						●				●		●	
92			トウヨシノボリ	<i>Rhinogobius sp.</i>						●				●		●	
—			トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius sp. OR unidentified</i>					●	●							
93			トウカイヨシノボリ	<i>Rhinogobius telma</i>	●	●								●			
—			ヨシノボリ属の一種	<i>Rhinogobius sp.</i>			●		●					●		●	
94			ボウズハゼ	<i>Sicyopterus japonicus</i>	●												
95			チワラスボ	<i>Taenioides snyderi</i>	●												
96			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>						●							
97			チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>										●	●	●	
98	タイワンドジョウ科	カムルチー		<i>Channa argus</i>				●	●	●			●	●	●	●	
	12目	29科		98種	48種	28種	8種	20種	45種	15種	20種	18種	20種	70種	15種	44種	

注 1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産魚類全種リスト (JAF リスト)」(令和 7 年 5 月 鹿児島大学総合研究博物館) に準拠した。

## ⑥ 昆虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる昆虫類（クモ類含む）は、表 3.1.34 に示すとおり、29 目 450 科 5,317 種である。

対象事業実施想定区域及びその周囲は主に住宅地となっており、北側は河川を挟んで水田や畠などの耕作地も広がっている。河川敷等の一部には樹林地が存在している。

このような環境を反映し、クモ類では平地から山地まで広く分布し網を作るニホンヒメグモ、アシナガグモ、コガネグモや人家周辺に多いオニグモ、ヒラタグモ、樹林の落葉中に生息するマルサラグモなど、多様な捕食形態を持つ種が確認された。

昆虫類では、イチモンジセセリやモンキチョウやオオスカシバ等のチョウ目やアブラゼミやナナホシテントウ等のコウチュウ目、河川敷や水田等の水辺環境を生息環境とするハグロトンボやシオカラトンボ等のトンボ目、ゲンゴロウやミズスマシ等の水生昆虫類が多く確認されている。

このほか、耕作地や草地等を生息環境とするツユムシやトノサマバッタ等のバッタ目、樹林地を生息環境とするコクワガタやヨツボシカミキリ等のコウチュウ目が確認されている。

表 3.1.34 確認種一覧（昆虫類）

目名	主な確認種	科数	種数
クモ目	ワスレナグモ、ヒラタグモ、ニホンヒメグモ、マルサラグモ、アシナガグモ、オニグモ、コガネグモ	40	378
ダニ目	タカサゴキラマダニ	1	1
トビムシ目	トゲトビムシ科、マルトビムシ科	6	6
イシノミ目	イシノミ	1	1
カゲロウ目(蜉蝣目)	フタバコカゲロウ、サホコカゲロウ、エルモンヒラタカゲロウ、モンカゲロウ、クロマダラカゲロウ	11	46
トンボ目(蜻蛉目)	アオイトンボ、アオモントンボ、ニホンカワトンボ、ギンヤンマ、ミヤマサナエ、ナゴヤサナエ、オニヤンマ、アキアカネ	10	90
ゴキブリ目(網翅目)	クロゴキブリ、モリチャバネゴキブリ	3	10
シロアリ目	イエシロアリ、ヤマトシロアリ	2	3
カマキリ目(蠍螂目)	ヒメカマキリ、ウスバカマキリ、オオカマキリ	2	7
ハサミムシ目(革翅目)	コバネハサミムシ、コブハサミムシ、オオハサミムシ	4	8
カワゲラ目(セキ翅目)	カミムラカワゲラ、ヤマトカワゲラ、トウゴウカワゲラ	4	16
バッタ目(直翅目)	コロギス、クツワムシ、ツユムシ、コバネササキリ、ヒメギス、クサキリ、スズムシ、カンタン、トノサマバッタ、コバネイナゴ	16	107
ガロアムシ目	ガロアムシの一種	1	1
ナナフシ目(竹節虫目)	ニホントビナナフシ、ナナフシモドキ	1	6
チャタテムシ目	ウスベニチャタテ、オオチャタテ	3	5
ハジラミ目	ニワトリハジラミ	1	1
シラミ目	ケジラミ、コロモジラミ	4	9
カメムシ目(半翅目)	ヒシウンカ、マルウンカ、ベッコウハゴロモ、アブラゼミ、ヒグラン、ヨコヅナサシガメ、ウチワグンバイ、ヘリカメムシ、シロヘリツチカメムシ、ナガメ、アメンボ、タイコウチ、ミズカマキリ、マツモムシ	57	482
ヘビトンボ目	ヘビトンボ、ヤマセンブリ	2	7
ラクダムシ目	ラクダムシ	1	1
アミメカゲロウ目(脈翅目)	スカシヒロバカゲロウ、ミズカゲロウ、アミメカゲロウ	9	32
シリアゲムシ目(長翅目)	ヤマトシリアゲ、ベッコウシリアゲ	1	8
トビケラ目(毛翅目)	コガタシマトビケラ、ナカハラシマトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、ニンギョウトビケラ、エグリトビケラ	22	56
チョウ目(鱗翅目)	マエモンクロヒロズコガ、カバイロキバガ、ネムスガ、セスジスカシバ、ビロードハマキ、イラガ、ミヤマセセリ、アカシジミ、ツマグロヒヨウモン、モンキアゲハ、モンキチョウ、ウスオビクロノメイガ、ウスバフュシャク、クスサン、キシャチホコ、マイマイガ、フタスジアツバ	52	1,535
ノミ目	ヤマトネズミノミ、ネコノミ	3	7
ハエ目(双翅目)	ウスバガガンボ、シガヌカカ、クロユスリカ、ヤマトアブ、キハダショウジョウバエ、ナミニクバエ、	56	455
コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシ、カワラハンミョウ、マメゲンゴロウ、ガムシ、エンマムシ、ヒメデオキノコムシ、コクワガタ、ヒメコガネ、ツヤドロムシ、タマムシ、ゲンジボタル、ベニボタル、ナナホシテントウ、ウスバキスイ、セマルチビヒラタムシ、ナミヒラタケシキスイ、ヤマトオサムシダマシ、ベーツヒラタカミキリ、ルリホソチョッキリ、ホソチビゾウムシ	96	1,647
ネジレバネ目	スズメバチネジレバネ	2	2
ハチ目(膜翅目)	オオアメバチ、オオセイボウ、クロオオアリ、キボシアシナガバチ、ヒメコオロギバチ本土亜種、コマルハナバチ本土亜種	39	390
29目	450科 5,317種		

注) 確認文献は表 3.1.28 の番号 1、2、3、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17 である。

## ⑦ 貝類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる貝類は、表 3.1.35 に示すとおり、7 目 32 科 102 種である。

水質の良いところを生息環境とするカワニナやモノアラガイ、マシジミ、水質の悪いところを生息環境とするヒメタニシやサカマキガイ等が確認されている。

また、スクミリングガイ、オカチョウジガイといった外来種も確認されている。

表 3.1.35(1) 確認種一覧（貝類）

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号													
					1	2	3	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	イシマキガイ	<i>Clithon retropictus</i>									●					
2		新生腹足目	ヤマタニシ科	<i>Cyclophorus herklotzi</i>	●								●		●			
3			ミジンヤマタニシ	<i>Nakadaella micron</i>	●	●							●		●			
4		アズキガイ科	アズキガイ	<i>Pupinella rufa</i>									●					
5		ムシオイガイ科	ビルスプリムシオイ	<i>Chamalycaeus pilsbryi</i>	●										●			
6		コマガイ科	ヒダリマキコマガイ	<i>Palaina pusilla</i>		●							●		●			
7		リンゴガイ科	スクミリングガイ	<i>Pomacea canaliculata</i>			●	●	●				●		●			
8		タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
9			オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
10			ヒメタニシ	<i>Sinotaria quadrata histrica</i>			●	●	●				●		●	●	●	
11		カワニナ科	クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i>								●						
12			カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
13			チリメンカワニナ	<i>Semisulcospira reiniana</i>	●											●		
14		エゾマメタニシ科	マメタニシ	<i>Parafossarulus manchouricus japonicus</i>											●			
15	汎有肺目	オカミミガイ科	ナラビオカミミガイ	<i>Auriculastra duplicata</i>										●				
16			オカミミガイ	<i>Ellobium chinense</i>										●				
17			キヌカツギハマシノミガイ	<i>Melampus sinaporensis</i>										●				
18	基眼目	サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
19		モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	<i>Austropeplea ollula</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20			ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21			モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
-			モノアラガイ属の一種 A	<i>Radix sp.A</i>														
-			Radix 属の一種	<i>Radix sp.</i>			●											
22		ヒラマキガイ科	カワネジガイ	<i>Campoceras terebra hirasei</i>										●				
23			メリケンコザラ	<i>Ferrissia californica</i>		●	●											
24			カワコザラガイ	<i>Laevapex nipponica</i>									●		●			
25			ヒメラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus pulcher</i>		●								●		●		
26			ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i>	●	●								●		●		
27			ヒロマキミズマイマイ	<i>Menetus dilatatus</i>			●	●	●					●		●		
28			ヒラマキガイモドキ	<i>Polypyris hemisphaerula</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
-		ヒラマキガイ科	Planorbidae sp.			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
29	柄眼目	オカモノアラガイ科	ヒメオカモノアラガイ	<i>Neosuccinea lyraea horticola</i>										●		●		
30			ナガオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>					●					●		●		
31		マキソメガイ科	マルナタネガイ	<i>Parazoogenetes orcula</i>										●		●		
32			ミジンマイマイ科	<i>Vallonia costata</i>										●		●		
33		キセルガイモドキ科	キセルガイモドキ	<i>Mirus reinianus</i>		●												
34		キセルガイ科	ナミコギセル	<i>Euphaedusa tau</i>		●			●					●		●		
35			ヒクギセル	<i>Stereophaedusa gouldi</i>										●		●		
36			ナミギセル	<i>Stereophaedusa japonica</i>										●		●		
37			シリオレギセル	<i>Tyrannophaedusa bilabrate</i>										●		●		
38		オカチョウジガイ科	オカチョウジガイ	<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>		●								●		●		
39			トクサオカチョウジガイ	<i>Allopeas javanicum</i>										●		●		
40			ホソオカチョウジガイ	<i>Allopeas pyrula</i>		●								●		●		
41			サツマオカチョウジガイ	<i>Allopeas satsumense</i>										●		●		
42	ナタネガイ科	ナタネガイ	ナタネガイ	<i>Punctum amblygonum</i>		●								●		●		
43			ミジンナタネ	<i>Punctum atomus</i>										●		●		
44			ミジンナタネガイ	<i>Punctum atomus</i>														
45		コハクガイ科	ヒメコハクガイ	<i>Hawaiiia minuscula</i>										●		●		
46			コハクガイ	<i>Zonitoides arboreus</i>										●		●		
47		イシノシタ科	ノハラノイシノシタ	<i>Helicodiscus singleyanus inermis</i>										●		●		
48		ナメクジ科	イボイボナメクジ	<i>Granulilimax fuscicornis</i>	●	●										●		
49			ナメクジ	<i>Meghimatum bilineatum</i>			●						●	●		●		
50			ヤマナメクジ	<i>Meghimatum fruhstorferi</i>									●	●		●		
-			ナメクジ sp.	<i>Meghimatum sp.</i>												●		
51	コウラナメクジ科	ノハラナメクジ	Deroceras reticulatum							●					●			
52			キイロナメクジ	<i>Limax flavus</i>										●		●		
53			チャコウラナメクジ	<i>Limax marginatus</i>										●		●		
54		ベッコウマイマイ科	ヒラベッコウガイ	<i>Bekkochlamys micrograpta</i>		●								●		●		
55			ヒメベッコウガイ	<i>Discoconulus sinapidium</i>										●		●		
56			ヤクシマヒメベッコウ	<i>Discoconulus yakuensis</i>										●		●		
-			シロヒメベッコウ類似種	<i>Discoconulus sp.</i>										●		●		
57			キビガイ	<i>Gastropodella multivolvis</i>			●							●		●		
58			ハリマキビ	<i>Parakaliella harimensis</i>										●		●		
59			ヒゼンキビ	<i>Parakaliella hizemensis</i>										●		●		
60			ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i>	●									●		●		

注1) 表中の文献番号は表 3.1.28 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和6年10月 国土交通省）に準拠した。

表 3.1.35(2) 確認種一覧 (貝類)

No.	目名	科名	種名	学名	文献番号												
					1	2	3	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
61	柄眼目	ベッコウマイマイ科	ウスイロシラガイ	<i>Parasitala pallida</i>									●		●		
62			マルシラガイ	<i>Parasitala reinhardtii</i>									●				
63			コシタカシラガイ	<i>Sitalina circumcincta</i>									●				
64			ウメムラシラガイ	<i>Sitalina japonica</i>	●								●		●		
65			カサキビ	<i>Trochochlamys crenulata</i>			●						●		●		
66			オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>			●						●		●		
67			タカキビ	<i>Trochochlamys praeculta</i>									●		●		
68			ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i>	●	●							●		●		
69			ウラジロベッコウ	<i>Urazirochlamys doenitzi</i>									●		●		
70			オオクラヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys lampra</i>									●		●		
71			ナミヒメベッコウ	<i>Yamatochlamys vaga</i>									●		●		
72			ウラウズタカキビ	<i>Coneuplecta</i> sp.		●											
73		ニッポンマイマイ科	トウカイビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis oscitans</i>	●										●		
-			ビロウドマイマイ属の一種	<i>Nipponochloritis</i> sp.		●							●				
74			ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica</i>	●	●	●						●		●		
75			カドバリニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica carinata</i>		●	●										
76			コベゾマイマイ	<i>Satsuma myomphala</i>	●	●							●		●		
77			ヤマタカマイマイ	<i>Satsuma papilliformis</i>	●												
78	オナジマイマイ科	ウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta sieboldiana</i>			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
79		オオケマイマイ	<i>Aegista vulgivaga</i>		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
80		コハクオナジマイマイ	<i>Bradybaena pellucida</i>									●		●			
81		オナジマイマイ	<i>Bradybaena similaris</i>			●			●	●	●			●			
82		クチベニマイマイ	<i>Euhadra amaliae</i>				●						●				
83		ヒラマイマイ	<i>Euhadra eoa</i>					●						●			
84		ミスジマイマイ	<i>Euhadra peliomphala</i>					●		●							
85		カタママイマイ	<i>Lepidopisum verrucosum</i>						●						●		
86		マメマイマイ	<i>Trishoplita commoda</i>									●		●			
87		エンドウマイマイ	<i>Trishoplita commoda endo</i>			●											
88		ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Trishoplita hilgendorfi</i>	●									●				
89		イセノナミマイマイ	<i>Eahadra eoa communisiformis</i>						●					●			
90		タワラガイ科	<i>Sinoennea iwakawa</i>										●				
91	イシガイ目	イシガイ科	ミナミタガイ	<i>Beringiana fukuharai</i>		●											
92			タガイ	<i>Beringiana japonica</i>										●			
93			カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i>							●		●		●		
94			イシガイ	<i>Unio douglasae</i>	●		●	●	●						●		
95			マルドブガイ	<i>Anodonta calipygos</i>			●	●	●								
96			ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i>		●		●	●								
97			ヌマガイ	<i>Sinanodonta lauta</i>			●	●	●					●			
-	マルスダレガイ目	シジミ科	Sinanodonta属の一種	<i>Sinanodonta</i> sp.							●						
98			タイリクシジミ	<i>Corbicula fluminalis</i>										●			
99			タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>					●	●				●			●
100			マジシミ	<i>Corbicula leana</i>	●	●			●	●	●	●	●				
-			シジミ属の一種	<i>Corbicula</i> sp.				●									
101	ドブシジミ科	ウエジマジシジミ	<i>Pisidium ueiji</i>												●		
102		ドブシジミ科	ドブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>										●		●	
	7目	32科	102種		11種	15種	23種	17種	21種	11種	10種	10種	81種	0種	58種	5種	0種

注1) 表中の文献番号は表 3.1.28の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

## (2) 重要な動物種

確認された種のうち、重要な動物種を抽出した。重要な動物種の選定根拠は表 3.1.36 に、その選定基準は表 3.1.37 に示すとおりである。

なお、表 3.1.28 の確認文献の中には、詳細な位置情報の記載がないものも含まれるため、事業実施想定区域及びその周囲から離れた地域で見られる種を掲載している可能性がある。

表 3.1.36 重要な動物種の選定根拠

番号	法令・文献等	選定基準
I	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号) 「愛知県文化財保護条例」(昭和30年愛知県条例第6号) 「尾張旭市文化財保護条例」(昭和46年尾張旭市条例第27号) 「瀬戸市文化財保護条例」(昭和47年瀬戸市条例第12号) 「長久手市文化財保護条例」(昭和52年長久手市条例第2号) 「名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例」 (昭和47年名古屋市条例第4号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別天然記念物（特天）</li> <li>国指定天然記念物（国天）</li> <li>愛知県指定天然記念物（県天）</li> <li>尾張旭市指定天然記念物（市天）</li> <li>瀬戸市指定天然記念物（市天）</li> <li>長久手市指定天然記念物（市天）</li> <li>名古屋市指定天然記念物（市天）</li> </ul>
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成4年法律第75号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際希少野生動植物種（国際）</li> <li>国内希少野生動植物種（国内）</li> <li>特定第一種国内希少野生動植物種（特1）</li> <li>特定第二種国内希少野生動植物種（特2）</li> <li>緊急指定種（緊急）</li> </ul>
III	「環境省レッドリスト 2020」 (令和2年3月27日 環境省報道発表資料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶滅危惧 I 類 (CR+EN)</li> <li>絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>準絶滅危惧 (NT)</li> <li>情報不足 (DD)</li> <li>地域個体群 (LP)</li> </ul>
IV	「レッドリストあいち 2025」レッドリスト (令和7年3月 愛知県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>準絶滅危惧 (NT)</li> <li>情報不足 (DD)</li> <li>地域個体群 (LP)</li> </ul>
V	「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」 (昭和48年愛知県条例第3号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定希少野生動植物種（希少）</li> </ul>
VI	「名古屋市版レッドリスト 2025」(令和7年4月 名古屋市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>準絶滅危惧 (NT)</li> <li>情報不足 (DD)</li> <li>地域個体群 (LP)</li> </ul>

表 3.1.37 重要な動物種の選定基準

番号	選定基準	評価基準
I	特別天然記念物 (特天)	天然記念物のうち世界的にまた国家的に価値が特に高いもの
	国指定天然記念物 (国天)	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、我が国の自然を記念するもの
	愛知県指定天然記念物 (県天)	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、愛知県の自然を記念するもの
	尾張旭市指定天然記念物 (市天)	動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)で学術上価値の高いもの
	瀬戸市指定天然記念物 (市天)	動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
	長久手市指定天然記念物 (市天)	動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
	名古屋市指定天然記念物 (市天)	動物、植物、地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの
II	国際希少野生動植物種 (国際)	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種(国内希少野生動植物種を除く。)であって、政令で定めるものをいう
	国内希少野生動植物種 (国内)	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるものをいう
	特定第一種国内 希少野生動植物種 (特1)	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること 二 國際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
III	特定第二種国内 希少野生動植物種 (特2)	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 種の個体の主要な生息地若しくは生育地が消滅しつつあるものであること 二 又はその種の個体の生息若しくは生育の環境が著しく悪化しつつあるものであること 三 種の存続に支障を来す程度にその種の個体の数が著しく少ないものでないこと 四 國際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
	緊急指定種 (緊急)	環境大臣が、希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定するものをいう
	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
IV	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危機が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
V	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
	地域個体群 (LP)	特に保全のための配慮が必要と考えられる特徴的な個体群
	指定希少野生動植物種 (希少)	県内に生息生育する絶滅のおそれのある野生動植物種のうち、特に保護を図る必要があるもの
	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
VI	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが、現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難な種
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
	地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

注) 表中の I ~ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

## ① 哺乳類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる哺乳類の重要種は、表 3.1.38 に示すとおり、6目 12科 21種である。

愛知県内や名古屋市内は森林環境の変化や市街化が進み、ヒミズやノウサギ、ハタネズミなどの生息する記録が低下したまま回復せず、重要種となっている。

表 3.1.38 重要種一覧（哺乳類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
1	モグラ目（食虫目）	トガリネズミ科 モグラ科	ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>	-	-	-	-	-	CR
2			ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>	-	-	-	-	-	EN
3			アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>	-	-	-	VU	-	-
4			コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i>	-	-	-	-	-	VU
5	コウモリ目（翼手目）	キクガシラコウモリ科 ヒナコウモリ科 オヒキコウモリ科	コキクガシラコウモリ (ニホンコキクガシラコウモリ)	<i>Rhinolophus cornutus (R. c. cornutus)</i>	-	-	-	NT	-	-
6			キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	-	-	-	NT	-	CR
7			ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>	-	-	VU	CR	-	-
8			オヒキコウモリ	<i>Tadarida insignis</i>	-	-	VU	DD	-	CR
9	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>	-	-	-	NT	-	CR
10	ネズミ目（齧歯目）	リス科 ネズミ科	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	-	-	-	NT	-	CR
11			ムササビ	<i>Petaurus leucogenys</i>	-	-	-	NT	-	CR
12			スマスネズミ	<i>Craseomys smithii</i>	-	-	-	NT	-	-
13			ハタネズミ	<i>Alexandromys montebelli</i>	-	-	-	NT	-	CR
14			アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>	-	-	-	-	VU	-
15			カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	-	-	-	VU	-	EN
16	ネコ目（食肉目）	クマ科 イヌ科 イタチ科	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>	-	国際	-	CR	-	-
17			タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>	-	-	-	-	-	NT
18			テン（ホンドテン）	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>	-	-	-	NT	-	CR
19			ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	-	-	-	-	-	CR
20			アナグマ	<i>Meles anakuma</i>	-	-	-	NT	-	CR
21	ウシ目（偶蹄目）	ウシ科	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	特天	-	-	-	-	CR
	6目	12科		21種	1種	1種	2種	14種	0種	16種

注1) 表中の I ~ VIは表 3.1.36の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

注3) シベリアイタチは移入した亜種のチョウセンイタチであるため、重要種から除外した。

## ② 鳥類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる鳥類の重要種は、表 3.1.39 に示すとおり、17 目 41 科 128 種である。

樹林地、砂礫地、河川敷、草地等多岐にわたる環境に生息する鳥類が該当している。

表 3.1.39(1) 重要種一覧（鳥類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
1	カモ目	カモ科	コクガン	<i>Branta bernicla</i>	国天	-	VU	越:EN	-	-
2			ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>	国天	-	VU	-	-	-
3			マガソ	<i>Anser albifrons</i>	国天	-	NT	-	-	-
4			カリガネ	<i>Anser erythropus</i>	-	-	EN	-	-	-
5			ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	-	-	VU	越:VU	-	-
6			アカツクシガモ	<i>Tadorna ferruginea</i>	-	-	DD	-	-	-
7			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	-	-	DD	繁:VU/越:NT	-	-
8			トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>	-	-	VU	越:VU	-	VU
9			アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>	-	-	DD	-	-	-
10			シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>	-	-	-	越:VU	-	-
11			ビロードキンクロ	<i>Melanitta stejnegeri</i>	-	-	-	越:EN	-	-
12			クロガモ	<i>Melanitta americana</i>	-	-	-	越:NT	-	-
13			カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>	-	-	-	越:NT	-	-
14			コウライアイサ	<i>Mergus squamatus</i>	-	国際	-	-	-	-
15	キジ目	キジ科	ヤマドリ	<i>Syrmaticus soemmerringii</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-	-
16			ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	-	-	VU	越:EN	-	DD
17	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus jotaka</i>	-	-	NT	繁:EN/通:VU	-	CR
18	アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-	-
19	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-	-
20			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-	-
21			カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-	NT
22	ツル目	クイナ科	クイナ	<i>Rallus indicus</i>	-	-	-	越:NT	-	NT
23			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-	-
24			シマクイナ	<i>Coturnicops exquisitus</i>	-	国内	EN	-	-	-
25			ヒクイナ	<i>Zapornia fusca</i>	-	-	NT	繁:VU/通:NT	-	VU
26		ツル科	ナベヅル	<i>Grus monacha</i>	-	国際	VU	-	-	-
27	カツブリ目	カツブリ科	アカエリカツブリ	<i>Podiceps grisegena</i>	-	-	-	越:EN	-	-
28			ミミカツブリ	<i>Podiceps auritus</i>	-	-	-	越:VU	-	-
29	チドリ目	ミヤコドリ科	ミヤコドリ	<i>Hemimopus ostralegus</i>	-	-	-	越:NT	-	-
30		セイタカシギ科	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	-	-	VU	繁:VU/越:NT	-	NT
31		チドリ科	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	-	-	DD	繁:NT/越:VU	-	-
32			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	-	-	-	越:NT	-	-
33			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-	NT
34			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	-	-	VU	繁:EN/越:VU	-	NT
35			オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	-	国際	-	-	-	-
36			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	-	国際	-	-	-	NT
37		タマシギ科	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	-	-	VU	繁:EN/越:EN	-	EN
38		シギ科	コシャクシギ	<i>Numenius minutus</i>	-	国際	EN	通:VU	-	-
39			ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	-	国際	VU	通:EN	-	VU
40			ダイシヤクシギ	<i>Numenius arquata</i>	-	-	-	越:VU	-	NT
41			オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	-	-	VU	通:EN	-	NT
42			オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	-	-	-	通:EN	-	VU
43			オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>	-	国際	-	通:VU	-	NT
44			コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	-	国際	-	通:VU	-	NT
45			エリマキシギ	<i>Calidris pugnax</i>	-	-	-	通:CR	-	NT
46			キリアイ	<i>Calidris falcinellus</i>	-	-	-	通:EN	-	-
47			ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>	-	-	-	通:EN	-	VU
48			サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	-	国際	-	-	-	-
49			オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>	-	-	-	通:VU	-	-
50			ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>	-	-	-	通:CR	-	-
51			ヘラシギ	<i>Calidris pygmaea</i>	-	国内	CR	通:CR	-	-
52			トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	-	-	-	通:VU	-	-
53			ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>	-	-	-	越:VU	-	-
54			ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	-	-	NT	越:VU	-	NT
55			シベリアオオハシシギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i>	-	-	DD	通:CR	-	DD
56			オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i>	-	-	-	越:EN	-	-
57			ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	-	-	-	越:NT	-	NT
58			アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i>	-	-	-	越:VU	-	-
59			オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	-	-	NT	繁:EX/通:VU	-	EN
60			メリケンキアシシギ	<i>Tringa incana</i>	-	-	-	通:EN	-	-
61			アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>	-	-	VU	通:VU	-	NT
62			タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	-	-	VU	通:EN	-	VU
63			ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	-	-	VU	通:EN	-	EN
64			カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i>	-	国内	CR	通:CR	-	-
65	ツバメチドリ科	ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	-	-	VU	繁:CR/通:EN	-	-	-

注1) 表中の I ~ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

注2) IV の指定状況の意味は次のとおりである。越:越冬 繁:繁殖 通:通過

注3) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版 掲載鳥類リスト」(令和6年10月 日本鳥学会) に準拠した。

表 3.1.39(2) 重要種一覧 (鳥類)

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
66	チドリ目	カモ科	ズグロカモメ	<i>Saundersilarus saundersi</i>	-	-	VU	越:VU	-	VU
67			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	-	-	NT	越:NT	-	-
68			オオアジサシ	<i>Thalasseus bergii</i>	-	-	VU	通:NT	-	-
69			コアジサシ	<i>Sternula albifrons</i>	-	-	VU	繁:EN/通:VU	-	EN
70			ベニアジサシ	<i>Sterna dougallii</i>	-	-	VU	-	-	-
71		ウミスズメ科	ウミスズメ	<i>Synthliboramphus antiquus</i>	-	-	CR	-	-	-
72	コウノトリ目		コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	特天	国内	CR	越:NT	-	-
73	カツオドリ目		ウ科	<i>Urile pelagicus</i>	-	-	EN	越:NT	-	-
74	ペリカン目		クロトキ	<i>Threskiornis melanocephalus</i>	-	-	DD	-	-	-
75			ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>	-	-	DD	-	-	-
76			クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	-	国内	EN	越:VU	-	CR
77		サギ科	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>	-	-	EN	通:EN	-	-
78			ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>	-	-	NT	繁:CR/通:CR	-	EN
79			オオヨシゴイ	<i>Ixobrychus eurhythmus</i>	-	国内	CR	-	-	-
80			ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	-	-	VU	繁:VU/通:NT	-	EN
81			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-	-
82			チュウサギ	<i>Ardea intermedia</i>	-	-	NT	繁:NT/通:NT	-	NT
83			クロサギ	<i>Egretta sacra</i>	-	-	-	越:EN	-	-
84			カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>	-	-	NT	通:NT	-	-
85	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	-	-	NT	繁:VU	-	NT
86			ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	-	-	NT	繁:VU	-	VU
87			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i>	-	国内	EN	繁:EN/越:EN	-	-
88			イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>	国天	国内	EN	-	-	-
89			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	-	-	-	繁:NT	-	NT
90			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	-	-	NT	越:NT	-	NT
91			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	-	-	NT	繁:VU/越:VU	-	NT
92			チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	-	国内	EN	繁:CR/越:VU	-	VU
93			ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>	-	-	-	越:VU	-	-
94			オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>	国天	国内	VU	-	-	-
95		オジロワシ	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	国天	国内・国際	VU	-	-	-
96			サシバ	<i>Butastur indicus</i>	-	-	VU	繁:EN/通:NT	-	VU
97	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	<i>Ninox japonica</i>	-	-	-	繁:EN/通:VU	-	VU
98			コノハズク	<i>Otus sunia</i>	-	-	-	繁:CR/通:VU	-	EN
99			オオコノハズク	<i>Otus semitorques</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-	NT
100			トラフズク	<i>Asio otus</i>	-	-	-	越:EN	-	-
101			コミミズク	<i>Asio flammeus</i>	-	-	-	越:VU	-	-
102			フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	-	-	-	繁:NT/越:NT	-	EN
103	ブッポウソウ目	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	-	-	EN	繁:CR/通:VU	-	-
104			カワセミ科	<i>Halcyon coromanda</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-	-
105			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	-	-	-	繁:CR/越:CR	-	-
106	キツツキ目	キツツキ科	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-	-
107	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	-	国内・国際	VU	繁:VU/越:NT	-	VU
108	スズメ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	-	国内	EN	繁:EN/通:VU	-	-
109		サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	-	-	VU	-	-	NT
110		モズ科	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>	-	-	CR	通:CR	-	-
111			アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	-	国内	EN	通:CR	-	-
112		ツバメ科	コシアカツバメ	<i>Cecropis daurica</i>	-	-	-	-	-	VU
113		ヨシキリ科	ヨヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	-	-	-	繁:EX/通:CR	-	-
114		センニュウ科	オオセッカ	<i>Locustella pryeri</i>	-	国内	EN	越:EN	-	-
115		ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	-	-	-	繁:VU/越:NT	-	-
116		キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	-	-	-	繁:EN/越:VU	-	-
117		ツグミ科	マミジロ	<i>Geokichla sibirica</i>	-	-	-	繁:EX/通:EN	-	-
118			クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	-	-	-	繁:CR/通:NT	-	-
119			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	-	-	-	繁:EX	-	-
120	ヒタキ科	コサメビタキ		<i>Muscicapa dauurica</i>	-	-	-	繁:NT/通:NT	-	-
121		コルリ		<i>Larvivora cyane</i>	-	-	-	繁:VU/通:NT	-	-
122		コマドリ		<i>Larvivora akhalige</i>	-	-	-	繁:EX/通:EN	-	-
123		カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasi</i>	-	-	-	繁:VU/越:VU	-	-
124		セキレイ科	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	-	-	-	繁:EX/越:VU	-	-
125		アトリ科	コイカル	<i>Eophona migratoria</i>	-	-	-	-	-	VU
126		ホオジロ科	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	-	-	-	繁:EX/越:NT	-	-
127			ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	-	-	NT	繁:EX/通:EN	-	DD
128			コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i>	-	-	VU	越:EN	-	-
	17目	41科		128種	7種	24種	66種	106種	1種	48種

注1) 表中の I ~ VIは表 3.1.36の番号と対応する。

注2) IVの指定状況の意味は次のとおりである。越：越冬 繁：繁殖 通：通過

注3) 種名及び配列については原則として「日本鳥類目録 改訂第8版 掲載鳥類リスト」(令和6年10月 日本鳥学会)に準拠した。

### ③ 爬虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる爬虫類の重要種は、表 3.1.40 に示すとおり、2 目 5 科 10 種である。

河川や流れのゆるやかな水路を生息環境とするニホンイシガメや水田や湿地などを生息環境とするヤマカガシ、森林に生息するニホンマムシ等が重要種として該当している。

表 3.1.40 重要種一覧（爬虫類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
1	カメ目	イシガメ科	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>	-	-	-	-	-	DD
2			ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	-	-	NT	NT	-	VU
3		スッポン科	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	-	-	DD	DD	-	DD
4	有鱗目	タカチホヘビ科	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	-	-	-	DD	-	DD
5			ナミヘビ科	<i>Lycodon orientalis</i>	-	-	-	DD	-	EN
6			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	-	-	-	-	-	EN
7			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	-	-	-	-	-	NT
8			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	-	-	-	-	-	VU
9			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	-	-	-	DD	-	VU
10		クサリヘビ科	ニホンマムシ	<i>Gloydius blomhoffii</i>	-	-	-	-	-	VU
	2 目	5 科	10 種		0 種	0 種	2 種	5 種	0 種	10 種

注1) 表中の I ~ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(令和7年4月 日本爬虫両棲類学会) に準拠した。

### ④ 両生類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる両生類の重要種は、表 3.1.41 に示すとおり、2 目 6 科 16 種である。

水田や耕作地を生息環境とするアカハライモリやナゴヤダルマガエルのほか、山地の池沼や流れの緩やかな水路に生息するカスミサンショウウオやトウキョウサンショウウオ、山地の沢や溪流に生息するハコネサンショウウオ等のサンショウウオ類が重要種として該当している。

表 3.1.41 重要種一覧（両生類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
1	有尾目	サンショウウオ科	オワリサンショウウオ	<i>Hynobius owariensis</i>	-	-	-	-	-	CR
2			カスミサンショウウオ	<i>Hynobius nebulosus</i>	-	国内/特2	VU	-	-	-
3			トウキョウサンショウウオ	<i>Hynobius tokyoensis</i>	-	国内/特2	VU	-	-	-
4			マホロバサンショウウオ	<i>Hynobius guttatus</i>	-	国内/特2	VU	EN	-	-
5			ヤマトサンショウウオ	<i>Hynobius vandenburgi</i>	-	国内/特2	VU	EN	-	-
6			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>	-	-	-	NT	-	-
7		オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>	特天	国際	VU	EN	-	-
8		イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	-	-	NT	NT	-	CR
9	無尾目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	<i>Bufo formosus</i>	-	-	-	-	-	CR
10		アカガエル科	タゴガエル	<i>Rana tagoi</i>	-	-	-	-	-	DD
11			ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	-	-	-	-	-	CR
12			ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>	-	-	-	-	-	CR
13			ナゴヤダルマガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i>	-	-	EN	VU	-	CR
14			トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i>	-	-	NT	-	-	VU
15		アオガエル科	シュレーベルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	-	-	-	-	-	CR
16		モリアオガエル	<i>Zhangixalus arboreus</i>	-	-	-	NT	-	-	
	2 目	6 科	16 種		1 種	5 種	8 種	7 種	0 種	9 種

注1) 表中の I ~ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」(令和7年4月 日本爬虫両棲類学会) に準拠した。

## ⑤ 魚類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる魚類の重要種は、表 3.1.42 に示すとおり、7 目 18 科 60 種である。

ニホンウナギやウツセミカジカ、カマキリ等河川と海を回遊する種やタナゴやイタセンパラ等の河川の緩流域を生息環境とする種、ドジョウやナマズ等水田と河川を含む止水域から緩流域を生息環境とする種が重要種として該当している。

表 3.1.42 重要種一覧（魚類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準						
					I	II	III	IV	V	VI	
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ類	<i>Lethenteron</i> sp.N and/or sp.S	-	-	VU	EN	-	CR	
2	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	-	-	EN	EN	-	EN	
3	コイ目	コイ科	ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	-	-	EN	-	-	-	
4			コイ（野生型）	<i>Cyprinus carpio</i>	-	-	-	DD	-	-	
5			イチモンジタナゴ	<i>Acheilognathus cyanostigma</i>	-	-	CR	DD	-	-	
6			イタセンパラ	<i>Acheilognathus longipinnis</i>	国天	国内	CR	CR	-	-	
7			タナゴ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>	-	-	EN	-	-	-	
8			シロヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira tabira</i>	-	-	EN	DD	-	-	
9			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	-	-	NT	CR	-	CR	
10			アブラボテ	<i>Tanakia limbata</i>	-	-	NT	DD	-	-	
11			ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i>	-	-	EN	-	-	-	
12			ゼゼラ	<i>Bivita zezera</i>	-	-	VU	NT	-	VU	
13			ホンモロコ	<i>Gnathopogon caerulescens</i>	-	-	CR	-	-	-	
14			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	-	-	-	-	-	NT	
15			ウシモツゴ	<i>Pseudorasbora pugnax</i>	-	-	CR	CR	希少	DD	
16			カワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i>	-	-	NT	CR	-	DD	
17			スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>	-	-	VU	-	-	-	
18			イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>	-	-	-	NT	-	-	
19			デメモロコ	<i>Squalidus japonicus japonicus</i>	-	-	VU	CR	-	-	
20			ウグイ	<i>Pseudaspis hakonensis</i>	-	-	-	-	-	NT	
21			カワバタモロコ	<i>Hemigrammocyparis neglectus</i>	国内/特2	EN	EN	-	CR	-	
22			ヌマムツ	<i>Candidia sieboldii</i>	-	-	-	-	-	DD	
23			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	-	-	-	-	-	EN	
24			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	-	-	-	-	-	LP <sup>注3)</sup>	
25			ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	-	-	VU	-	-	-	
26	ドジョウ科	アジメドジョウ	ニワエラ	<i>Niwaella delicata</i>	-	-	VU	-	-	-	
27			オオガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis magnostriata</i>	-	-	EN	-	-	-	
28			トウカイコガタスジシマドジョウ	<i>Cobitis minamorii tokaiensis</i>	-	-	EN	EN	-	CR	
29			ニシシマドジョウ	<i>Cobitis sp. BIWAE type B</i>	-	-	-	VU	-	EN	
30			ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	-	-	NT	VU	-	VU	
31	フクドジョウ科	ホトケドジョウ	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	-	-	EN	EN	-	CR	
32			トウカイナガレホトケドジョウ	<i>Lefua tokaiensis</i>	-	-	EN	EN	-	-	
33	ナマズ目	ギギ科	ギギ	<i>Tachysurus ichikawai</i>	国天	-	EN	CR	-	-	
34			ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	-	-	-	-	-	NT	
35			アカザ	<i>Liobagrus reinii</i>	-	-	VU	NT	-	CR	
36	サケ目	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	-	-	-	-	-	VU	
37			シラウオ科	<i>Salangichthys microdon</i>	-	-	-	VU	-	VU	
38			サツキマス・アマゴ	<i>Oncorhynchus masou ishikawai</i>	-	-	NT	DD	-	DD	
39			サクラマス・ヤマメ	<i>Oncorhynchus masou ishikawai</i>	-	-	NT	-	-	-	
40			ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>	-	-	DD	-	-	-	
41	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	-	-	VU	VU	-	VU	
42			サヨリ科	<i>Hyporhamphus intermedius</i>	-	-	NT	DD	-	DD	
43			カジカ科	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	-	-	NT	EN	-	-
44			ウツセミカジカ（琵琶湖型）	<i>Cottus reinii</i>	-	-	EN	VU	-	EN	
45			ウツセミカジカ（淡水性両側回遊型）	<i>Cottus reinii</i>	-	-	EN	VU	-	EN	
46	ケツギョウ科	カマキリ（アユカゲ）	カマキリ	<i>Rheopresbe kazika</i>	-	-	VU	EN	-	EN	
47			オヤニラミ	<i>Coreoperca kawamebari</i>	-	-	EN	-	-	-	
48			ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>	-	-	-	EN	-	CR	
49			カワアナゴ科	<i>Eleotris oxycephala</i>	-	-	-	NT	-	VU	
50			ハゼ科	ヒモハゼ	<i>Eutaeniichthys gilli</i>	-	-	NT	VU	-	-
51	スズキ目	キセルハゼ	キセルハゼ	<i>Gymnogobius cylindricus</i>	-	-	EN	CR	-	-	
52			エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>	-	-	VU	NT	-	EN	
53			スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>	-	-	-	-	-	NT	
54			ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	-	-	-	-	-	NT	
55			トビハゼ	<i>Periophthalmus modestus</i>	-	-	NT	VU	-	EN	
56			マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>	-	-	VU	VU	-	EN	
57			オオヨシノボリ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	-	-	-	NT	-	-	
58			トウカイヨシノボリ	<i>Rhinogobius telma</i>	-	-	NT	CR	-	CR	
59			ボウズハゼ	<i>Sicyopterus japonicus</i>	-	-	-	VU	-	-	
60			チワラスボ	<i>Taeniodes snyderi</i>	-	-	EN	DD	-	-	
	7目	18科	60種		2種	2種	43種	40種	1種	34種	

注 1) 表中の I ~ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

注 2) 種名及び配列については原則として「日本産魚類全種リスト（JAF リスト）」（令和 7 年 5 月 鹿児島大学総合研究博物館）に準拠した。

注 3) オイカワ 選定基準 VI 地域個体群 (LP) : 庄内川個体群（他地域からの移入の影響のない個体群）の場合。

## ⑥ 昆虫類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる昆虫類（クモ類含む）の重要種は、表 3.1.43 に示すとおり、13 目 97 科 258 種である。

樹林地、干潟や河川敷、草地等多岐にわたる環境に生息する種が該当している。

表 3.1.43(1) 重要種一覧（昆虫類）

No	目名	科名	種名	学名	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
1	クモ目	ジグモ科	ワスレナグモ	<i>Calommata signata</i>	-	-	NT	VU	-	EN
2		カネコトタゲモ科	カネコトタゲモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i>	-	-	NT	VU	-	CR
3		トタゲモ科	キノボリタゲモ	<i>Conothelae fragaria</i>	-	-	NT	VU	-	CR
4			キシノエタゲモ	<i>Latouchia typica</i>	-	-	NT	VU	-	CR
5		ヒメグモ科	ギボシヒメグモ	<i>Chikunia albipes</i>	-	-	-	-	-	NT
6		アシナガグモ科	チビクロドヨウグモ	<i>Meta nigridorsalis</i>	-	-	-	-	-	EN
7		コガネグモ科	キジロオヒキグモ	<i>Arachnura logio</i>	-	-	-	EN	-	-
8			ビショオニグモ	<i>Araneus mitificus</i>	-	-	-	-	-	NT
9			コガネグモ	<i>Argiope amoena</i>	-	-	-	NT	-	NT
10			トリフンダマシ	<i>Cyrtarachne bufo</i>	-	-	-	NT	-	NT
11			オオトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne inaequalis</i>	-	-	-	NT	-	NT
12			シロオビトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i>	-	-	-	NT	-	NT
13			アカイトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne yunoharensis</i>	-	-	-	NT	-	VU
14			スズミグモ	<i>Cyrtophora ikomosanensis</i>	-	-	-	-	-	NT
15			トゲグモ	<i>Gasteracantha kuhlii</i>	-	-	-	VU	-	VU
16			ムツトイセキグモ	<i>Ordgarius sexspinosis</i>	-	-	-	EN	-	CR
17			ゲホウグモ	<i>Polytis illepidus</i>	-	-	-	NT	-	VU
18		コモリグモ科	エビチャコモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i>	-	-	-	EN	-	VU
19			イサゴコモリグモ	<i>Pardosa isago</i>	-	-	-	EN	-	-
20			カコウコモリグモ	<i>Pardosa nojimai</i>	-	-	-	VU	-	CR
21			テジロハリグモコモリグモ	<i>Pardosa yamanoi</i>	-	-	-	EN	-	CR
22			ミナミコモリグモ	<i>Pirata meridionalis</i>	-	-	-	NT	-	VU
23		キシダグモ科	スジフタシリグモ	<i>Dolomedes saganus</i>	-	-	-	-	-	EN
24			ハヤタグモ	<i>Perenethis fascigera</i>	-	-	-	-	-	EN
25		ササグモ科	クリチャササグモ	<i>Oxyopes licenti</i>	-	-	-	-	-	VU
26		スオウグモ科	ムロズミレグモ	<i>Takeoa nishimurai</i>	-	-	-	DD	-	DD
27		フクログモ科	ハマキフクログモ	<i>Clubiona japonicola</i>	-	-	-	-	-	NT
28			ヤギヌマフクログモ	<i>Clubiona yaginumai</i>	-	-	-	-	-	DD
29			オビジガバチグモ	<i>Casiocnemis shaxianensis</i>	-	-	-	NT	-	VU
30		ワシグモ科	ヒゲナガツヤグモ	<i>Micaria dives</i>	-	-	-	-	-	NT
31		カニグモ科	アシナガカニグモ	<i>Heriaeus mellottei</i>	-	-	-	VU	-	-
32			カトウツケオグモ	<i>Phrynarachne katoi</i>	-	-	-	EN	-	DD
33			シロスジグモ	<i>Runcinia affinis</i>	-	-	-	-	-	DD
34			オビボクカニグモ	<i>Xysticus trizonatus</i>	-	-	-	VU	-	VU
35	トンボ目(蜻蛉目)	アオイトンボ科	コバネアオイトンボ	<i>Lestes japonicus</i>	-	-	EN	CR	-	EX
36			オツネントンボ	<i>Sympetrum paedisca</i>	-	-	-	-	-	EN
37		イトンボ科	ベニイトンボ	<i>Ceratagrion nipponicum</i>	-	-	NT	VU	-	NT
38			ヒスマイトンボ	<i>Mortonagrion hirosei</i>	-	-	EN	EN	-	EX
39			モントントンボ	<i>Mortonagrion selenion</i>	-	-	NT	VU	-	EN
40			セスジイトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i>	-	-	-	-	-	NT
41			ムスジイトンボ	<i>Paracercion melanotum</i>	-	-	-	-	-	NT
42			オオイトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i>	-	-	-	EN	-	CR
43		モノサシトンボ科	グンバイトンボ	<i>Platycnemis foliacea sasakii</i>	-	-	NT	EN	-	EX
44		カワトンボ科	アオハダントンボ	<i>Calopteryx japonica</i>	-	-	NT	-	-	EX
45			ニホンカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>	-	-	-	-	-	NT
46		ヤンマ科	ネアコヨシヤンマ	<i>Aeshnophlebia anisoptera</i>	-	-	NT	NT	-	VU
47			アオヤンマ	<i>Aeshnophlebia longistigma</i>	-	-	NT	CR	-	CR
48			オオルボシヤンマ	<i>Aeshna crenata</i>	-	-	-	-	-	EN
49			マルダンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>	-	-	-	-	-	NT
50			コシボシヤンマ	<i>Boyeria macclachlani</i>	-	-	-	-	-	NT
51			カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	-	-	-	-	-	VU
52			ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milhei milhei</i>	-	-	-	-	-	EN
53			サラサヤンマ	<i>Sarasaechna pryeri</i>	-	-	-	-	-	NT
54		サナエトンボ科	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	-	-	-	-	-	NT
55			キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	-	-	NT	VU	-	CR
56			ホンサナエ	<i>Shagogomphus postocularis</i>	-	-	-	-	-	EN
57			ナゴヤサナエ	<i>Stylurus nagoyanus</i>	-	-	VU	NT	-	EN
58			メガネサナエ	<i>Stylurus oculatus</i>	-	-	VU	EN	-	CR
59			タベサナエ	<i>Trigomphus citimus tabei</i>	-	-	NT	-	-	VU
60			フタバシサナエ	<i>Trigomphus interruptus</i>	-	-	NT	VU	-	VU
61			オグマサナエ	<i>Trigomphus ogumai</i>	-	-	NT	EN	-	VU
62		ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	<i>Tanypteryx pryeri</i>	-	-	-	-	-	CR
63		エゾトンボ科	トラフトンボ	<i>Epitheca marginata</i>	-	-	-	VU	-	VU
64			コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	-	-	-	-	-	NT
65			キイロヤマトンボ	<i>Macromia daimoji</i>	-	-	NT	NT	-	EX
66			ハネビロエグトンボ	<i>Somatochlora clavata</i>	-	-	VU	EN	-	CR
67			タカネトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i>	-	-	-	-	-	NT
68			エゾトンボ	<i>Somatochlora viridiaenea</i>	-	-	-	CR	-	CR
69	トンボ科	ベッコウトンボ	<i>Libellula angelina</i>	-	国内	CR	CR	-	EX	
70		ハッショウトンボ	<i>Nannophya pygmaea</i>	-	-	-	-	-	NT	
71		キトンボ	<i>Sympetrum croceolum</i>	-	-	-	EN	-	EN	
72		ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>	-	-	-	-	-	NT	
73		ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>	-	-	-	NT	-	VU	
74		マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkelii</i>	-	-	-	NT	-	NT	
75		マグラナニワトンボ	<i>Sympetrum maculatum</i>	-	-	EN	CR	-	EX	
76		ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>	-	-	-	NT	-	VU	
77		オオキトンボ	<i>Sympetrum uniforme</i>	-	-	EN	CR	-	EX	
78	ゴキブリ目(網翅目)	オオゴキブリ科	オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i>	-	-	-	NT	-	NT

注1) 表中の I ～ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

表 3.1.43(2) 重要種一覧 (昆虫類)

No	目名	科名	種名	学名	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
79	カマキリ目(蟻蛉目)	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ	<i>Acromantis japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
80		カマキリ科	ウスバカマキリ	<i>Mantis religiosa sinica</i>	-	-	DD	-	-	-
81	バッタ目(直翅目)	コロギス科	ハネナシコロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i>	-	-	-	-	-	NT
82		コロギス科	コロギス	<i>Proscopogryllacris japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
83		クツワムシ科	タイワングクツワムシ	<i>Mecopoda elongata</i>	-	-	-	NT	-	DD
84		クツワムシ科	クツワムシ	<i>Mecopoda nipponensis</i>	-	-	-	-	-	CR
85		ツユムシ科	ホソクビツユムシ	<i>Shirakisotima japonica</i>	-	-	-	-	-	DD
86		イナゴ科	ハネナガイナゴ	<i>Oxya japonica</i>	-	-	-	-	-	DD
87		イナゴ科	ヤマトフキバッタ	<i>Parapodisma setouchiensis</i>	-	-	-	-	-	NT
88		セグロイナゴ	Shirakiacris shirakii		-	-	-	-	-	EN
89		ヒシバッタ科	ギフヒシバッタ	<i>Tetrix giuensis</i>	-	-	-	DD	-	-
90	ナナフシ目(竹節虫目)	ナナフシ科	トゲナナフシ	<i>Neohirasea japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
91		エダナナフシ	<i>Phraortes elongatus</i>		-	-	-	DD	-	-
92		ナナフシモドキ	<i>Ramulus mikado</i>		-	-	-	-	-	NT
93	カメムシ目(半翅目)	アカジマウンカ科	ニホンアカジマウンカ	<i>Omnatidiotus japonicus</i>	-	-	-	NT	-	EN
94		グンバイウンカ科	ハウチワウンカ	<i>Trypetimorpha japonica</i>	-	-	VU	-	-	EN
95		セミ科	チッチゼミ	<i>Kosemia radiator</i>	-	-	-	-	-	VU
96			ハルゼミ	<i>Terpnosia vacua</i>	-	-	-	-	-	NT
97		サシガメ科	ハリサシガメ	<i>Acanthaspis cincticrus</i>	-	-	NT	-	-	-
98		ヘリカメムシ科	ブチヒゲツノヘリカメムシ	<i>Dicranoccephalus medius</i>	-	-	VU	-	-	-
99		ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ	<i>Canthonophorus niveimarginatus</i>	-	-	NT	-	-	NT
100		アメンボ科	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>	-	-	-	NT	-	VU
101			エサキアメンボ	<i>Limnoperus esakii</i>	-	-	NT	NT	-	EN
102		イトアメンボ科	イトアメンボ	<i>Hydrometra albolineata</i>	-	-	VU	VU	-	CR
103		ミズムシ科(昆)	ミゾナシミズムシ	<i>Cymatia apparens</i>	-	-	NT	-	-	-
104		コオイムシ科	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	-	-	NT	-	-	DD
105			タガメ	<i>Kirkaldya deyrolli</i>	-	国内	VU	EN	-	EX
106		タイコウチ科	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i>	-	-	-	NT	-	NT
107			ヒメタコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i>	-	-	-	NT	-	VU
108			ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>	-	-	-	NT	-	NT
109		ナベブタムシ科	トゲナベブタムン	<i>Aphelocheirus nawae</i>	-	-	VU	EX	-	EX
110			ナベブタムン	<i>Aphelocheirus vittatus</i>	-	-	-	NT	-	-
111			コバンムシ	<i>Ilyocoris cimicoides exclamacionis</i>	-	国内	EN	CR	-	CR
112	ヘビトンボ目	センブリ科	ヤマトセンブリ	<i>Stialis yamatoensis</i>	-	-	DD	-	-	-
113	トビケラ目(毛翅目)	フトヒゲトビケラ科	ヒトスジキソトビケラ	<i>Psilotreta japonica</i>	-	-	-	VU	-	-
114	チョウ目(鱗翅目)	ボクタウガ科	ハイイロボクタウ	<i>Phragmatocia castaneae</i>	-	-	NT	-	-	NT
115		マダラガ科	ヤホシホソマダラ	<i>Balataea octomaculata</i>	-	-	NT	-	-	DD
116		セセリチョウ科	ミヤマセセリ	<i>Erynnis montana montana</i>	-	-	-	-	-	VU
117			ホソバセセリ	<i>Isoteinon lamprospilus lamprospilus</i>	-	-	-	VU	-	NT
118			ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i>	-	-	-	EN	-	CR
119			チャマダラセセリ	<i>Pyrgus maculatus maculatus</i>	-	-	EN	CR	-	-
120		シジミチョウ科	ウラゴマダラシジミ	<i>Artopoetes pryeri pryeri</i>	-	-	-	-	-	NT
121			オオミドリシジミ	<i>Favonius orientalis</i>	-	-	-	NT	-	-
122			ウラコロシジミ	<i>Iratus orsedice orsedice</i>	-	-	-	VU	-	VU
123			シルビアシジミ	<i>Zizina emelina emelina</i>	-	-	EN	EX	-	EX
124		タテハチョウ科	ウラギンシジヒヨウモン	<i>Argyronome laodice japonica</i>	-	-	VU	VU	-	EN
125			オオウラギンシジヒヨウモン	<i>Argyronome ruslana</i>	-	-	-	NT	-	NT
126			ヒメヒカゲ本州中部亜種	<i>Coenonympha oedippus annulifer</i>	-	-	-	EN	希少	-
127			ヒメヒカゲ本州西部亜種	<i>Coenonympha oedippus arothius</i>	-	-	-	EN	希少	-
128			ウラギンシヒヨウモン	<i>Fabriciana adippe pallescens</i>	-	-	-	-	-	EN
129			オオウラギンシヒヨウモン	<i>Fabriciana nerippe</i>	-	-	CR	EX	-	EX
130			アカボシゴマダラ奄美亜種	<i>Hestina assimilis shirakii</i>	-	-	NT	-	-	-
131			イチモジンチョウ	<i>Limenitis camilla japonica</i>	-	-	-	-	-	VU
132			ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>	-	-	-	-	-	NT
133			オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii schrenckii</i>	-	-	-	NT	-	-
134			ヒオドリシジョウ	<i>Nymphaea xanthomelas japonica</i>	-	-	-	NT	-	NT
135			オオムラサキ	<i>Sasaki charonda charonda</i>	-	-	NT	NT	-	-
136			ウラナミミヤノ本州亜種	<i>Ypthima multistrigata niponica</i>	-	-	VU	-	-	-
137		アゲハチョウ科	ギフチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i>	-	-	VU	VU	-	EX
138		シロチョウ科	ツマグロキチョウ	<i>Eurema laeta betheseba</i>	-	-	EN	NT	-	NT
139			スジボンヤマキチョウ	<i>Gonepteryx aspasia niponica</i>	-	-	-	CR	-	-
140		ツトガ科	ゴマツトガ	<i>Chilo pulveratus</i>	-	-	NT	-	-	VU
141			エンスミズメイガ	<i>Eristena argentata</i>	-	-	-	NT	-	VU
142			マエジロツトガ	<i>Pseudocatharylla infixella</i>	-	-	-	-	-	EN
143		シャクガ科	アヤコバネナミシャク	<i>Acasis bellaria</i>	-	-	-	-	-	VU
144			クワトガエダシャク	<i>Apochima excavata</i>	-	-	NT	-	-	NT
145		イボタガ科	イボタガ	<i>Brahmaea japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
146		ヤママユガ科	オナガミアズオ本土亜種	<i>Actias gnoma gnoma</i>	-	-	NT	-	-	-
147		ズズメガ科	オオシモフリスズメ	<i>Langia zenzeroides nawai</i>	-	-	-	-	-	DD
148		ヒリガ科	ヤネホソバ	<i>Eilema fuscodorsalis</i>	-	-	NT	-	-	NT
149		ヤガ科	クビグロケンモン	<i>Acronicta digna</i>	-	-	NT	-	-	-
150			マダラウスズミケンモン	<i>Acronicta subornata</i>	-	-	-	DD	-	NT
151			ガマトウ	<i>Capsula aerata</i>	-	-	VU	-	-	VU
152			コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>	-	-	NT	-	-	NT
153			カバフキシタバ	<i>Catocala mirifica</i>	-	-	-	NT	-	-
154			ブシキキシタバ	<i>Catocala separans</i>	-	-	-	-	-	NT
155			ヌマベウナキヨトウ	<i>Chilodes pacificus</i>	-	-	VU	-	-	VU
156			カギモンハナオイアツバ	<i>Cidariplura signata</i>	-	-	NT	-	-	DD
157			アトジロキリガ	<i>Dioszeghyana mirabilis</i>	-	-	-	-	-	NT
158			エゾジロキトウ	<i>Doerriesia striata</i>	-	-	VU	NT	-	-
159			ホソバオビキリガ	<i>Dryobotodes angusta</i>	-	-	-	-	-	NT
160			トビロアカガネトウ	<i>Euplexia albilineola</i>	-	-	-	-	-	VU
161			ウスミミモンキリガ	<i>Eupsilia contracta</i>	-	-	NT	-	-	NT
162			キスジウスキヨトウ	<i>Globia sparganii</i>	-	-	VU	NT	-	VU
163			キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i>	-	-	NT	-	-	NT
164			ミスジキリガ	<i>Jodia sericea</i>	-	-	NT	-	-	NT
165			ウスベニキヨトウ	<i>Mythimna pudorina</i>	-	-	-	DD	-	-
166			オオチャバネヨトウ	<i>Nonagria puengeleri</i>	-	-	VU	NT	-	EN
167			ギンモンアカヨトウ	<i>Plusilla rosalia</i>	-	-	VU	-	-	-
168			トウカイツマキアツバ	<i>Tamba roseopurpurea</i>	-	-	-	-	-	DD
169	ハエ目(双翅目)	ハルカ科	ハマダラハルカ	<i>Haruka elegans</i>	-	-	DD	-	-	-

注1) 表中のI～VIは表3.1.36の番号と対応する。  
 注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

表 3.1.43(3) 重要種一覧 (昆虫類)

No	目名	科名	種名	学名	選定基準						
					I	II	III	IV	V	VI	
170	コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	マイマイカブリ	<i>Carabus blaptoides blaptoides</i>	-	-	-	-	-	NT	
171			セアカオサムシ	<i>Carabus tuberculatus</i>	-	-	NT	CR	-	-	
172			ヒツメアオゴミムシ	<i>Chlaenius deliciolus</i>	-	-	NT	CR	-	EX	
173			クビナガキベリオゴミムシ	<i>Chlaenius prostenus</i>	-	-	DD	CR	-	-	
174			キベリマルクビゴミムシ	<i>Nebrria livida angulata</i>	-	-	EN	EX	-	EX	
175			フタモンマルクビゴミムシ	<i>Nebrria pulcherrima</i>	-	-	EN	EX	-	EX	
176			エチゴトックリゴミムシ	<i>Oodes echigonus</i>	-	-	NT	EX	-	EX	
177			オオトックリゴミムシ	<i>Oodes vicarius</i>	-	-	NT	NT	-	-	
178			イグチケブカゴミムシ	<i>Peronomerus auripilis</i>	-	-	NT	-	-	NT	
179			オオヒヨウタンゴミムシ	<i>Scarites sulcatus</i>	-	-	NT	VU	-	CR	
180	ハンミョウ科		カワラハンミョウ	<i>Chaetodera laetescripta</i>	-	-	EN	EX	-	EX	
181			ホソハンミョウ	<i>Cylindera gracilis</i>	-	-	VU	CR	-	CR	
182			ナミハンミョウ	<i>Sophiodes japonica</i>	-	-	-	-	-	VU	
183			ゲンゴロウ科	トダセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus nakamurai</i>	-	-	VU	NT	-	CR
184			クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i>	-	-	NT	VU	-	EX	
185			ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i>	-	国内	VU	CR	-	EX	
186			コガタゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus lateralis</i>	-	-	VU	EX	-	EX	
187			マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	-	国内	VU	EX	-	EX	
188			シマゲンゴロウ	<i>Hydaticus bowringii</i>	-	-	NT	CR	-	EX	
189			スジゲンゴロウ	<i>Hydaticus satoi</i>	-	-	EX	EX	-	EX	
190			マダラシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus thermonectoides</i>	-	国内	CR	EX	-	EX	
191			キベリクロヒメゲンゴロウ	<i>Ilybius apicalis</i>	-	-	NT	-	-	CR	
192			コウベツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus kobensis</i>	-	-	NT	-	-	CR	
193			レイスツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus lewisius</i>	-	-	VU	-	-	EX	
194			シャーツブブゲンゴロウ	<i>Laccophilus sharpi</i>	-	-	NT	-	-	-	
195			マルチビゲンゴロウ	<i>Leiodytes frontalis</i>	-	-	NT	NT	-	NT	
196	ミズスマシ科		オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	-	-	NT	EN	-	CR	
197			コミズスマシ	<i>Gyrinus curtus</i>	-	-	EN	CR	-	EX	
198			ヒミズスマシ	<i>Gyrinus gestroi</i>	-	-	EN	-	-	-	
199			ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i>	-	-	VU	CR	-	EX	
200			コオナガミズスマシ	<i>Oretochilus punctipennis</i>	-	-	VU	NT	-	CR	
201			コガシラミズムシ科	クロホシガシラミズムシ	<i>Haliphus basinotatus</i>	-	-	VU	CR	-	CR
202			マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphus sharpi</i>	-	-	VU	NT	-	NT	
203			コツブゲンゴロウ科	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	<i>Canthhydrus politus</i>	-	-	VU	NT	-	NT
204			キボシチコツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus bivittis</i>	-	-	EN	NT	-	NT	
205			カララゴミムシ科	カララゴミムシ	<i>Omophron aequalis</i>	-	-	-	VU	-	EX
206	マルドロムシ科		マルドロムシ	シワムネマルドロムシ	<i>Georisus kurosawai</i>	-	-	-	-	-	EX
207			ホソガムシ科	ヤマトホソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i>	-	-	NT	EN	-	CR
208			ガムシ科	マルヒラタガムシ	<i>Enochrus subsignatus</i>	-	-	NT	-	-	EN
209			スジラタガムシ	<i>Helochares nipponicus</i>	-	-	NT	-	-	-	
210			コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	-	-	DD	-	-	DD	
211			ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i>	-	-	NT	CR	-	EX	
212			コガタガムシ	<i>Hydrophilus bilineatus cashmirensis</i>	-	-	VU	-	-	-	
213			シジミガムシ	<i>Laccobius bedeli</i>	-	-	EN	-	-	-	
214			ヒメジミガムシ	<i>Laccobius fragilis</i>	-	-	-	-	-	DD	
215	エンマムシ科		クロエンマムシ	<i>Hister concolor</i>	-	-	-	DD	-	DD	
216			ヤマトエンマムシ	<i>Hister japonicus</i>	-	-	-	-	-	NT	
217			エンマムシ	<i>Merohister jekeli</i>	-	-	-	DD	-	-	
218			アラメエンマムシ	<i>Zabromorphus salebrosus subsolanus</i>	-	-	-	NT	-	-	
219			シデムシ科	ヤマトモシンデムシ	<i>Nicrophorus japonicus</i>	-	-	NT	CR	-	CR
220			ハネカクシ科	オオズミハネカクシ	<i>Liparocelphalus tokunagai</i>	-	-	EN	-	-	-
221			クワガタムシ科	オオクワガタ	<i>Dorcus hopei bimodulos</i>	-	-	VU	CR	-	CR
222			コガネムシ科	アカマダラハナムグリ	<i>Anthracophora rusticola</i>	-	-	DD	NT	-	EN
223			オオタホシマグソコガネ	<i>Aphodius elegans elegans</i>	-	-	-	EN	-	-	
224			マルエンマコガネ	<i>Onthophagus viduus</i>	-	-	-	EX	-	-	
225	コブシコガネ科		ミツノエンマコガネ	<i>Parascatonomus tricornis</i>	-	-	-	-	-	VU	
226			クロカナブン	<i>Rhomborhina polita</i>	-	-	-	NT	-	-	
227			マルコブシコガネ	<i>Trox mitis</i>	-	-	NT	-	-	-	
228			ヒメドロムシ科	アヤスジミドロムシ	<i>Graphelmis shirahatai</i>	-	-	EN	-	-	NT
229			タマムシ科	クロマダラタマムシ	<i>Nippobuprestis quercest</i>	-	-	-	VU	-	EN
230			ホタル科	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>	-	-	-	-	-	EN
231			ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>	-	-	-	DD	-	EN	
232			ヒメボタル	<i>Luciola parvula</i>	-	-	-	-	-	NT	
233			カッコウムシ科	ヤマトヒメダカカッコウムシ	<i>Neohydynus hozumi</i>	-	-	-	-	-	DD
234			ツチハンミョウ科	マメハンミョウ	<i>Epicauta gorhami</i>	-	-	-	-	-	CR
235	ゴミシダムシ科		ヤマトオサムシダムシ	<i>Blaps japonensis</i>	-	-	NT	-	-	CR	
236			カミキリムシ科	ベーツラタカミキリ	<i>Euryopoda batesi</i>	-	-	-	-	-	VU
237			クビアカハナカミキリ	<i>Gauromes atripennis</i>	-	-	-	VU	-	-	
238			オオシロカミキリ	<i>Olene campatus cretaceus</i>	-	-	-	-	-	CR	
239			ヨツボシカミキリ	<i>Stenyrinus quadrinotatum</i>	-	-	EN	EN	-	EX	
240			ハムシ科	キオビキビボソハムシ	<i>Lema delicatula</i>	-	-	-	DD	-	-
241			ゾウムシ科	カギアシゾウムシ	<i>Bagous bipunctatus</i>	-	-	-	DD	-	DD
242			バッキンガムカギアシゾウムシ	<i>Bagous buckingamii</i>	-	-	-	NT	-	NT	
243			ヒシチビゾウムシ	<i>Nanophyes japonicus</i>	-	-	-	NT	-	-	
244	ハチ目(膜翅目)		コマユバチ科	ウマノオバチ	<i>Eurobracon yokahamae</i>	-	-	NT	NT	-	-
245			セイボウ科	オオセイボウ	<i>Stilbum cyanurum</i>	-	-	DD	-	-	-
246			スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ	<i>Polistes japonicus</i>	-	-	DD	-	-	-
247			モンスズメバチ	<i>Vespa crabro</i>	-	-	DD	-	-	-	
248			クモバチ科	フタモンクモバチ	<i>Parabatozonus jankowskii</i>	-	-	NT	-	-	-
249			アオスジクモバチ	<i>Paracyphononyx alienus</i>	-	-	DD	-	-	-	
250			ギングチバチ科	アカオビケラトリバチ	<i>Larva amplipennis</i>	-	-	NT	-	-	-
251			コウライクモカリバチ	<i>Pison koreense</i>	-	-	DD	-	-	-	
252			ドロバチモドキ科	ヤマトスナハキバチ本土亜種	<i>Bembecinus hungaricus japonicus</i>	-	-	DD	-	-	-
253			キアシハナカバチモドキ	<i>Stizus perrisi</i>	-	-	VU	-	-	-	
254			アリマキバチ科	カラトイスカバチ	<i>Passaloecus koreanus</i>	-	-	DD	-	-	-
255			アナバチ科	キゴジジガバチ	<i>Sceliphron madraspatanum</i>	-	-	-	NT	-	-
256			ミツバチ科	クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i>	-	-	NT	-	-	-
257			ナミルリモンハナバチ	<i>Thyreus decorus</i>	-	-	DD	-	-	-	
258			ハキリバチ科	キヌゲハキリバチ	<i>Megachile kobensis</i>	-	-	-	NT	-	-

13 目 97 科 258 種 0 種 6 種 125 種 136 種 2 種 197 種

注1) 表中の I ~ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

## ⑦ 貝類

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる貝類の重要種は、表 3.1.44 に示すとおり、6 目 21 科 48 種である。

陸産貝類が複数種該当するほか、水田等の浅い湛水や河川域を生息環境とする種が該当している。

表 3.1.44 重要種一覧（貝類）

No.	目名	科名	種名	学名	選定基準						
					I	II	III	IV	V	VI	
1	新生腹足目	ヤマタニシ科 ゴマガイ科 タニシ科 カワニナ科	ヤマタニシ	<i>Cyclophorus herklotzi</i>	-	-	-	-	-	VU	
2			ミジンヤマタニシ	<i>Nakadaella micron</i>	-	-	-	-	-	VU	
3			ヒダリマキゴマガイ	<i>Palaina pusilla</i>	-	-	-	-	-	NT	
4			マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	-	-	VU	NT	-	EN	
5			オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>	-	-	NT	-	-	VU	
6			クロダカワニナ	<i>Semisulcospira kurodai</i>	-	-	NT	NT	-	-	
7			カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	-	-	-	-	-	DD	
8			チリメンカワニナ	<i>Semisulcospira reiniana</i>	-	-	-	-	-	DD	
9			エゾマメタニシ科	<i>Parafossarulus manchouricus japonicus</i>	-	-	VU	CR	-	EX	
10			オカミミガイ科	<i>Auriculastra duplicata</i>	-	-	VU	CR	-	CR	
11	汎有肺目		オカミミガイ	<i>Ellobium chinense</i>	-	-	VU	EN	-	CR	
12			キヌカツギハシマイノミガイ	<i>Melampus sincaporensis</i>	-	-	VU	CR	-	-	
13	基眼目	モノアラガイ科	<i>Radix auricularia japonica</i>	-	-	NT	DD	-	EX		
14		ヒラマキガイ科	<i>Campoteras terebra hirasei</i>	-	-	CR	EX	-	EX		
15		カワコザラガイ	<i>Laevapex nipponica</i>	-	-	CR	DD	-	-		
16		ヒメヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus pulcher</i>	-	-	EN	DD	-	VU		
17		ヒラマキミズマイマイ	<i>Gyraulus chinensis spirillus</i>	-	-	DD	NT	-	NT		
18		ヒラマキガイモドキ	<i>Polyptylis hemisphaerula</i>	-	-	NT	NT	-	VU		
19	柄眼目	オカモノアラガイ科 キセルガイモドキ科 キセルガイ科 ナタネガイ科 ナメクジ科 ベッコウマイマイ科	オカオカモノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i>	-	-	NT	NT	-	EN	
20			キセルガイモドキ	<i>Mirus reinianus</i>	-	-	-	NT	-	-	
21			ナミギゼル	<i>Stereophaedusa japonica</i>	-	-	-	-	-	EN	
22			ミジンナタネ	<i>Punctum atomus</i>	-	-	-	DD	-	-	
23			イボイボナメクジ	<i>Granulifimus fuscicornis</i>	-	-	NT	NT	-	VU	
24			ヒラベッコウマイ	<i>Bekkochlamys micrograpta</i>	-	-	DD	VU	-	-	
25			ヒゼンキビ	<i>Parakaliella hizenensis</i>	-	-	NT	NT	-	VU	
26			ヒメハリマキビ	<i>Parakaliella pagoduloides</i>	-	-	NT	NT	-	-	
27			ウメムラシタラガイ	<i>Sitalina japonica</i>	-	-	NT	NT	-	-	
28			オオウエキビ	<i>Trochochlamys fraterna</i>	-	-	DD	-	-	-	
29			タカキビ	<i>Trochochlamys praealta</i>	-	-	NT	NT	-	-	
30			ヒメカサキビ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i>	-	-	NT	NT	-	NT	
31			ウラウズタカキビ	<i>Coneuplecta sp.</i>	-	-	-	NT	-	VU	
32		ニッポンマイマイ科 オナジマイマイ科 タワラガイ科	ヒロウドマイマイ属の一種	<i>Nipponochloritis sp.</i>	-	-	-	-	-	VU	
33			ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica</i>	-	-	-	-	-	VU	
34			コベゾマイマイ	<i>Satsuma myomphala</i>	-	-	-	-	-	VU	
35			ヤマタカマイマイ	<i>Satsuma papilliformis</i>	-	-	NT	CR	-	-	
36			オオケマイマイ	<i>Aegista vulgivaga</i>	-	-	-	-	-	NT	
37			カタマメマイマイ	<i>Lepidopisum verrucosum</i>	-	-	VU	VU	-	VU	
38			ヒルゲンドルフマイマイ	<i>Trishoplita hilgendorfi</i>	-	-	NT	NT	-	EN	
39			タワラガイ	<i>Sinoennea iwakawa</i>	-	-	-	-	-	VU	
40	イシガイ目	イシガイ科	ミナミタガイ	<i>Beringiana fukuharai</i>	-	-	-	-	-	CR	
41			カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i>	-	-	EN	DD	-	-	
42			イシガイ	<i>Unio douglasiae</i>	-	-	-	CR	-	CR	
43			マルドブガイ	<i>Anodonta calipygos</i>	-	-	VU	-	-	-	
44			ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i>	-	-	-	DD	-	-	
45			ヌマガイ	<i>Sinanodonta lauta</i>	-	-	-	-	-	CR	
46	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	-	-	VU	DD	-	DD	
47		マメシジミ科	ウエジマメシジミ	<i>Pisidium uejii</i>	-	-	-	-	-	EN	
48		ドブシジミ科	ドブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>	-	-	-	-	-	VU	
	6 目	21 科	48 種		0 種	0 種	28 種	30 種	0 種	34 種	

注1) 表中の I ~ VI は表 3.1.36 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

### 3.1.8.2 植物

#### (1) 植物相の概要

「令和5年版 環境白書」(令和5年12月 愛知県)によると、愛知県の気候は一般に温暖で、夏季多雨、冬季小雨型となっている。このような気候の影響を受け、植物区分は奥三河山地の一部が温帯に属するほかは、暖帯に属している。

植生は、潜在的にはほとんどが照葉樹林帯に属するが、平野部では古くから宅地、農地等としての土地利用が進んだため、シイ・タブを中心とした自然植生は社寺林などとしてわずかに残っているにすぎない。一方、丘陵から山地部の多くの部分は、スギ及びヒノキを中心とした人工林となっており、都市近郊の丘陵部を中心にコナラ、アベマキ等を主体とする二次的植生の森林(二次林) 地域が見られる。

対象事業実施想定区域及びその周囲の植生図は、図 3.1.18 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域は工場地帯であり、西側は市街地、南側は緑の多い住宅地となっている。東側は工場地帯及び竹林となっており、一部にケネザサーコナラ群集や水田雑草群落が分布している。

北側には矢田川が流れしており、対象事業実施想定区域に隣接する側の河川敷はゴルフ場・芝地が多く、河川を挟んだ北側及び西側はオギ群集、ススキ群団が分布している。河川より北側は工場地帯と水田雑草、市街地が分布している。また、対象事業実施想定区域及びその周囲の植物の状況については、表 3.1.45 に示す既存文献により整理した。

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる植物は、表 3.1.46 に示すとおり、184科 2,219種である。

市街地、農耕地、草地、湿生地、樹林地、山地等の多様な環境に生育する多様な種が確認されており、シデコブシやマメナシ、ミカワバイケイソウ、ミカワシオガマ等の「東海丘陵要素」と呼ばれる東海地方に固有、あるいは国内における分布の中心がある種(変種を含む。)が複数種確認されている。

表 3.1.45 確認文献一覧

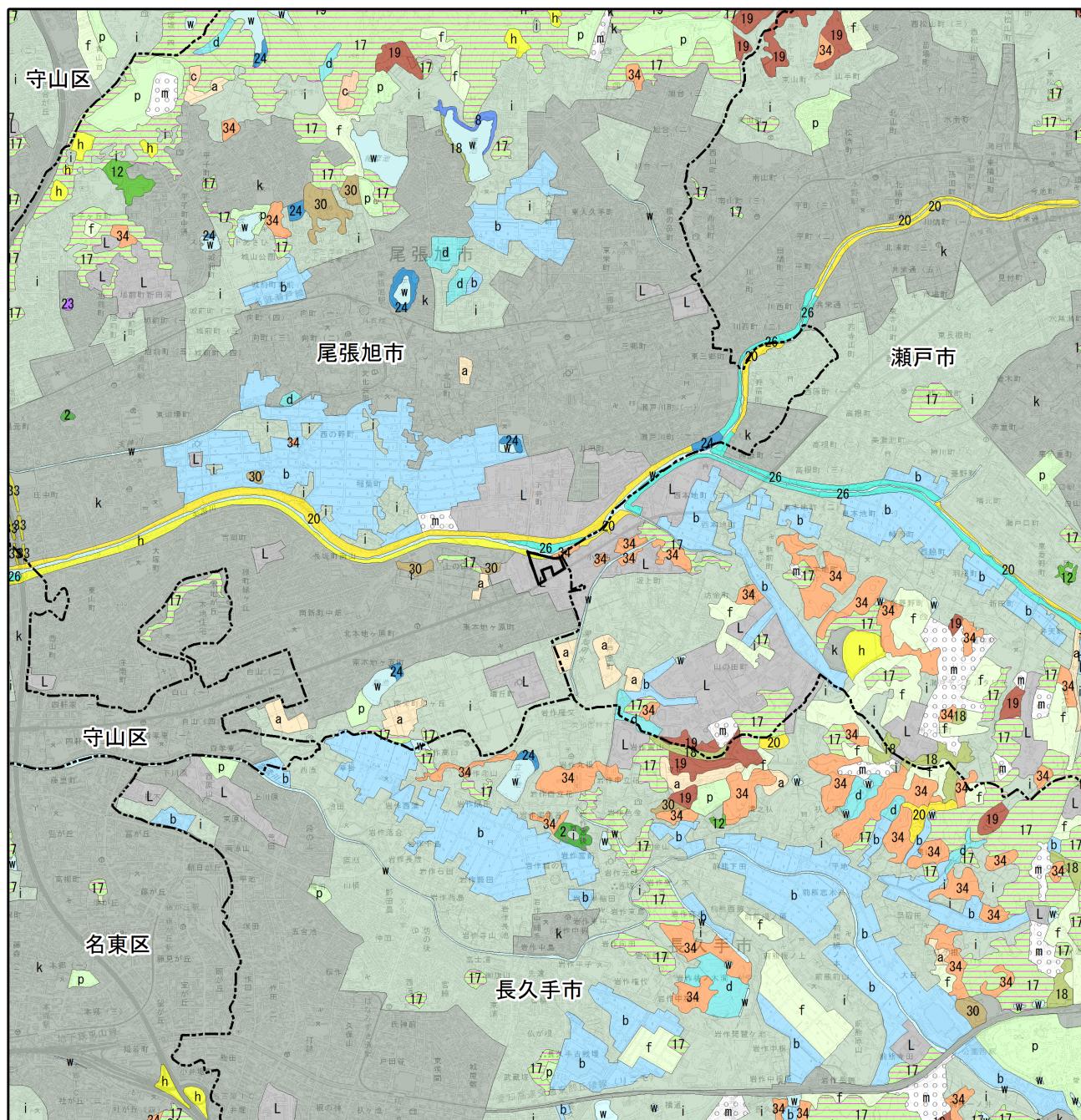
番号	文献	分布想定種
1	「レッドデータブックあいち 2020」 (令和 2 年 3 月 愛知県)	対象事業実施想定区域及びその周囲を含むメッシュ内で確認されている種または尾張旭市、瀬戸市、長久手市、名古屋市での分布記載のある種
2	名古屋市版レッドリスト 2025 (令和 7 年 4 月 名古屋市) レッドデータブックなごや 2025 植物編 (令和 7 年 4 月 名古屋市)	新規掲載種が対象事業実施想定区域及びその周囲に含まれる名古屋市守山区、名東区で確認されている種
3	尾張旭市自然環境基礎調査報告書 (平成 13 年 3 月、令和 5 年 3 月 尾張旭市)	調査で確認されている種
4	尾張旭市誌 (本文編) (1971 年 尾張旭市)	市誌に記載されている植物
5	瀬戸市史 資料編 2(自然) (1986 年 3 月 瀬戸市)	目録記載の種
6	海上の森 確認種リスト(令和元年 愛知県)	調査で確認されている種
7	長久手町史 資料編 2 自然 (昭和 58 年 4 月 長久手町)	目録記載の種
8	新修名古屋市史資料編 自然 目録 (平成 20 年 3 月 名古屋市)	目録記載の種
9	なごや生きものマップ (令和 6 年 4 月現在 名古屋市)	対象事業実施想定区域及びその周囲に含まれる地域で確認されている種
10	なごや生きもの一斉調査 (2019 ヒツツキムシ編、オオキンケイギク 一斉調査 H25) (平成 26 年 3 月～令和 2 年 9 月 名古屋市)	調査対象とした野生動物のうち、対象事業実施想定区域及びその周囲に含まれている名古屋市守山区及び名東区で確認されている種

表 3.1.46 植物確認種数

分類群名			科数	種数	文献番号									
門名	亜門名	綱名			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
シダ植物門		ヒカゲノカズラ綱	3	14	0	3	8	1	10	8	3	6	0	0
		大葉シダ綱	23	185	5	38	111	20	109	132	26	68	0	0
種子植物門	裸子植物亜門		6	24	0	1	11	6	12	13	10	14	0	0
	被子植物亜門	-	9	49	0	6	30	11	31	31	7	28	0	0
		単子葉類	29	595	6	83	352	100	421	359	174	329	0	4
		真正双子葉類	114	1,352	59	127	803	296	948	770	401	723	1	15
合計			184 科	2,219 種	70 種	258 種	1,315 種	434 種	1,531 種	1,313 種	621 種	1,168 種	1 種	19 種

注1) 表中の文献番号1～10は表 3.1.45の番号と対応する。

注2) 分類群名については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。



### 凡 例

□ 対象事業実施想定区域	○ 23 カナメモチーコジイ群集	h ゴルフ場・芝地
---- 市区界	8 ヤナギ高木群落 (V I)	f 路傍・空地雑草群落
	12 シイ・カシ二次林	c 放棄畑雑草群落
	17 ケネザサーコナラ群集	a 畑雑草群落
	18 アカメガシワーカラスザンショウ群落	b 水田雑草群落
	19 モチツツジーアカマツ群集	d 放棄水田雑草群落
	20 ススキ群団 (V I I)	k 市街地
	23 貧養地小型植物群落	i 緑の多い住宅地
	24 ヨシクラス	p 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
	26 オギ群集	L 工場地帯
	30 スギ・ヒノキ・サワラ植林	○ m 造成地
	33 その他植林 (常緑広葉樹)	w 開放水域
	34 竹林	

出典：「第6、7回自然環境保全基礎調査」（環境省生物多様性センターホームページ）

「電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成」

1:40,000

0 0.4 0.8

1.6 km

N

図 3.1.18 現存植生図

## (2) 重要な植物種

確認された種のうち、重要な植物種を抽出した。重要な植物種の選定根拠は表 3.1.47 に、その選定基準は表 3.1.48 に示すとおりである。

なお、表 3.1.45 の確認文献の中には、詳細な位置情報の記載がないものも含まれるため、事業実施想定区域及びその周囲から離れた地域で見られる種を掲載している可能性がある。

表 3.1.47 重要な植物種及び植物群落の選定根拠

番号	法令・文献等	選定基準
I	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号) 「愛知県文化財保護条例」(昭和30年愛知県条例第6号) 「尾張旭市文化財保護条例」(昭和46年尾張旭市条例第27号) 「瀬戸市文化財保護条例」(昭和47年瀬戸市条例第12号) 「長久手市文化財保護条例」(昭和52年長久手市条例第2号) 「名古屋市文化財の保存及び活用に関する条例」 (昭和47年名古屋市条例第4号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別天然記念物（特天）</li> <li>国指定天然記念物（国天）</li> <li>愛知県指定天然記念物（県天）</li> <li>尾張旭市指定天然記念物（市天）</li> <li>瀬戸市指定天然記念物（市天）</li> <li>長久手市指定天然記念物（市天）</li> <li>名古屋市指定天然記念物（市天）</li> </ul>
II	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成4年法律第75号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際希少野生動植物種（国際）</li> <li>国内希少野生動植物種（国内）</li> <li>特定第一種国内希少野生動植物種（特1）</li> <li>特定第二種国内希少野生動植物種（特2）</li> <li>緊急指定種（緊急）</li> </ul>
III	「環境省レッドリスト 第5次レッドリスト（植物・菌類）」 (令和7年3月18日 環境省報道発表資料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶滅危惧 I 類 (CR+EN)</li> <li>絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>準絶滅危惧 (NT)</li> <li>情報不足 (DD)</li> <li>地域個体群 (LP)</li> </ul>
IV	「レッドリストあいち 2025」(令和7年3月 愛知県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>準絶滅危惧 (NT)</li> <li>情報不足 (DD)</li> <li>地域個体群 (LP)</li> </ul>
V	「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」 (昭和48年愛知県条例第3号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定希少野生動植物種（希少）</li> </ul>
VI	「名古屋市版レッドリスト 2025」(令和7年4月 名古屋市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>準絶滅危惧 (NT)</li> <li>情報不足 (DD)</li> <li>地域個体群 (LP)</li> </ul>

表 3.1.48 重要な植物種及び植物群落の選定基準

番号	選定基準	評価基準
I	特別天然記念物 (特天)	天然記念物のうち世界的にまた国家的に価値が特に高いもの
	国指定天然記念物 (国天)	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、我が国の自然を記念するもの
	愛知県指定天然記念物 (県天)	動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、愛知県の自然を記念するもの
	尾張旭市指定天然記念物 (市天)	動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)で学術上価値の高いもの
	瀬戸市指定天然記念物 (市天)	動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
	長久手市指定天然記念物 (市天)	動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で学術上価値の高いもの
	名古屋市指定天然記念物 (市天)	動物、植物、地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの
II	国際希少野生動植物種 (国際)	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種(国内希少野生動植物種を除く。)であって、政令で定めるものをいう
	国内希少野生動植物種 (国内)	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるものをいう
	特定第一種国内 希少野生動植物種 (特1)	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること 二 國際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
III	特定第二種国内 希少野生動植物種 (特2)	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう 一 種の個体の主要な生息地若しくは生育地が消滅しつつあるものであること 二 又はその種の個体の生息若しくは生育の環境が著しく悪化しつつあるものであること 三 種の存続に支障を来す程度にその種の個体の数が著しく少ないものでないこと 四 國際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと
	緊急指定種 (緊急)	環境大臣が、希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定するものをいう
	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
IV	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危機が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
	絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
V	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
	地域個体群 (LP)	特に保全のための配慮が必要と考えられる特徴的な個体群
	指定希少野生動植物種 (希少)	県内に生息生育する絶滅のおそれのある野生動植物種のうち、特に保護を図る必要があるもの
	絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
VI	絶滅危惧 I B 類 (EN)	I A 類ほどではないが、現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難な種
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
	地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

注) 表中の I ~VIIは表 3.1.47の番号と対応する。

対象事業実施想定区域及びその周囲で見られる植物の重要種は、表 3.1.49 に示すとおり、119科 506 種である。

動物種と同様、樹林地や河川敷、草地等多岐にわたる環境に生育する植物種が該当している。

表 3.1.49(1) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	学名	選定基準					
				I	II	III	IV	V	VI
1	ヒカゲノカズラ科	オニトウゲシバ	<i>Hyperzia serrata</i> var. <i>longipetiolata</i>	-	-	-	-	-	NT
2		ヤチスギラン	<i>Lycopodiella inundata</i>	-	-	-	CR	-	-
3		アスヒカズラ	<i>Lycopodium complanatum</i>	-	-	-	VU	-	-
4	イワヒバ科	イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i>	-	-	VU	-	-	-
5		グラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i>	-	-	-	-	-	NT
6		ミズニラ科	<i>Isoetes japonica</i>	-	-	NT	NT	-	EX
7	ハナヤスリ科	シチウハナワラビ	<i>Botrychium atrovirens</i>	-	-	-	CR	-	-
8		アカハナワラビ	<i>Botrychium nipponicum</i>	-	-	-	-	-	CR
9		ハマハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i>	-	-	-	-	-	NT
10		ヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum vulgatum</i>	-	-	-	VU	-	-
11		モトマチハナワラビ	<i>Sceptridium sp.</i>	-	-	-	EN	-	EN
12	マツバラン科	マツバラン	<i>Psilotum nudum</i>	-	-	NT	VU	-	-
13	ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	<i>Osmunda cinnamomeum</i> var. <i>fokiense</i>	-	-	-	-	-	EN
14	コケシノブ科	ウチワゴケ	<i>Crepidomanes minutum</i>	-	-	-	-	-	NT
15		コウヤコケシノブ	<i>Hymenophyllum barbatum</i>	-	-	-	-	-	VU
16	デンジソウ科	デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i>	-	-	NT	CR	-	EX
17	サンショウウモ科	オオアカウキクサ	<i>Azolla japonica</i>	-	-	EN	CR	-	-
18		アカウキクサ	<i>Azolla pinnata</i> ssp. <i>asiatica</i>	-	-	EN	CR	-	-
19		サンショウウモ	<i>Salvinia natans</i>	-	-	NT	EN	-	EX
20	キジノオシダ科	タカサゴキジノオ	<i>Plagiogyria adnata</i>	-	-	-	VU	-	-
21		ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumureana</i>	-	-	-	VU	-	-
22	コバノイシカグマ科	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i>	-	-	-	-	-	-
23		イシカグマ	<i>Microlepia strigosa</i>	-	-	-	NT	-	CR
24	イノモツウ科	ミカラワガネ	<i>Coniogramme sp.</i>	-	-	-	EN	-	-
25		オオバハナチジョウシダ	<i>Pteris terminalis</i> var. <i>terminalis</i>	-	-	-	-	-	EN
26	ナヨシダ科	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i>	-	-	-	-	-	VU
27	チャセンシダ科	ヌリトランオ	<i>Asplenium normale</i>	-	-	-	-	-	VU
28		トキワトランオ	<i>Asplenium pekinense</i>	-	-	-	-	-	NT
29		オクダマシダ	<i>Asplenium pseudowilldorffii</i>	-	-	-	VU	VU	-
30		チャセンシダ	<i>Asplenium trichomanes</i> ssp. <i>quadrivalens</i>	-	-	-	-	-	EN
31	ヒメシダ科	ヒメワラビ	<i>Macrothelypteris torresiana</i> var. <i>calvata</i>	-	-	-	-	-	VU
32		イブキシダ	<i>Thelypteris esquirolii</i>	-	-	-	-	-	-
33		ツクシキヤラシダ	<i>Thelypteris hattorii</i> var. <i>nemoralis</i>	-	-	-	VU	-	CR
34	シシガシラ科	コモチシダ	<i>Woodwardia orientalis</i>	-	-	-	-	-	EN
35	メシダ科	カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i>	-	-	-	-	-	-
36		サトメシダ	<i>Athyrium deltoidofrons</i>	-	-	-	-	-	VU
37		サキモリイヌワラビ	<i>Athyrium oblitescens</i>	-	-	-	-	-	-
38		タニイヌワラビ	<i>Athyrium otophorum</i>	-	-	-	-	-	NT
39		ヒロハニヌワラビ	<i>Athyrium wardii</i>	-	-	-	-	-	NT
40		ヘラシダ	<i>Deparia lancea</i>	-	-	-	-	-	VU
41		ウスバシケシダ	<i>Deparia longipes</i>	-	-	VU	VU	-	VU
42		ヒカゲワラビ	<i>Diplazium chinense</i>	-	-	-	-	-	NT
43		ニセクモウクシヤク	<i>Diplazium conterminum</i>	-	-	-	VU	-	EN
44		ウスバミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium deciduum</i>	-	-	-	VU	-	-
45		シロヤマシダ	<i>Diplazium hachijoense</i>	-	-	-	-	-	VU
46		オニヒカゲワラビ	<i>Diplazium nipponicum</i>	-	-	-	-	-	VU
47		キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>	-	-	-	-	-	NT
48	オシダ科	オオカナワラビ	<i>Arachniodes amabilis</i> var. <i>fimbriata</i>	-	-	-	-	-	NT
49		ホソバナリシダ	<i>Arachniodes borealis</i>	-	-	-	-	-	VU
50		イワヘゴ	<i>Dryopteris atrata</i>	-	-	-	-	-	VU
51		ツクシイワヘゴ	<i>Dryopteris commixta</i>	-	-	-	NT	-	-
52		オシダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i>	-	-	-	-	-	-
53		ヌカイタチシダ	<i>Dryopteris gymnosora</i>	-	-	-	NT	-	-
54		ヌカイタチシダモドキ	<i>Dryopteris indusiata</i>	-	-	-	-	-	EN
55		ワカナシダ	<i>Dryopteris kuratae</i>	-	-	-	EN	-	-
56		キヨスミヒメワラビ	<i>Dryopteris maximowicziana</i>	-	-	-	-	-	-
57		オワセベニシダ	<i>Dryopteris ryo-itoana</i>	-	-	-	VU	-	-
58		ヒメイタチシダ	<i>Dryopteris sacrosancta</i>	-	-	-	-	-	VU
59		ヌカイタチシダマガイ	<i>Dryopteris simasakii</i>	-	-	-	-	-	EN
60		ナガバノイタチシダ	<i>Dryopteris sparsa</i> var. <i>sparsa</i>	-	-	-	-	-	VU
61		タニヘゴ	<i>Dryopteris tokyoensis</i>	-	-	-	-	-	VU
62		アスカイノデ	<i>Polystichum fibrillospaleaceum</i>	-	-	-	-	-	VU
63	ウラボシ科	オオクボシダ	<i>Microlypodium okuboi</i>	-	-	-	NT	-	-
64		ミツテウラボシ	<i>Selliguea hastata</i>	-	-	-	-	-	VU
65		ヒノキ科	<i>Juniperus conferta</i>	-	-	-	VU	-	-
66		ネズミサシ	<i>Juniperus rigida</i>	-	-	-	NT	-	-
67	イチイ科	ハイイヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> var. <i>nana</i>	-	-	-	-	-	CR
68		イチイ	<i>Taxus cuspidata</i>	-	-	-	EN	-	-
69		カヤ	<i>Torreya nucifera</i> var. <i>nucifera</i>	-	-	-	-	-	CR
70	ジュンサイ科	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i>	-	-	-	-	-	EX
71	スイレン科	オニバス	<i>Euryale ferox</i>	-	-	VU	CR	-	CR
72		コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>	-	-	-	EN	-	-
73		ヒメコウホネ	<i>Nuphar subintegerrima</i>	-	-	CR	CR	-	EX
74		ヒヅシグサ	<i>Nymphaea tetragona</i> var. <i>angustia</i>	-	-	-	-	-	EX
75	センリョウ科	フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>	-	-	-	-	-	VU
76	ウマノスズクサ科	オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i>	-	-	-	VU	-	EN
77		コウヤカンアオイ	<i>Asarum kooyanum</i>	-	-	EN	-	-	-
78		スズカカンアオイ	<i>Asarum rigescens</i> var. <i>brachypodium</i>	-	-	-	-	-	NT
79	モクレン科	シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i>	-	-	NT	VU	-	EN

注1) 表中の I ～ VI は表 3.1.47 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

表 3.1.49(2) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	学名	選定基準					
				I	II	III	IV	V	VI
80	クスノキ科	ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>	-	-	NT	-	-	-
81		カナクギノキ	<i>Lindera erythrocarpa</i>	-	-	-	-	-	-
82		ヒメクロモジ	<i>Lindera lancea</i>	-	-	-	-	-	CR
83		ダンコウバイ	<i>Lindera obtusiloba</i>	-	-	-	-	-	EX
84		クロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>umbellata</i>	-	-	-	-	-	EN
85		カゴノキ	<i>Litsea coreana</i>	-	-	-	-	-	NT
86		シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> var. <i>sericea</i>	-	-	-	-	-	NT
87		ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i>	-	-	-	DD	-	DD
88		ウラシマソウ	<i>Arisaema thunbergii</i> ssp. <i>urashima</i>	-	-	-	-	-	NT
89		スルガテンナンショウ	<i>Arisaema yamatense</i> ssp. <i>sugimotoi</i>	-	-	-	-	-	CR
90		オオハング	<i>Pinellia tripartita</i>	-	-	-	DD	-	DD
91	チシマゼキショウ科	イワショウブ	<i>Triantha japonica</i>	-	-	-	VU	-	-
92	オモダカ科	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>	-	-	-	-	-	VU
93		マルバオモダカ	<i>Caldesia parnassifolia</i>	-	-	VU	EN	-	-
94		アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	-	-	NT	-	-	VU
95	トチカガミ科	セトヤナギスブタ	<i>Blyxa alternifolia</i>	-	-	CR	CR	-	CR
96		マルミスブタ	<i>Blyxa aubertii</i>	-	-	VU	VU	-	CR
97		スブタ	<i>Blyxa echinospurma</i>	-	-	VU	CR	-	EX
98		ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i>	-	-	-	NT	-	EN
99		トチカガミ	<i>Hydrocharis dubia</i>	-	-	NT	EN	-	EN
100		ヒロハトリゲモ	<i>Najas chinensis</i>	-	-	NT	-	-	-
101		イドリゲモ	<i>Najas gracillima</i>	-	-	NT	NT	-	VU
102		ホシツモ	<i>Najas graminea</i>	-	-	-	-	-	EX
103		イバラモ	<i>Najas marina</i>	-	-	-	CR	-	-
104		トリゲモ	<i>Najas minor</i>	-	-	VU	-	-	-
105		オオトリゲモ	<i>Najas oguraensis</i>	-	-	-	NT	-	EN
106		ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>	-	-	NT	-	-	NT
107		コガイモ	<i>Vallisneria densa</i> ssp. <i>erruculata</i>	-	-	-	VU	-	EX
108		セキショウモ	<i>Vallisneria natans</i> var. <i>natans</i>	-	-	-	-	-	EX
109	シバナ科	シバナ	<i>Triglochin asiatica</i>	-	-	NT	NT	-	EN
110	ヒルムシロ科	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i>	-	-	NT	NT	-	-
111		ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i>	-	-	-	NT	-	EN
112		オヒルムシロ	<i>Potamogeton natans</i>	-	-	-	VU	-	-
113		ツツイモ	<i>Potamogeton pusillus</i>	-	-	VU	-	-	-
114		ササバモ	<i>Potamogeton wrightii</i>	-	-	-	EN	-	-
115		リュウノヒゲモ	<i>Stuckenia pectinata</i>	-	-	NT	-	-	-
116	ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ	<i>Burmannia championii</i>	-	-	-	NT	-	VU
117	ヤマノイモ科	ヒメドコロ	<i>Dioscorea tenuipes</i>	-	-	-	-	-	VU
118	ホシゴウソウ科	ホシゴウソウ	<i>Sciaiphila nana</i>	-	-	NT	-	-	VU
119	シユロソウ科	シユロソウ	<i>Chionographis japonica</i>	-	-	-	-	-	VU
120		ショウジョウバカマ	<i>Helonias orientalis</i> var. <i>orientalis</i>	-	-	-	-	-	NT
121		ミカワバイケイソウ	<i>Veratrum stamineum</i> var. <i>micranthum</i>	-	-	VU	EN	-	-
122	イヌサフラン科	チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>	-	-	-	-	-	NT
123	ユリ科	ウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> var. <i>cordatum</i>	-	-	-	-	-	EX
124		カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i>	-	-	-	-	-	CR
125		ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>	-	-	-	-	-	CR
126		ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>	-	-	-	-	-	EN
127		コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> f. <i>pseudotigrinum</i>	-	-	-	-	-	CR
128		アマナ	<i>Tulipa edulis</i>	-	-	-	-	-	EN
129	ラン科	イワチドリ	<i>Amitostigma keiskei</i>	-	-	EN	EN	-	-
130		シラン	<i>Bletilla striata</i>	-	-	NT	NT	-	-
131		マメヅタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i>	-	-	NT	-	-	-
132		ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i>	-	-	NT	-	-	-
133		エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	-	-	NT	NT	-	-
134		ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i>	-	-	VU	VU	-	CR
135		ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	-	-	-	-	-	EN
136		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	-	-	NT	NT	-	EN
137		サイハイラン	<i>Cremastora variabilis</i>	-	-	-	-	-	EN
138		クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	-	-	VU	VU	-	-
139		ツチアケビ	<i>Cyrtosia septentrionalis</i>	-	-	-	-	-	EX
140		サワラン	<i>Eleocharis japonica</i>	-	-	-	CR	-	EX
141		カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i>	-	-	-	-	-	EN
142		アキザキヤツシロラン	<i>Gastrodia confusa</i>	-	-	-	VU	-	EN
143		シロテンマ	<i>Gastrodia elata</i> var. <i>pallens</i>	-	-	EN	-	-	-
144		クロヤツシロラン	<i>Gastrodia pubilabiata</i>	-	-	-	-	-	VU
145		ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>	-	-	-	-	-	EN
146		オオミヤマウズラ	<i>Goodyera tsukamotoi</i>	-	-	-	EN	-	CR
147		シュスラン	<i>Goodyera velutina</i>	-	-	-	VU	-	CR
148		ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i>	-	-	NT	VU	-	EX
149		ムヨウラン	<i>Lecanorhiza japonica</i>	-	-	-	-	-	CR
150		ホクリクムヨウラン	<i>Lecanorhiza japonica</i> var. <i>hokurikuensis</i>	-	-	-	VU	-	EN
151		ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i>	-	-	-	-	-	VU
152		クモキソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	-	-	-	-	-	EN
153		サギソウ	<i>Pecteilis radiata</i>	-	-	NT	VU	-	VU
154		コバトクンボソウ	<i>Platanthera nipponica</i>	-	-	-	-	-	EN
155		トキソウ	<i>Pogonia japonica</i>	-	-	NT	EN	-	EX
156		ヤマトキソウ	<i>Pogonia minor</i>	-	-	-	VU	-	EX
157		クモラン	<i>Taeniophyllum glandulosum</i>	-	-	-	-	-	EX
158	アヤメ科	ノハナショウブ	<i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i>	-	-	-	-	-	EN
159		カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>	-	-	NT	VU	-	-
160		アヤメ	<i>Iris sanguinea</i>	-	-	-	EN	-	-
161	スキノキ科	ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>disticha</i>	-	-	-	-	-	EN
162	ヒガンバナ科	ヤマラッキョウ	<i>Allium thunbergii</i>	-	-	-	-	-	VU
163		キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i>	-	-	-	-	-	-
164	クサスギカズラ科	キヨミギボウシ	<i>Hosta kiyosumiensis</i>	-	-	-	-	-	VU
165		オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>	-	-	-	-	-	EN
166		コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i>	-	-	-	-	-	VU
167		ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i>	-	-	-	-	-	EX
168		ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>	-	-	-	-	-	EN
169	ミズアオイ科	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i>	-	-	NT	CR	-	EX

注1) 表中のI～VIは表3.1.47の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

表 3.1.49(3) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	学名	選定基準					
				I	II	III	IV	V	VI
170	ガマ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	-	-	NT	EN	-	CR
171		ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	-	-	NT	VU	-	EN
172		ナガエミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>	-	-	NT	-	-	VU
173	ホシクサ科	クロイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon atrum</i>	-	-	NT	-	-	-
174		オオホシクサ	<i>Eriocaulon buergerianum</i>	-	-	-	CR	-	EX
175		ツクシクロイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon kiusianum</i>	-	-	-	NT	-	VU
176		ミカワイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon mikawanum</i>	-	-	EN	EN	-	-
177		シラタマホシクサ	<i>Eriocaulon nudicuspe</i>	-	-	VU	VU	-	EN
178		クロホシクサ	<i>Eriocaulon parvum</i>	-	-	NT	EN	-	EX
179	イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ	<i>Juncus bufonius</i>	-	-	-	-	-	NT
180		ヤマズミメヒエ	<i>Luzula multiflora</i>	-	-	-	-	-	NT
181		スカボソウ	<i>Luzula plumosa</i>	-	-	-	-	-	EX
182	カヤツリグサ科	イセウキヤガラ	<i>Bolboschoenus planiculmis</i>	-	-	-	-	-	VU
183		イトハナビテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i>	-	-	-	-	-	EX
184		イトテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i> var. <i>capitata</i>	-	-	NT	NT	-	-
185		ミノボロスゲ	<i>Carex albata</i>	-	-	-	VU	-	EN
186		ショウジョウスゲ	<i>Carex blepharicarpa</i>	-	-	-	-	-	NT
187		ケタガネソウ	<i>Carex ciliatomarginata</i>	-	-	-	-	-	VU
188		ハマアオスゲ	<i>Carex fibrillosa</i>	-	-	-	-	-	EN
189		ツクバスゲ	<i>Carex hirtifructus</i>	-	-	-	-	-	VU
190		ホソバヒカゲスゲ	<i>Carex humilis</i> var. <i>nana</i>	-	-	-	-	-	NT
191		ウマスゲ	<i>Carex idzuroei</i>	-	-	-	-	-	CR
192		ヤガミスゲ	<i>Carex maackii</i>	-	-	-	-	-	NT
193		コジエズスゲ	<i>Carex macroglossa</i>	-	-	-	-	-	NT
194		ビロードスゲ	<i>Carex miyabei</i>	-	-	-	-	-	VU
195		タカネマスクサ	<i>Carex planata</i>	-	-	-	EN	-	-
196		ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunii</i>	-	-	-	EN	-	-
197		ジングウスゲ	<i>Carex sacrosancta</i>	-	-	NT	NT	-	-
198		シオクグ	<i>Carex scabridolia</i>	-	-	-	VU	-	EN
199		センダイスゲ	<i>Carex sendaica</i>	-	-	-	VU	-	-
200		アズマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i>	-	-	-	-	-	EN
201		ニシノホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i>	-	-	-	VU	-	CR
202		ヒメアオガヤツリ	<i>Cyperus extremiorientalis</i>	-	-	-	CR	-	CR
203		ヌマガヤツリ	<i>Cyperus glomeratus</i>	-	-	-	VU	-	-
204		オオシロガヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i> var. <i>spiralis</i>	-	-	-	VU	-	-
205		ヒメガヤツリ	<i>Cyperus tenuispica</i>	-	-	-	VU	-	EN
206		セイタカハリイ	<i>Eleocharis attenuata</i>	-	-	-	VU	-	CR
207		マシカクイ	<i>Eleocharis tetraquestra</i>	-	-	-	VU	-	-
208		イゾヤマテンツキ	<i>Fimbristylis sieboldii</i>	-	-	-	-	-	VU
209		ハタケテンツキ	<i>Fimbristylis stauntonii</i>	-	-	EN	-	-	-
210		トネテンツキ	<i>Fimbristylis stauntonii</i> var. <i>tonensis</i>	-	-	VU	VU	-	EN
211		オオイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fauriei</i>	-	-	-	VU	-	-
212		ミクリガヤ	<i>Rhynchospora malasica</i>	-	-	CR	CR	-	EX
213		イガクサ	<i>Rhynchospora rubra</i>	-	-	-	-	-	VU
214		シズイ	<i>Schoenoplectus nipponicus</i>	-	-	-	EN	-	EX
215		ノグサ	<i>Schoenus apogon</i>	-	-	-	EN	-	EX
216		マツカサススキ	<i>Scirpus mitsukurianus</i>	-	-	-	-	-	VU
217		カガシラ	<i>Scleria caricina</i>	-	-	VU	CR	-	EX
218		ミカワシンジュガヤ	<i>Scleria mikawana</i>	-	-	VU	VU	-	CR
219		コシンジュガヤ	<i>Scleria parvula</i>	-	-	-	VU	-	EN
220	イネ科	ハネガヤ	<i>Achnatherum pekinense</i>	-	-	-	EN	-	-
221		ヒメコスカグサ	<i>Agrostis valvata</i>	-	-	NT	-	-	NT
222		コウボウ	<i>Anthoxanthum nitens</i> var. <i>sachalinense</i>	-	-	-	-	-	EX
223		ヒナザサ	<i>Coelachne japonica</i>	-	-	NT	VU	-	EX
224		ヌマカゼクサ	<i>Eragrostis aquatica</i>	-	-	-	-	-	VU
225		ウンヌケモドキ	<i>Eulalia quadrinervis</i>	-	-	NT	VU	-	-
226		ウンヌケ	<i>Eulalia speciosa</i>	-	-	VU	NT	-	EN
227		ウキガヤ	<i>Glyceria depauperata</i> var. <i>infirma</i>	-	-	-	EN	-	-
228		アズマガヤ	<i>Hystrich duthiei</i> ssp. <i>longearistata</i>	-	-	-	-	-	EN
229		ハイチゴザサ	<i>Isachne nipponensis</i>	-	-	-	-	-	VU
230		カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>crassipes</i>	-	-	-	VU	-	-
231		アシカキ	<i>Leersia japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
232		サヤスカグサ	<i>Leersia savanuka</i>	-	-	-	-	-	NT
233		トウササクサ	<i>Lophatherum sinense</i>	-	-	-	NT	-	-
234		コメガヤ	<i>Melica nutans</i>	-	-	-	-	-	EX
235		スズメコビエ	<i>Paspalum serobiculatum</i> var. <i>orbiculare</i>	-	-	-	-	-	NT
236		ウキシバ	<i>Pseudoraphis sordida</i>	-	-	-	NT	-	NT
237		ワセコバナ	<i>Saccharum spontaneum</i> var. <i>arenicola</i>	-	-	-	-	-	VU
238		シダミコザサ	<i>Sasa samaniana</i> var. <i>yoshinoi</i> f. <i>hideoiroana</i>	-	-	-	VU	-	VU
239		ナリヒラダケ	<i>Semiarundinaria fastuosa</i>	-	-	-	VU	-	-
240		オオアブラススキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i>	-	-	-	-	-	EX
241	ケシ科	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> ssp. <i>asiaticum</i>	-	-	-	-	-	VU
242		キケマン	<i>Corydalis heterocarpa</i> var. <i>japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
243	メギ科	ヘビノボラズ	<i>Berberis sieboldii</i>	-	-	-	NT	-	EN
244		イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	-	-	-	VU	-	-
245		ヒメイカリソウ	<i>Epimedium youngianum</i>	-	-	-	-	-	EX
246	キンボウゲ科	エンコウソウ	<i>Caltha palustris</i> var. <i>enkosa</i>	-	-	-	CR	-	-
247		ボタンヅル	<i>Clematis apifolia</i> var. <i>apifolia</i>	-	-	-	-	-	VU
248		カザグルマ	<i>Clematis patens</i>	-	-	NT	EN	-	CR
249		クサボタン	<i>Clematis stans</i> var. <i>stans</i>	-	-	-	EN	-	EX
250		スマソウ	<i>Hepatica nobilis</i> var. <i>japonica</i> f. <i>variegata</i>	-	-	-	NT	-	CR
251		オキナグサ	<i>Pulsatilla cernua</i>	-	-	NT	CR	-	EX
252		ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i>	-	-	-	-	-	CR
253		オトコゼリ	<i>Ranunculus tachiroei</i>	-	-	-	-	-	EX
254	ツゲ科	ツゲ	<i>Buxus microphylla</i> var. <i>japonica</i>	-	-	-	VU	-	-
255	マンサク科	トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i>	-	-	NT	-	-	-
256		マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> var. <i>japonica</i>	-	-	-	-	-	VU
257	スグリ科	ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i>	-	-	-	EN	-	EN

注1) 表中のI～VIは表3.1.47の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

表 3.1.49(4) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	学名	選定基準					
				I	II	III	IV	V	VI
258	ユキノシタ科	チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i>	-	-	-	-	-	EX
259		ミカワショウマ	<i>Astilbe odontophylla</i> var. <i>okuyamae</i>	-	-	NT	VU	-	-
260		ヤマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium japonicum</i>	-	-	-	-	-	VU
261		ナメライモンジソウ	<i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>suwoensis</i>	-	-	-	NT	-	-
262	ベンケイソウ科	オオベンケイ	<i>Hylotelephium viride</i>	-	-	-	EN	-	-
263		ツメレング	<i>Orostachys japonica</i>	-	-	NT	NT	-	VU
264	アリノトウガサ科	オグラフサモ	<i>Myriophyllum oguraense</i>	-	-	VU	CR	-	-
265		ホザキフサモ	<i>Myriophyllum spicatum</i>	-	-	-	-	EN	-
266		タチモ	<i>Myriophyllum ussurense</i>	-	-	NT	NT	-	CR
267	マメ科	ホドイモ	<i>Apios fortunei</i>	-	-	-	-	-	VU
268		カワラケツメイ	<i>Chamaecrista nomame</i>	-	-	-	-	-	VU
269		タヌキマメ	<i>Crotalaria sessiliflora</i>	-	-	-	-	-	EN
270		ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>	-	-	-	-	-	VU
271		サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i>	-	-	-	VU	-	-
272		ケヤブハギ	<i>Hydrodesmus podocarpum</i> ssp. <i>fallax</i>	-	-	-	-	-	EN
273		ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i>	-	-	-	-	-	VU
274		キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i>	-	-	-	-	-	EN
275		シベリアメドハギ	<i>Lespedeza juncea</i>	-	-	-	-	-	EX
276		イヌハギ	<i>Lespedeza tomentosa</i>	-	-	NT	VU	-	EX
277		マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	-	-	-	-	-	CR
278		ビワコエビラフジ	<i>Vicia venosa</i> ssp. <i>stolonifera</i>	-	-	-	CR	-	-
279	ヒメハギ科	ヒナカカンザシ	<i>Salomonia ciliata</i>	-	-	-	-	-	EN
280	グミ科	アリマグミ	<i>Elaeagnus murakamiana</i>	-	-	-	VU	-	EN
281	クロウメモドキ科	クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i>	-	-	-	-	-	VU
282		ケンボナン	<i>Hovenia dulcis</i>	-	-	-	EN	-	-
283		クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>decipiens</i>	-	-	-	-	-	EX
284	クワ科	カジノキ	<i>Broussonetia papyrifera</i>	-	-	-	EN	-	-
285	イラクサ科	コアガソ	<i>Boehmeria spicata</i>	-	-	-	-	-	NT
286		オオサンショウウオ	<i>Pellonia radicans</i> var. <i>radicans</i>	-	-	-	-	-	VU
287		ミヤコミズ	<i>Pilea kiotensis</i>	-	-	-	CR	-	CR
288	バラ科	ザイブリボク	<i>Amelanchier asiatica</i>	-	-	-	-	-	VU
289		ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i>	-	-	-	-	-	VU
290		オオウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i>	-	-	-	-	-	EN
291		カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i>	-	-	-	VU	-	EN
292		キジムシロ	<i>Potentilla fragarioides</i>	-	-	-	-	-	EX
293		ワタゲカマツカ	<i>Pourthiae villosa</i> var. <i>villosa</i>	-	-	-	-	-	NT
294		マメナシ	<i>Pyrus calleryan</i> var. <i>dimorphophylla</i>	-	-	EN	CR	-	EN
295		ミヤマワレモコウ	<i>Sanguisorba longifolia</i>	-	-	-	EN	-	EN
296		シモツケ	<i>Spiraea japonica</i> var. <i>japonica</i>	-	-	-	-	-	EX
297	ブナ科	ブナ	<i>Fagus crenata</i>	-	-	-	-	-	-
298		ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i>	-	-	-	EN	-	-
299		ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i>	-	-	-	-	-	VU
300		フモトイズナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>mongolicaoides</i>	-	-	-	NT	-	VU
301	ヤマモモ科	ヤチャナギ	<i>Myrica gale</i> var. <i>tomentosa</i>	-	-	-	CR	希少	-
302	カバノキ科	ヤマハンノキ	<i>Alnus hirsuta</i> f. <i>sibirica</i>	-	-	-	-	-	-
303		カワラハンノキ	<i>Alnus serrulataoides</i>	-	-	-	-	-	VU
304		サクランバハンノキ	<i>Alnus trabeculosa</i>	-	-	NT	-	-	NT
305		アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>	-	-	-	-	-	EN
306		イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i>	-	-	-	-	-	VU
307	ウリ科	ゴキヅル	<i>Actinostemma tenerum</i>	-	-	-	-	-	NT
308	ニシキギ科	シラヒゲソウ	<i>Parnassia foliosa</i> var. <i>foliosa</i>	-	-	-	EN	-	-
309		ウメバチソウ	<i>Parmassia palustris</i> var. <i>palustris</i>	-	-	-	-	-	CR
310	カタバミ科	ミヤマカタバミ	<i>Oxalis griffithii</i> var. <i>griffithii</i>	-	-	-	NT	-	-
311	トウダイグサ科	タカトウダイ	<i>Euphorbia lasiocaula</i>	-	-	-	-	-	EX
312	コミカンソウ科	ヒツツバハギ	<i>Flueggea suffruticosa</i>	-	-	-	VU	-	EX
313	ヤナギ科	キヌヤナギ	<i>Salix schwerinii</i>	-	-	-	NT	-	VU
314		サイコキツヅネヤナギ	<i>Salix vulpina</i> ssp. <i>alopochroa</i>	-	-	-	-	-	VU
315	スマレ科	コタツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>exilis</i>	-	-	-	VU	-	-
316		ケイリュウタツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>ripensis</i>	-	-	-	-	-	NT
317		オオタツボスミレ	<i>Viola kusanoana</i>	-	-	-	EN	-	-
318		シロスマリ	<i>Viola patrinii</i>	-	-	-	CR	-	-
319		スマレサイン	<i>Viola vaginata</i>	-	-	-	EN	-	-
320		アギスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>semilunaris</i>	-	-	-	-	-	VU
321	オトギリソウ科	アゼオトギリ	<i>Hypericum oliganthum</i>	-	-	EN	EN	-	-
322		サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolatum</i>	-	-	-	-	-	VU
323		ミズオトギリ	<i>Triadenum japonicum</i>	-	-	-	-	-	VU
324	ミツハギ科	ヒメミツハギ	<i>Ammannia multiflora</i>	-	-	-	NT	-	CR
325		ミズギギナ	<i>Rotala hippuris</i>	-	-	-	CR	EX	-
326		ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i>	-	-	NT	-	-	NT
327		ミズキカシグサ	<i>Rotala rosea</i>	-	-	NT	VU	-	-
328		ヒメビシ	<i>Trapa incisa</i>	-	-	VU	EN	-	CR
329		オニビシ	<i>Trapa natans</i> var. <i>quadrifispinosa</i>	-	-	-	NT	-	-
330	アカバナ科	ウスグロウジタデ	<i>Ludwigia piloselloides</i> ssp. <i>greatrexii</i>	-	-	NT	-	-	VU
331	ムクロジ科	ハナノキ	<i>Acer pycnanthum</i>	-	-	VU	EN	-	-
332		ウリハダカエデ	<i>Acer rufinerve</i>	-	-	-	-	-	-
333		カラコギカエデ	<i>Acer tataricum</i> ssp. <i>aidzuense</i>	-	-	-	VU	-	EN
334	ミカン科	コクサギ	<i>Orixa japonica</i>	-	-	-	-	-	EX
335		ミヤマシギミ	<i>Skimmia japonica</i> var. <i>japonica</i>	-	-	-	-	-	EN
336	ニガキ科	ニガキ	<i>Picrasma quassoides</i>	-	-	-	-	-	EN
337	アオイ科	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i>	-	-	-	VU	-	EX
338		ラセンソウ	<i>Triumfetta japonica</i>	-	-	-	-	-	-
339	ジンチョウゲ科	ヨガシ	<i>Diplomorpha ganpi</i>	-	-	-	-	-	EX
340		ガンビ	<i>Diplomorpha sikokiana</i>	-	-	-	-	-	VU
341	アブラナ科	コタネツケバナ	<i>Cardamine kokaiensis</i>	-	-	NT	-	-	-
342		ミズタガラシ	<i>Cardamine lyrata</i>	-	-	-	NT	-	VU
343		コイスガラシ	<i>Rorippa cantoniensis</i>	-	-	NT	-	-	VU
344		ハタザオ	<i>Turritis glabra</i>	-	-	-	-	-	CR

注1) 表中の I ~ VIは表 3.1.47の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

表 3.1.49(5) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	学名	選定基準					
				I	II	III	IV	V	VI
345	タデ科	サトヤマタデ	<i>Persicaria clivorum</i>	-	-	-	NT	-	-
346		ヒメタデ	<i>Persicaria erectominor</i>	-	-	DD	EN	-	-
347		サイコクスカボ	<i>Persicaria foliosa</i> var. <i>nikaii</i>	-	-	NT	NT	-	-
348		ナガバノウナギツカミ	<i>Persicaria hastatosagittata</i>	-	-	NT	NT	-	VU
349		コヨゾツバ	<i>Persicaria mikawana</i>	-	-	-	NT	-	VU
350		タニゾツバ	<i>Persicaria nepalensis</i>	-	-	-	-	EX	-
351		サクラタデ	<i>Persicaria odorata</i> ssp. <i>conspicua</i>	-	-	-	-	NT	-
352		ウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i> f. <i>aestiva</i>	-	-	-	-	-	VU
353		スカボタデ	<i>Persicaria taquetii</i>	-	-	VU	VU	-	-
354		アキノミチヤナギ	<i>Polygonum polyneuron</i>	-	-	-	-	-	VU
355		コギシギシ	<i>Rumex dentatus</i> ssp. <i>klotzschianus</i>	-	-	NT	-	-	NT
356		ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i>	-	-	VU	CR	-	-
357		マダイオウ	<i>Rumex madaio</i>	-	-	-	EN	-	-
358	モウセンゴケ科	ナガバノシモチソウ	<i>Drosera indica</i>	-	-	VU	CR	希少	EX
359		イシモチソウ	<i>Drosera peltata</i> var. <i>nipponica</i>	-	-	NT	EN	-	CR
360		モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i>	-	-	-	-	NT	-
361	ナデシコ科	オオヤマフスマ	<i>Arenaria lateriflora</i>	-	-	-	VU	-	-
362		カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	-	-	-	-	VU	-
363	ヒユ科	ホソバハマアカザ	<i>Atriplex patens</i>	-	-	-	-	-	NT
364		ハマアカザ	<i>Atriplex subcordata</i>	-	-	-	VU	-	EX
365		カワラアカザ	<i>Chenopodium acuminatum</i> var. <i>vachellii</i>	-	-	-	NT	-	-
366	ミズキ科	ミズキ	<i>Cornus controversa</i> var. <i>controversa</i>	-	-	-	-	-	NT
367		クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i>	-	-	-	-	EN	-
368	アジサイ科	コアジサイ	<i>Hortensia hirta</i>	-	-	-	-	-	NT
369		コガクツギ	<i>Hortensia luteovenosa</i> var. <i>luteovenosa</i>	-	-	-	EN	-	CR
370		イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>	-	-	-	-	-	CR
371	ツリフネソウ科	キツツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>	-	-	-	-	-	EN
372	サクランソウ科	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i> var. <i>crispa</i>	-	-	-	-	-	NT
373		ノジトラノオ	<i>Lysimachia barystachys</i>	-	-	VU	CR	-	-
374		クサレダマ	<i>Lysimachia vulgaris</i> ssp. <i>davurica</i>	-	-	-	-	VU	-
375		イズセンリョウ	<i>Maesa japonica</i>	-	-	-	-	-	VU
376	ツバキ科	ヒメシラ	<i>Stewartia monadelphha</i>	-	-	-	-	-	-
377	ハイノキ科	クロミノニシゴリ	<i>Symplocos paniculata</i>	-	-	-	-	-	NT
378	イワウメ科	オオイワカガミ	<i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>magnus</i>	-	-	-	VU	-	-
379	マタタビ科	マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>	-	-	-	-	-	VU
380	ツツジ科	イワナシ	<i>Epigaea asiatica</i>	-	-	-	CR	希少	-
381		シャクジョウソウ	<i>Hypopitys monotropa</i>	-	-	-	NT	-	-
382		ギンリョウソウモドキ	<i>Monotropa uniflora</i>	-	-	-	-	EN	-
383		ギンリョウソウ	<i>Monotropa humilis</i>	-	-	-	-	EX	-
384		イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> var. <i>japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
385		レンゲツツジ	<i>Rhododendron molle</i> ssp. <i>japonicum</i>	-	-	-	-	EX	-
386		スノキ	<i>Vaccinium smallii</i> var. <i>glabrum</i>	-	-	-	-	-	VU
387	アカネ科	ナガバジュズネノキ	<i>Damnacanthus giganteus</i>	-	-	-	EN	-	-
388		アリドオシ	<i>Damnacanthus indicus</i>	-	-	-	-	EN	-
389		キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i>	-	-	-	NT	-	VU
390		ヤマムグラ	<i>Galium pogananthum</i>	-	-	-	-	-	EX
391		ホソバヨツバムグラ	<i>Galium trifidum</i> ssp. <i>columbianum</i>	-	-	-	-	VU	-
392		ツルアリドオシ	<i>Mitchella undulata</i>	-	-	-	-	-	VU
393		ハクチヨウゲ	<i>Serissa japonica</i>	-	-	VU	-	-	-
394		カギカズラ	<i>Uncaria rhynchophylla</i>	-	-	-	-	-	EN
395	リンドウ科	リンドウ	<i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>	-	-	-	-	-	CR
396		コケリンドウ	<i>Gentiana squarrosa</i>	-	-	-	VU	-	CR
397		フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i>	-	-	-	-	EN	-
398		センブリ	<i>Swertia japonica</i>	-	-	-	-	EN	-
399		イヌセンブリ	<i>Swertia tosaensis</i>	-	-	NT	NT	-	EN
400	キヨウチクトウ科	コカモジツル	<i>Vincetoxicum floribundum</i>	-	-	-	-	-	VU
401		クサナギオゴケ	<i>Vincetoxicum katoi</i>	-	-	VU	NT	-	EX
402		スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>	-	-	NT	-	-	EN
403	ヒルガオ科	マメダオシ	<i>Cuscuta australis</i>	-	-	EN	EX	-	EX
404		ネナシカズラ	<i>Cuscuta japonica</i>	-	-	-	-	-	NT
405	ナス科	ヤマホオズキ	<i>Archipetalis chamaesarachoides</i>	-	-	VU	VU	-	-
406		マルバノホロシ	<i>Solanum maximowiczii</i>	-	-	-	-	-	EN
407	ムラサキ科	ホタルカズラ	<i>Aegonychon zollingeri</i>	-	-	-	EN	-	EX
408		モクセイ科	<i>Chionanthus retusus</i>	-	-	VU	EN	-	-
409	オオバコ科	サワトウガラシ	<i>Deinostema violaceum</i>	-	-	-	-	VU	-
410		オオアブノメ	<i>Gratiola japonica</i>	-	-	VU	VU	-	EN
411		トウオオバコ	<i>Plantago japonica</i>	-	-	-	EN	-	-
412		イヌフグリ	<i>Veronica polita</i>	-	-	NT	-	-	NT
413		カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>	-	-	NT	-	-	-
414	ゴマノハグサ科	オオヒナウツツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i>	-	-	-	-	-	EX
415	ジソ科	タチカラソウ	<i>Ajuga makinoi</i>	-	-	NT	-	-	-
416		ジュウニヒトエ	<i>Ajuga nipponensis</i>	-	-	-	VU	-	-
417		ツルカコウ	<i>Ajuga shikotanensis</i>	-	-	VU	-	-	-
418		ケブカツルカコウ	<i>Ajuga shikotanensis</i> f. <i>hirsuta</i>	-	-	EN	-	-	EX
419		ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i>	-	-	-	-	-	NT
420		ジャコウソウ	<i>Chelonopsis moschata</i>	-	-	-	VU	-	-
421		ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>	-	-	-	-	-	CR
422		オドリコソウ	<i>Lamium album</i> var. <i>barbatum</i>	-	-	-	-	-	EN
423		メハシキ	<i>Leonurus japonicus</i>	-	-	-	-	VU	-
424		コシロネ	<i>Lycopus cavaleriei</i>	-	-	-	-	-	NT
425		シロネ	<i>Lycopus lucidus</i>	-	-	-	NT	-	-
426		ハッカ	<i>Mentha canadensis</i>	-	-	-	-	VU	-
427		ヤマジソ	<i>Mosla japonica</i>	-	-	NT	VU	-	-
428		ミズネコノオ	<i>Pogostemon stellatus</i>	-	-	NT	VU	-	CR
429		ミズトラノオ	<i>Pogostemon yatabeanus</i>	-	-	VU	VU	-	EN
430		ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> ssp. <i>asiatica</i>	-	-	-	-	-	NT
431		シマジタムラソウ	<i>Salvia isensis</i>	-	-	VU	NT	-	CR
432		ミゾコウジュ	<i>Salvia plebeja</i>	-	-	NT	-	-	VU
433		オカツナミソウ	<i>Scutellaria brachycarpa</i>	-	-	-	-	-	EN
434		ダツナミソウ	<i>Scutellaria indica</i> var. <i>indica</i>	-	-	-	-	-	VU
435		シバタツナミ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i>	-	-	-	-	-	VU

注1) 表中のI～VIは表3.1.47の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

表 3.1.49(6) 重要種一覧 (植物)

No.	科名	種名	学名	選定基準					
				I	II	III	IV	V	VI
436	シソ科	イヌゴマ	<i>Stachys aspera</i> var. <i>hispida</i>	-	-	-	-	-	NT
437		ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i>	-	-	-	-	-	EN
438		イブキジャコウソウ	<i>Thymus quinquecostatus</i> var. <i>ibukiensis</i>	-	-	-	CR	-	-
439	ハエドクソウ科	スズメノハコベ	<i>Microcarpaea minima</i>	-	-	NT	NT	-	-
440	ハマウツボ科	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i>	-	-	-	-	-	NT
441		ゴマクサ	<i>Centranthera cochinchinensis</i> var. <i>lutea</i>	-	-	NT	VU	-	-
442		クチナシグサ	<i>Monochasma sheareri</i>	-	-	-	NT	-	-
443		ミカワシオガマ	<i>Pedicularis resupinata</i> ssp. <i>oppositifolia</i> var. <i>microphylla</i>	-	-	VU	EN	-	-
444		キヨミツウツボ	<i>Phaeallanthus tubiflorus</i>	-	-	-	VU	-	-
445		コシオガマ	<i>Phtheirospermum japonicum</i>	-	-	-	-	-	EX
446		オオヒキヨモギ	<i>Siphonostegia laeta</i>	-	-	NT	-	-	-
447	タヌキモ科	ノタヌキモ	<i>Utricularia aurea</i>	-	-	VU	VU	-	EX
448		イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>	-	-	NT	-	-	NT
449		ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i>	-	-	-	-	-	NT
450		ホザキノミミカキグサ	<i>Utricularia caerulea</i>	-	-	-	-	-	NT
451		フサタヌキモ	<i>Utricularia dimorphantha</i>	-	-	VU	EX	-	EX
452		ミカワタヌキモ	<i>Utricularia exoleta</i>	-	-	EN	CR	-	EX
453		コタヌキモ	<i>Utricularia intermedia</i>	-	-	-	CR	-	EX
454		タヌキモ	<i>Utricularia x japonica</i>	-	-	NT	-	-	-
455		ヒメタヌキモ	<i>Utricularia minor</i>	-	-	NT	EN	-	-
456		ヒメミカキグサ	<i>Utricularia minutissima</i>	-	-	CR	EN	-	EX
457		ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i>	-	-	NT	NT	-	CR
458	モチノキ科	タマミズキ	<i>Ilex micrococca</i>	-	-	-	-	-	VU
459		ミヤマウメモドキ	<i>Ilex nipponica</i>	-	-	-	VU	-	-
460	キキョウ科	ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>	-	-	-	-	-	EN
461		サワギョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i>	-	-	-	-	-	VU
462		タニギキョウ	<i>Peracarpa carnosa</i> var. <i>carnosa</i>	-	-	-	-	-	VU
463		キギョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i>	-	-	NT	VU	-	CR
464	ミツガシワ科	ガガブタ	<i>Nymphaoides indica</i>	-	-	NT	NT	-	VU
465		アザザ	<i>Nymphaoides peltata</i>	-	-	NT	EN	-	-
466	キク科	ヌマダイコン	<i>Adenostemma lavenia</i>	-	-	-	-	-	VU
467		オクモジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>subapoda</i>	-	-	-	-	-	VU
468		キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i>	-	-	-	-	-	VU
469		ホソバノヤマハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> ssp. <i>margaritacea</i> var. <i>angustifolia</i>	-	-	-	VU	-	-
470		カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> ssp. <i>margaritacea</i> var. <i>yedoensis</i>	-	-	-	-	-	VU
471		カワラニンジン	<i>Artemisia carvifolia</i>	-	-	-	-	-	NT
472		ヒメヨモギ	<i>Artemisia lancea</i>	-	-	-	CR	-	-
473		ヤブヨモギ	<i>Artemisia rubripes</i>	-	-	VU	-	-	-
474		ヒメシオソ	<i>Aster fastigiatus</i>	-	-	-	EN	-	EX
475		イナカギク	<i>Aster semiamplexicaulis</i>	-	-	-	-	-	EX
476		シオン	<i>Aster tataricus</i>	-	-	VU	-	-	-
477		オケラ	<i>Atractylodes ovata</i>	-	-	-	-	-	EN
478		コヤブタバコ	<i>Carpesium cernuum</i>	-	-	-	-	-	EX
479		ムラサキトキンソウ	<i>Centipeda sp.</i>	-	-	-	NT	-	VU
480		リュウノウギク	<i>Chrysanthemum makinoi</i>	-	-	-	-	-	EX
481		タカアザミ	<i>Cirsium pendulum</i>	-	-	-	-	-	-
482		シロバナタカアザミ	<i>Cirsium pendulum</i> var. <i>albiflorum</i>	-	-	-	EN	-	-
483		キセルアザミ	<i>Cirsium sieboldii</i>	-	-	-	-	-	NT
484		サワアザミ	<i>Cirsium yezoense</i>	-	-	-	CR	-	-
485		ブジバカマ	<i>Eupatorium japonicum</i>	-	-	NT	EN	-	-
486		サケバヒヨドリ	<i>Eupatorium laciniatum</i>	-	-	-	NT	-	-
487		スライ	<i>Hololeion krameri</i>	-	-	-	-	-	EN
488		オグルマ	<i>Inula britannica</i> ssp. <i>japonica</i>	-	-	-	-	-	VU
489		ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> var. <i>ciliaris</i>	-	-	-	NT	-	EN
490		カセンソウ	<i>Inula salicina</i> var. <i>asiatica</i>	-	-	-	EN	-	CR
491		ムラサキニガナ	<i>Paraprenanthes sororia</i>	-	-	-	-	-	VU
492		カシワバハグマ	<i>Pertya robusta</i>	-	-	-	-	-	VU
493		アキノハハコグサ	<i>Pseudognaphalium hypoleucum</i>	-	-	EN	EN	-	EX
494		ミヤコアザミ	<i>Saussurea maximowiczii</i>	-	-	-	EN	-	-
495		ウラギク	<i>Triplium pannonicum</i>	-	-	NT	VU	-	EN
496		オナナミ	<i>Xanthium strumarium</i> ssp. <i>sibiricum</i>	-	-	VU	CR	-	EX
497	ウコギ科	オオバチドメ	<i>Hydrocotyle javanica</i>	-	-	-	-	-	VU
498	セリ科	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>	-	-	-	-	-	VU
499		シムラニンジン	<i>Pterygopleurum neurophyllum</i>	-	-	VU	-	-	-
500		ムカゴニンジン	<i>Sium ninsi</i>	-	-	-	-	-	VU
501	ガマズミ科	オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i>	-	-	-	-	-	EN
502		ハクサンボク	<i>Viburnum japonicum</i>	-	-	-	VU	-	-
503	スイカズラ科	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i>	-	-	-	-	-	CR
504		オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>	-	-	-	-	-	EX
505		マツムシソウ	<i>Scabiosa japonica</i>	-	-	-	NT	-	-
506		タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>	-	-	-	-	-	EN
119 科				506 種	0 種	0 種	129 種	225 種	3 種
									359 種

注1) 表中の I ~ VI は表 3.1.47 の番号と対応する。

注2) 種名及び配列については原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和6年10月 国土交通省)に準拠した。

また、重要な植物として、対象事業実施想定区域及びその周囲の天然記念物及び巨樹・巨木林の分布状況は表 3.1.50 及び表 3.1.51 に、その位置は図 3.1.19 及び図 3.1.20 に示すとおりである。

重要な植物としては、マメナシやクスノキ等があげられるが、対象事業実施想定区域には天然記念物に指定されている植物や巨樹・巨木林は分布していない。

表 3.1.50 重要な植物の分布状況（天然記念物）

番号	名称	所在地	備考
天1	長池のマメナシ・アイナシ自生地	尾張旭市城山町長池下 4523-1	天然記念物（市）
天2	マメナシ	瀬戸市東松山町 154	天然記念物（市）

注) 表中の番号は、図 3.1.19 の番号に対応する。

出典：「文化財保護」（尾張旭市ホームページ）

「指定・登録文化財一覧」（瀬戸市ホームページ）

表 3.1.51 重要な植物の分布状況（巨樹・巨木林）

番号	樹種	樹高(m)	幹周(cm)		樹齢(推定)	所在地
			単木の場合 の幹周	株立樹木の 総幹周		
1	クスノキ	16	—	397	100～199 年	尾張旭市柏井町公園通り 市道今池下森公園 1 号ポケットパーク
2	クスノキ	16	307	—	99 年以下	瀬戸市水南町 水南小学校
3	クスノキ	19	402	—	100～199 年	瀬戸市共栄通 5 丁目 87 八王寺神社
4	クスノキ	20	408	—	300 年以上	瀬戸市城屋敷町 八王子神社
5	ケヤキ	19	329	—	100～199 年	瀬戸市西本地町 100 八幡社
6	ツブラジイ	17	462	—	300 年以上	長久手市岩作官後 17 石作神社

注) 表中の番号は、図 3.1.20 の番号に対応する。

出典：「巨樹・巨木林調査（第 6 回）愛知県」（生物多様性センターホームページ）

「巨樹・巨木林調査データベース」（生物多様性センターホームページ）

### (3) 重要な植物群落

対象事業実施想定区域及びその周囲の重要な植物群落の分布状況は表 3.1.52 に、その位置は図 3.1.19 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲には天然記念物に指定されている吉賀池湿地が分布しているのみであり、対象事業実施想定区域には分布していない。

表 3.1.52 重要な植物群落の分布状況

番号	名称	所在地	備考
天3	吉賀池湿地	尾張旭市旭ヶ丘町濁池 1150	天然記念物（市）

注) 表中の番号は、図 3.1.19 の番号に対応する。

出典：「文化財保護」（尾張旭市ホームページ）



### 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- 市区界
- 重要な植物（天然記念物）
- 重要な植物群落（天然記念物）

注) 図中の番号は、表 3.1.50 及び表 3.1.52 の番号に対応する。

出典:「文化財保護」(尾張旭市ホームページ)  
「指定・登録文化財一覧」(瀬戸市ホームページ)

「電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成」

1:40,000  
0 0.4 0.8 1.6 km  
N

図 3.1.19 重要な植物及び植物群落の分布状況（天然記念物）



## 凡 例

□ 対象事業実施想定区域

--- 市区界

● 巨樹・巨木林

注) 図中の番号は、表 3.1.51 の番号に対応する。

出典:「巨樹・巨木林調査(第6回) 愛知県」(生物多様性センターホームページ)

「巨樹・巨木林調査データベース」(生物多様性センターホームページ)

「電子地形図 25000(国土地理院)を加工して作成」

1:40,000  
0 0.4 0.8 1.6 km  
N

図 3.1.20 巨樹・巨木林の分布状況

### 3.1.8.3 生態系

植生自然度区分基準は表 3.1.53 に、植生自然度図は図 3.1.21 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲は、植生自然度が 1~2 の耕作地、工場地帯、市街地、緑の多い住宅地が多く、北側に流れる矢田川の河川区域内に植生自然度が 4~5 の湿性草地等と自然度 10 のヨシ群集が広がっている。対象事業実施想定区域の南東側は起伏の緩やかな尾張丘陵端部となっており、植生自然度 3 の竹林や植生自然度 7 の二次林が広がっている。

対象事業実施想定区域及びその周囲の環境は、耕作地・水田、河川、樹林地、市街地・工場地帯に大別でき、下記に示すような生態系が成立していると考えられる。

#### (1) 耕作地・水田

対象事業実施想定区域近傍の耕作地や水田、緑の多い住宅地は、ネズミ類やノウサギ、タヌキ等の乾性～湿潤な草地に生息する小型～中型哺乳類等種の生息環境となっていると考えられる。

また、耕作地のうち水田については秋季から冬季は草地や土壤を利用する小型哺乳類や鳥類の採餌環境となっているが、水田に水が入るとともに湿潤な環境に変わり、水生昆虫類や両生類の生息環境となり、季節の環境変化に応じた生態系が形成されている。

これらのことから、生態系上位種は中型哺乳類が該当し、耕作地や住宅地に順応可能で草地を営巣環境とする鳥類やヘビ等の爬虫類、カエル等の両生類といった典型性に該当する種が生息している可能性がある。特殊性の種に該当する種は想定されない。

#### (2) 河川

対象事業実施想定区域北側の矢田川河川敷はオギ群集やススキ群団などやや湿生から乾燥地に生育する高茎草本が連続しており、部分的に樹林地も見られる。また上流の右岸側や支川には湿生草本群落であるヨシ群集がみられるなど、湿生草地や草地を繁殖環境とするオオヨシキリやセッカ、ケリ、ヒバリ等の生息環境になりうる植生が成立している。また、これらの環境はイタチやテン、キツネ等の陸上動物の生息基盤でもあることから、生態系上位種は河川区域内を主要な生息環境とする中型哺乳類や、サギ類、チドリ類等の鳥類が該当する可能性がある。また、流水域を生息環境とする魚類の他、緩流域を主要な生息環境とする両生類やトンボ目等の昆虫類の典型性に該当する種が生息している可能性がある。

#### (3) 樹林地

対象事業実施想定区域やその近傍は工場地帯や市街地、緑の多い住宅地が広がっているが規模は小さいものの一部にケネザサコナラ群集、竹林、スギ・ヒノキ・サワラ植生が分布している。

このような植生には、中型哺乳類や夏季に繁殖する夏鳥等の典型性種に該当する種が生息している可能性がある。

対象事業実施想定区域の南東側は尾張丘陵端部となっておりケネザサコナラ群集やモチツヅジーアカマツ群集等の二次林と竹林等が広がっている。このような植生には中型以上の哺乳類や鳥類の生態系上位種が生息している可能性がある。

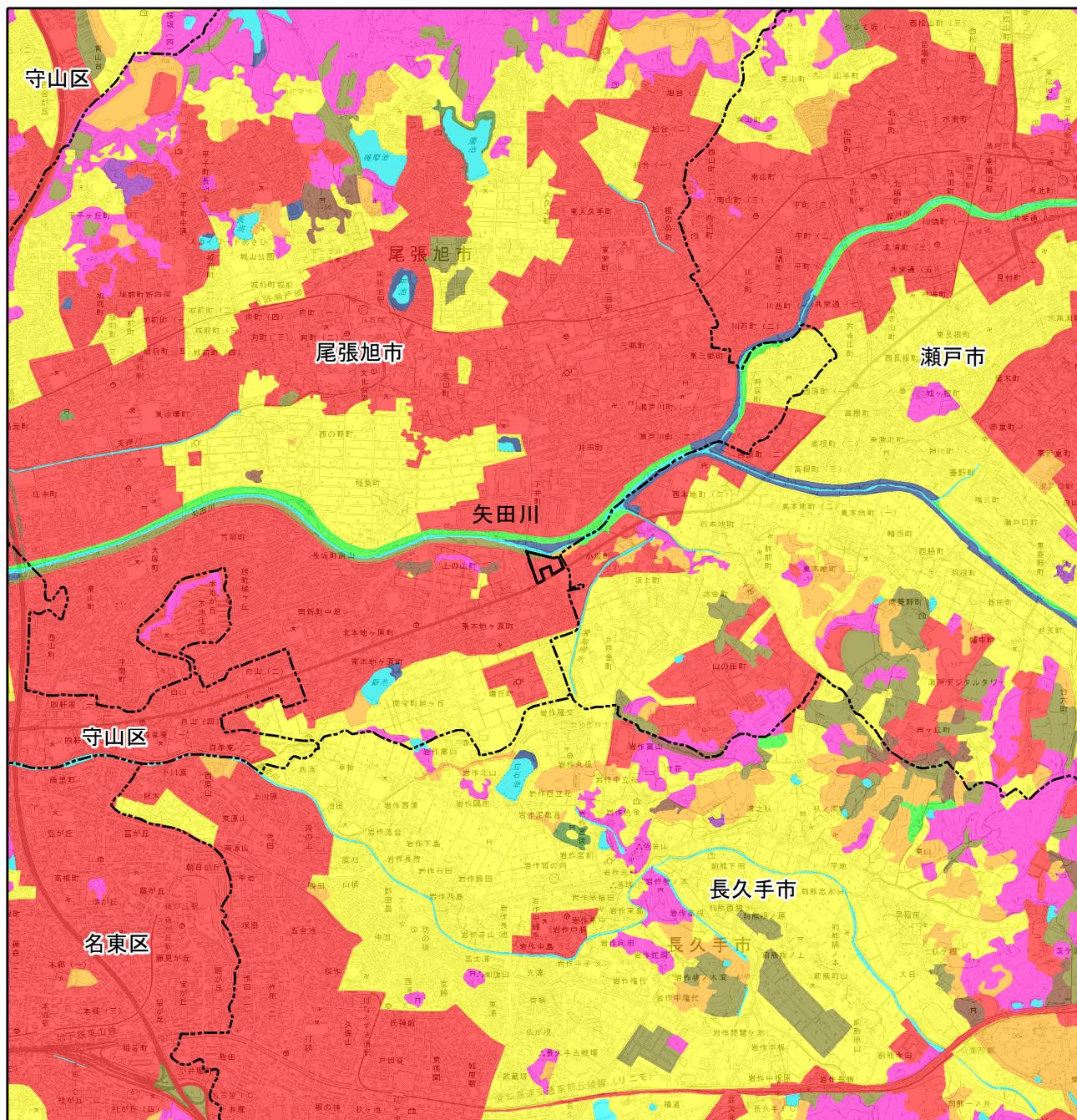
#### (4) 市街地・工場地帯

対象事業実施想定区域やその近傍の工場地帯や市街地には基本的には小型哺乳類や昆虫類等の限られた種が生息し、ハシブトガラスやスズメ、ヒヨドリ、アマツバメ等市街地を利用する鳥類がみられる程度の貧弱な生態系であり、河川に隣接する地区や点在する耕作地や池の周囲で中型哺乳類やカエル等の両生類、サギ類等の鳥類の利用がある程度であると考えられる。

表 3.1.53 植生自然度区分基準

植生 自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツートドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナーミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群集、クヌギーコナラ群落等、一般に二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑畠、茶畠、苗圃等の樹園地
2	畠地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

出典：「植生自然度区分基準」（生物多様性センターホームページ）



#### 凡 例

□ 対象事業実施想定区域 植生自然度

---- 市区界

植生自然度 10	植生自然度 4
植生自然度 9	植生自然度 3
植生自然度 8	植生自然度 2
植生自然度 7	植生自然度 1
植生自然度 6	
植生自然度 5	開放水域

出典：「植生自然度区分基準」（生物多様性センターホームページ）

「第6、7回自然環境保全基礎調査」（環境省生物多様性センターホームページ）

「電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成」

1:40,000

0 0.4 0.8 1.6 km

N

図 3.1.21 植生自然度図

### 3.1.9 景観、人と自然との触れ合いの活動の状況及び地域の歴史的文化的特性を生かした環境の状況

#### 3.1.9.1 景観

##### (1) 景観資源

対象事業実施想定区域及びその周囲の景観資源の状況は表 3.1.54 に、その位置は図 3.1.22 に示すとおりである。

愛知県では、「美しい愛知づくり条例」（平成 18 年愛知県条例第 6 号）に基づき、地域の良好な景観を「美しい愛知づくり景観資源 600 選」に指定しており、対象事業実施想定区域及びその周囲では、対象事業実施想定区域北西側の維摩池、南側の古戦場公園等が指定されている。

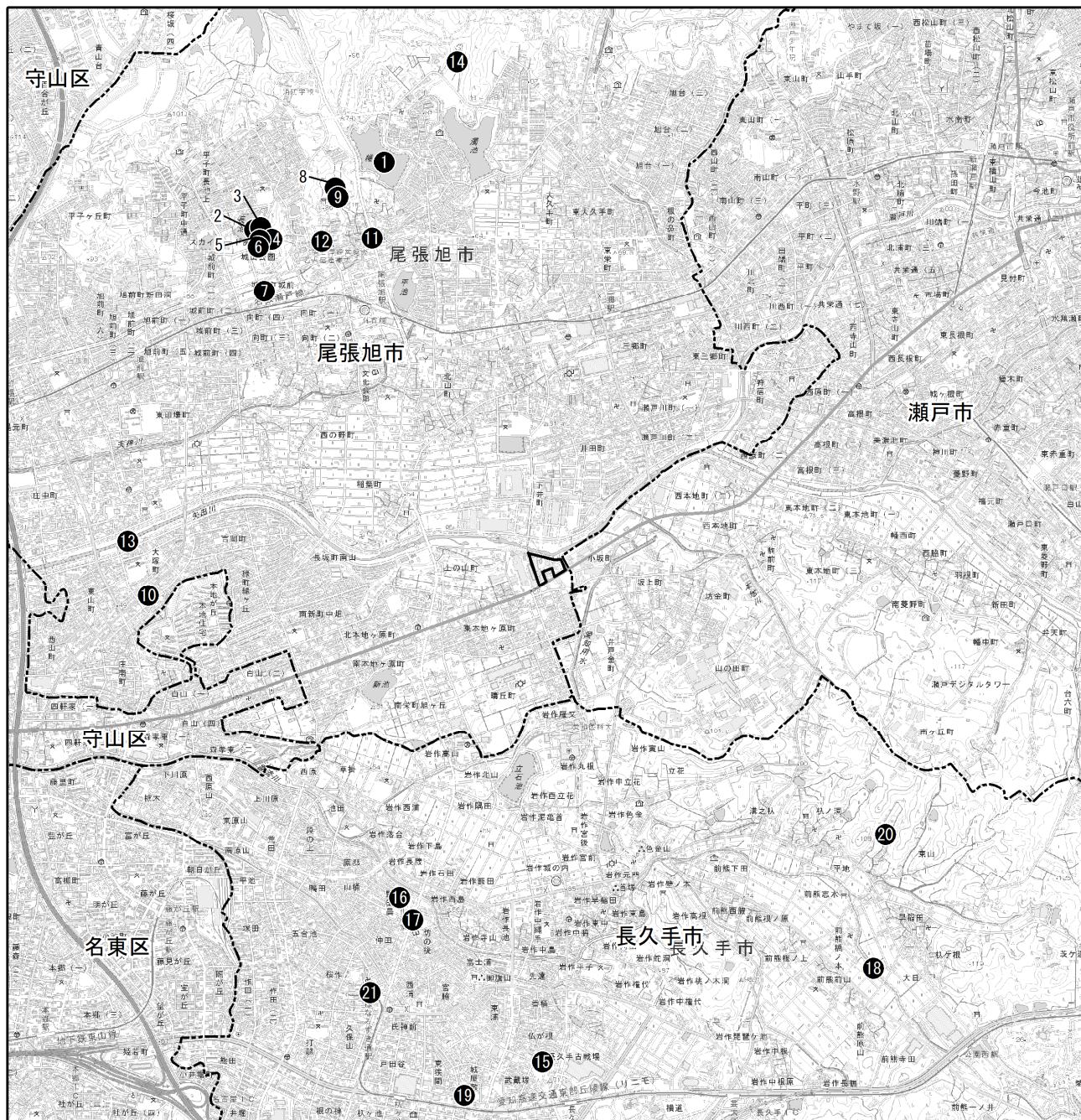
表 3.1.54 景観資源の状況

番号	名 称	所在地
1	維摩池	尾張旭市新居町今池下
2	コスモス咲く尾張旭城	尾張旭市城山町長池下
3	桜並木	尾張旭市城山町長池
4	スカイワードあさひ	尾張旭市城山町長池下
5	長池沿いのマメナシの群生	尾張旭市城山町長池下
6	冬の城山公園	尾張旭市城山町長池下
7	尾張旭市中央部の農地	尾張旭市城前町城前等
8	御城田池	尾張旭市新居町西浦
9	御城田池南側の田園	尾張旭市新居町西浦
10	印場大塚古墳	尾張旭市大塚町
11	シンボルロード	尾張旭市新居町寺田
12	洞光院石庭	尾張旭市新居町山の田
13	矢田川	尾張旭市大塚町
14	吉賀池の自然	尾張旭市旭ヶ丘町
15	古戦場公園	長久手市仏が根
16	文化の家	長久手市野田農
17	友愛橋からの桧ヶ根公園	長久手市坊の後
18	香流川緑道と東部丘陵線	長久手市前熊
19	せせらぎの径	長久手市氏神前
20	長久手東部の谷津田群	長久手市熊張
21	はなみずき広場	長久手市久保山

注) 表中の番号は、図 3.1.22 の番号と対応する。

出典：「美しい愛知づくり景観資源 600 選」（愛知県ホームページ）

「マップあいち（景観資源）」（愛知県ホームページ）



### 凡 例

  対象事業実施想定区域

----- 市区界

● 景観資源

注) 図中の番号は、表 3.1.54 の番号と対応する。

出典:「美しい愛知づくり景観資源 600 選」(愛知県ホームページ)

「マップあいち (景観資源)」(愛知県ホームページ)

「電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成」

1:40,000  
0 0.4 0.8 1.6 km  
N

図 3.1.22 景観資源の分布状況

## (2) 主要な眺望点等

対象事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点の概要は表 3.1.55 に、その位置は図 3.1.23 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の主要な眺望点としては、スカイワードあさひ、長坂町、色金山歴史公園、友愛橋、矢田川河川緑地があげられる。

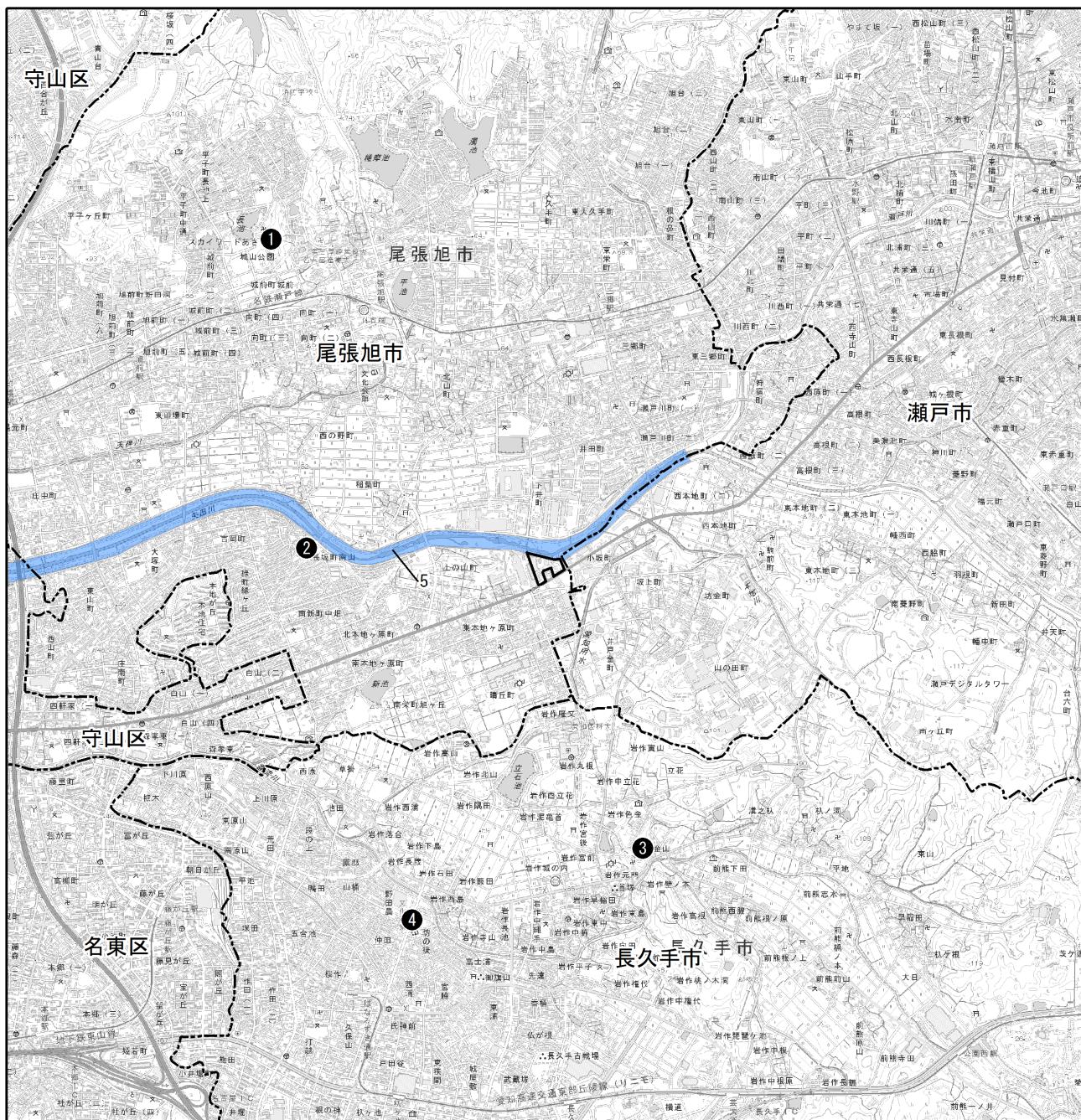
表 3.1.55 主要な眺望点の概要

番号	主要な眺望点	概要
1	スカイワードあさひ	スカイワードあさひは、北部地域の拠点施設であると同時に、市の代表的な観光施設でもある。高さ約 70m の展望塔を併設し、歴史を紹介した常設展示場や、多目的に利用できるホール、ギャラリーのほか直径 50cm の反射望遠鏡を備えた天体観測室もある。
2	長坂町	長坂町は尾張旭市の南部の台地にあるため、大変眺めが良く、秋から冬のよく晴れた日には、白く輝く御嶽山の雄大な姿や、白く輝く中央アルプス、恵那山等の大パノラマを見ることができる。
3	色金山歴史公園	長久手の戦いの際、家康が陣を張り軍議を開いたといわれる山。昭和 14 年 9 月 7 日、国の史跡に指定された。史跡の周辺は平成 8 年に公園として整備され、展望テラスや茶室が森を包む、緑ゆたかな静寂感のある憩いの場である。
4	友愛橋	友愛橋（歩道橋）から北東方向を眺めると、地域住民の憩いの場である桧ヶ根公園や御旗山のほか、長久手の中心部を望み、東部丘陵とのスカイラインをみることができる。
5	矢田川河川緑地	尾張旭市の中央部を東西に流れる矢田川は、最近散歩道が整備されたため、早朝から多くの人が散歩を楽しむ憩いの場所となっている。また秋から春にかけては、オナガガモなどの渡り鳥が多数訪れ、市街地にありながら自然が多く残された場所となっている。

注) 表中の番号は、図 3.1.23 の番号と対応する。

出典:「美しい愛知づくり景観資源 600 選」(愛知県ホームページ)

「色金山歴史公園・古戦場公園パンフレット」(長久手市)



### 凡 例

  対象事業実施想定区域

----- 市区界

● 主要な眺望点

注) 図中の番号は、表 3.1.55 の番号と対応する。

出典:「美しい愛知づくり景観資源 600 選」(愛知県ホームページ)

「色金山歴史公園・古戦場公園パンフレット」(長久手市)

「電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成」

1:40,000

0 0.4 0.8 1.6 km

N

図 3.1.23 主要な眺望点の分布状況

### 3.1.9.2 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

対象事業実施想定区域及びその周囲の人と自然との触れ合いの活動の場の概要は表 3.1.56 に、その位置は図 3.1.24 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域及びその周囲の人と自然との触れ合いの活動の場としては、対象事業実施想定区域北側の愛知県森林公園や維摩池、対象事業実施想定区域北西側の城山公園などがあげられる。

表 3.1.56(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の概要

番号	名称	概要
1	愛知県森林公園	愛知県森林公園は、尾張旭市と名古屋市守山区に広がる約 466 ヘクタールの広大な森林の中に、ゴルフ施設、運動施設、植物園、一般公園があり、一年を通して多くの方に利用されている。
2	維摩池	森林公園植物園や周囲の山辺の散歩道など豊かな緑に囲まれ、自然環境に大変恵まれたため池である。池には、水辺特有のヨシやガマなどの群生も見られる。周りの自然とも調和した四季折々の風景は何度訪れても飽きることがない。
3	城山公園	城山公園は、市内唯一の総合公園で、春には桜まつり、夏には夏まつり、秋には市民祭や農業まつりが行われる。野球場、テニスコート、弓道場といった運動施設が整備されており、北部には釣りのできる長池、夏場には涼を感じられるせせらぎ、中心部には、スカイワードあさひやスカイパーク、南部には、旭城や古民家といった施設もあり、市内でも最も親しまれている施設の一つである。また、山辺の散歩道や、市内ウォーキングコースの池・行けコースの構成要素の一つである。
4	矢田川河川緑地	尾張旭市の中央部を東西に流れる矢田川は、最近散歩道が整備されたため、早朝から多くの人が散歩を楽しむ憩いの場所となっている。また秋から春にかけては、オナガガモなどの渡り鳥が多数訪れ、市街地にありながら自然が多く残された場所となっている。
5	吉賀池湿地	尾張旭市の北部に位置し、全国的にも貴重な植物が生育している湿地。夏のサギソウ、秋のシラタマホシクサ、晚秋のウメバチソウなどを観察できるよう、季節ごとに一般公開がされている。
6	まち案内～維摩池コース	尾張旭市の中心を通る“シンボルロード”は、安全で快適な“人にやさしい道”として整備された。両側に植えられた樹木や池辺の自然、モニュメントなどが、心を和ませてくれる。子どもから高齢者まで誰もが楽しめるおすすめのコース。
7	スカイワード・旭城コース	尾張旭市のランドマーク「スカイワードあさひ」と「旭城」を目指すウォーキングコース。片道約 1.2km で気軽に楽しめる。天気の良い日に、展望台に登って景色を楽しむのもよい。
8	新池コース	尾張旭市南部の短めのコース。ウォーキングだけで物足りなければ、新池交流館ふらっとのバスケットコートで汗をかくのもおすすめ。
9	全国植樹祭メモリアルコース	愛知県森林公園では、令和元年 6 月 2 日に、天皇皇后両陛下ご臨席のもと「第 70 回全国植樹祭あいち 2019」が開催された。尾張旭市の貴重な観光スポットとして多くの方に親しまれ、ウォーキングにも絶好的のポイント。

注) 表中の番号は、図 3.1.24 の番号と対応する。

出典:「美しい愛知づくり景観資源 600 選」(愛知県ホームページ)

「尾張旭市ガイド」(尾張旭市)

「山辺の散歩道」(尾張旭市ホームページ)

「城山公園について」(尾張旭市ホームページ)

「愛知県森林公園」(愛知県ホームページ)

「ウォーキングガイド A-map」(尾張旭市)

「古戦場ウォークマップ」(長久手市)

表 3.1.56(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の概要

番号	名称	概要
10	パークコース	尾張旭市の北西部にある住宅地から小幡緑地公園内を通るコース。緑地公園内は、四季を彩るメタセコイアの並木道がとてもきれい。
11	リバーサイドコース	矢田川・天神川沿いのみどころを巡るコース。河川敷では、川のせせらぎが心を落ち着かせてくれる。
12	池・行けコース	尾張旭市内の代表的なため池である長池、平池、維摩池を巡るコース。美しい水辺と緑豊かな自然が調和した景色を楽しみながら散策できる。
13	田園コース	昔ながらの田園風景と新しい街並みで時の移り変わりを楽しみながら歩くことができるコース。
14	お花見コース	尾張旭市東部丘陵地にある住宅街から森林公园を巡るコース。春に桜並木が素晴らしい旭境川沿いを歩くのは、まさしくお花見ウォーキング。
15	史跡・街道コース	三郷地区にある、史跡を巡るコース。三郷駅近くには、大型ショッピングセンターがあるが、旧街道を歩いてみると、馬頭観音（追分の道しるべ）があり、まちの中で歴史を味わうことができる。
16	山辺の散歩道	山辺の散歩道は、尾張旭市北部丘陵地に残る貴重な自然や里山風景をめぐりながらウォーキングが楽しめる散歩道である。維摩池を散策の起点として、尾張旭の自然の魅力と大切さを再発見できる4つのルートが設定されている。四季折々の花や緑とふれあえ、昔ながらの里山風景も残っている。
17	矢田川散歩道	尾張旭市内の中央部を東西に流れる矢田川沿いのコース。市街地にありながら眺望も良く、草花や昆虫・野帳など多様な自然に出会うことができる。
18	主要史跡コース（古戦場ウォーカーマップ）	長久手合戦の主要史跡を巡るコース。長久手市郷土資料室を起点とし、長久手城址や御旗山等を経て色金山に向かう3.7kmのコースである。
19	全指定史跡コース（古戦場ウォーカーマップ）	長久手合戦の全指定史跡を巡るコース。長久手市郷土資料室を起点とし、歴史的な地点や公園等を巡る全長6.9kmのコースである。

注) 表中の番号は、図 3.1.24 の番号と対応する。

出典:「美しい愛知づくり景観資源 600 選」(愛知県ホームページ)

「尾張旭市ガイド」(尾張旭市)

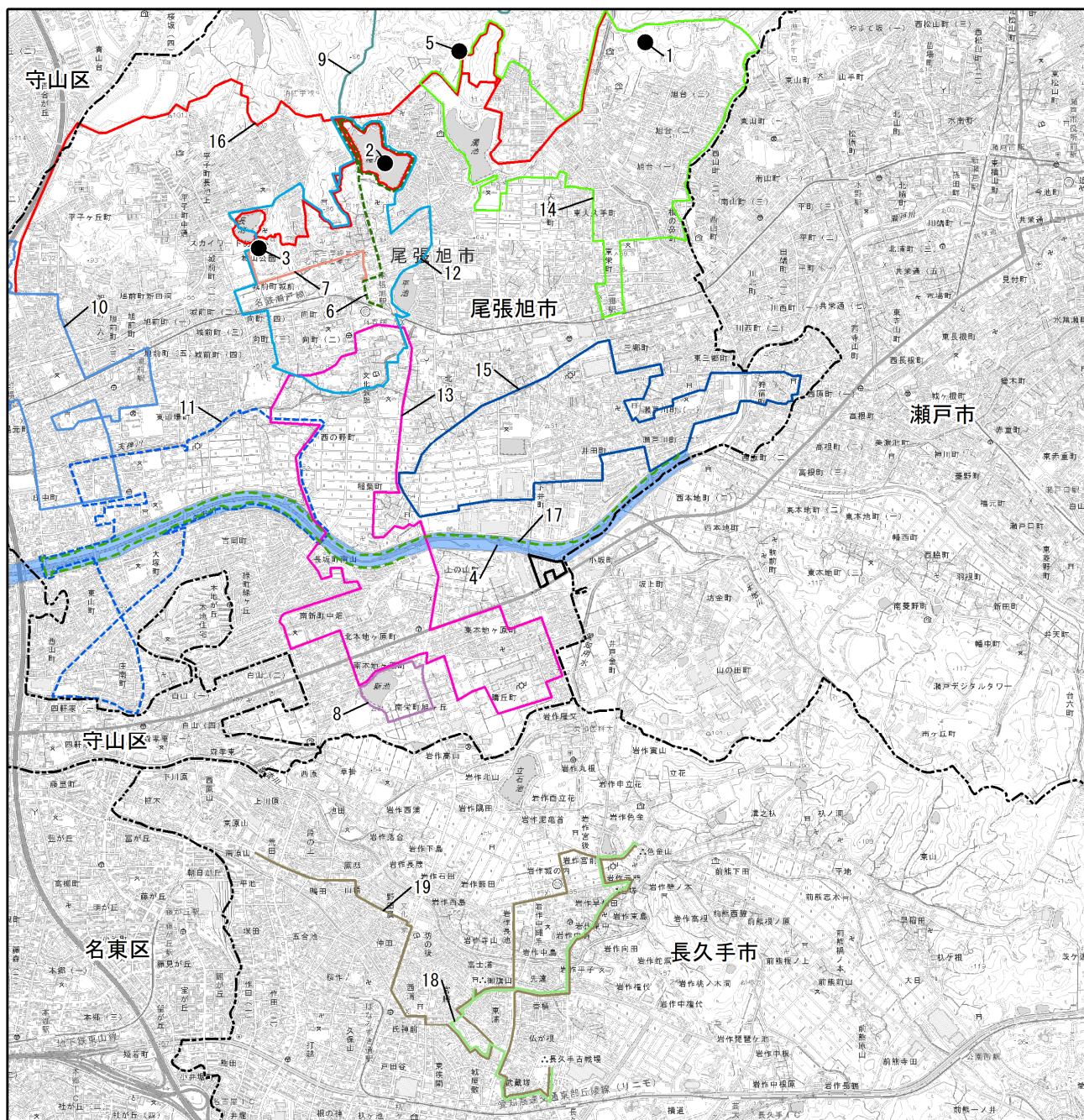
「山辺の散歩道」(尾張旭市ホームページ)

「城山公園について」(尾張旭市ホームページ)

「愛知県森林公园」(愛知県ホームページ)

「ウォーキングガイド A-map」(尾張旭市)

「古戦場ウォーカーマップ」(長久手市)



## 凡 例

  対象事業実施想定区域

----- 市区界

● 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

## 4. 矢田川河川緑地

- 6. まち案内～維摩池コース
- 7. スカイワード・旭城コース
- 8. 新池コース
- 9. 全国植樹祭メモリアルコース
- 10. パークコース
- 11. リバーサイドコース
- 12. 池・行けコース
- 13. 田園コース
- 14. お花見コース
- 15. 史跡・街道コース
- 16. 山辺の散歩道
- 17. 矢田川散歩道
- 18. 主要史跡コース
- 19. 全指定史跡コース

注) 図中の番号は、表 3.1.56 の番号と対応する。

出典:「美しい愛知づくり景観資源 600 選」(愛知県ホームページ)

「尾張旭市ガイド」(尾張旭市)

「城山公園について」(尾張旭市ホームページ)

「愛知県森林公園」(愛知県ホームページ)

「ウォーキングガイド A-map」(尾張旭市)

「古戦場ウォーキングマップ」(長久手市)

「電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成」

1:40,000  
0 0.4 0.8 1.6 km  
N

図 3.1.24 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況

### 3.1.9.3 地域の歴史的文化的特性を生かした環境

#### (1) 指定文化財等

対象事業実施想定区域及びその周囲における指定文化財等の状況は表 3.1.57 に、その位置は図 3.1.25 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域には、指定文化財等は存在していない。対象事業実施想定区域に最寄りの文化財としては、瀬戸市の史跡である本地大塚古墳があげられる。

なお、文化財の状況の把握は、主に野外に存在している有形文化財（建造物）、記念物（史跡、名勝、天然記念物）、登録有形文化財を対象とした。

表 3.1.57 指定文化財等の状況

市	種別	指定	No.	名称	所在地
尾張旭市	天然記念物	市	1	長池のマメナシ・アイナシ自生地	尾張旭市城山町長池下 4523 番地 1
			2	吉賀池湿地	尾張旭市旭ヶ丘町濁池
	建造物	国	3	旭サナック本館（旧旭兵器製造本社事務棟）	尾張旭市旭前町新田洞 5050
			4	三宅家住宅主屋	
			5	三宅家住宅蔵	尾張旭市西大道町五輪塚 3676
			6	三宅家住宅庭門及び塀	
	有形民俗文化財	市	7	狩宿郷倉	尾張旭市狩宿町三丁目 205
	史跡	市	8	印場大塚古墳	尾張旭市大塚町一丁目 13-4
	天然記念物	市	9	マメナシ	瀬戸市東松山町 154
			10	本地大塚古墳	瀬戸市西本地町 1-109
瀬戸市	建造物	市	11	神明社の石造鳥居	長久手市神門前 420-1
			12	多度社の石造鳥居	長久手市前熊志水 108-1
	史跡	国	13	長久手古戦場 長久手古戦場附 ・御旗山 ・首塚 ・色金山	長久手市武蔵塚 205 外 5 筆 長久手市富士浦 602 長久手市岩作元門 41 長久手市色金 37-1 のうち一部
			14	長久手合戦史跡 ・長久手城趾 ・木下勘解由塚 ・堀久太郎秀政 本陣地跡	長久手市城屋敷 2408、2409 長久手市荒田 9-1 長久手市坊の後 113
			15	神明社第 2 号墳	長久手市神門前 420-1

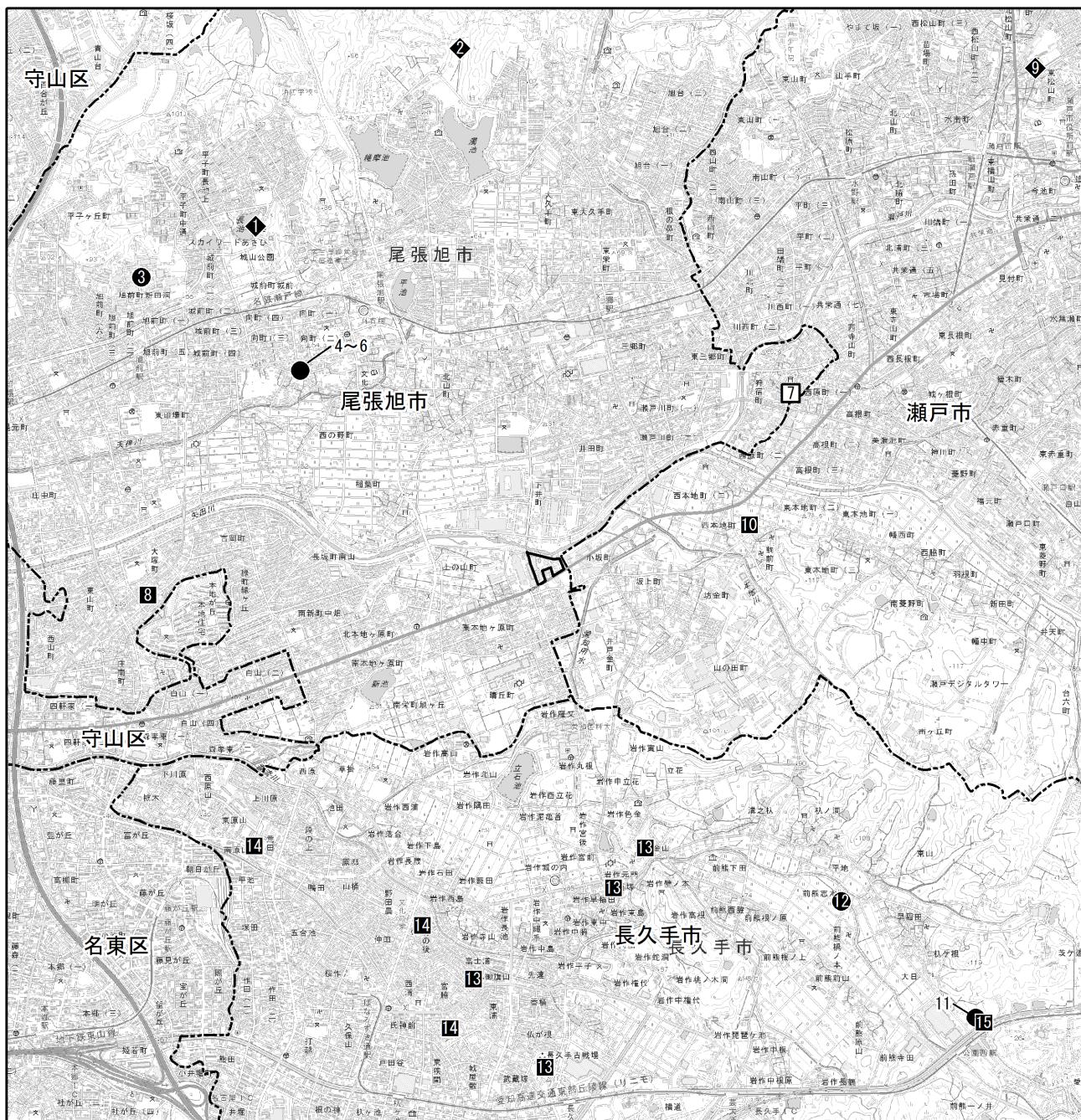
注) 表中の番号は、図 3.1.25 の番号と対応する。

出典:「尾張旭市の指定文化財・登録文化財」(尾張旭市ホームページ)

「指定・登録文化財一覧」(瀬戸市ホームページ)

「長久手市指定文化財一覧」(長久手市ホームページ)

「国指定文化財等データベース」(文化庁ホームページ)



### 凡 例

- 対象事業実施想定区域
- 天然記念物
- 建造物
- 有形民俗文化財
- 史跡

注) 図中の番号は、表 3.1.57 の番号と対応する。

出典:「尾張旭市の指定文化財・登録文化財」(尾張市ホームページ)

「指定・登録文化財一覧」(瀬戸市ホームページ)

「長久手市指定文化財一覧」(長久手市ホームページ)

「国指定文化財等データベース」(文化庁ホームページ)

「電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成」

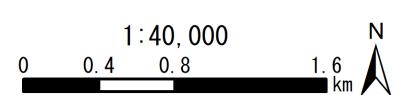


図 3.1.25 指定文化財等の分布状況

(2) 埋蔵文化財包蔵地

対象事業実施想定区域とその近傍における周知の埋蔵文化財包蔵地の状況は表 3.1.58 に、その位置は図 3.1.26 に示すとおりである。

対象事業実施想定区域には、埋蔵文化財包蔵地は見られない。

表 3.1.58 周知の埋蔵文化財包蔵地の状況

No.	名称	種別	時代	所在地
1	瀬戸川城跡	城館跡	平安・中世・近世	尾張旭市瀬戸川町
2	井田城跡	城館跡	弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世	尾張旭市井田町
3	安女寺 1 号墳	古墳	古墳	尾張旭市西の野町
4	安女寺 2 号墳	古墳	古墳	尾張旭市西の野町
5	稻葉城	-	-	尾張旭市稻葉町
6	長坂 6 号墳	古墳	古墳	尾張旭市長坂町南山
7	長坂 5 号墳	古墳	古墳	尾張旭市長坂町南山
8	長坂遺跡	集落跡	弥生・古墳・奈良	尾張旭市長坂町南山
9	西本地町北遺跡	遺物散布地	中世・近世	瀬戸市西本地町 2
10	西本地町南遺跡	遺物散布地	奈良・平安・中世	瀬戸市西本地町 1
11	本地城跡	城館跡	中世	瀬戸市西本地町 1 丁目
12	西本地 A 遺跡	遺物散布地	古墳	瀬戸市西本地町 1
13	本地坂上古墳	古墳	古墳	瀬戸市坂上町
14	西本地町東遺跡	遺物散布地	中世・近世	瀬戸市西本地町 2
15	山ノ田池南窯	窯業遺跡	中世	瀬戸市山ノ田町
16	寅山遺跡	遺物散布地	平安／中世	長久手市大字岩作字寅山
17	井戸ヶ根第 1 遺跡	遺物散布地	平安／中世	長久手市大字岩作字井戸ヶ根
18	雁又遺跡	遺物散布地	-	長久手市大字岩作字雁又
19	高山遺跡	遺物散布地	不明	長久手市大字岩作字高山
20	高山遺跡	遺物散布地	不明	長久手市大字岩作字高山
21	高山遺跡	遺物散布地	不明	長久手市大字岩作字高山
22	高山遺跡	遺物散布地	不明	長久手市大字岩作字高山
23	丸根遺跡	遺物散布地	平安／中世	長久手市大字岩作字丸根
24	井戸ヶ根第 2 遺跡	遺物散布地	平安／中世	長久手市大字岩作字井戸ヶ根
25	立花遺跡	遺物散布地	不明	長久手市大字熊張字立花

注) 表中の番号は、図 3.1.26 の番号と対応する。

出典:「マップあいち (埋蔵文化財・記念物)」(愛知県ホームページ)

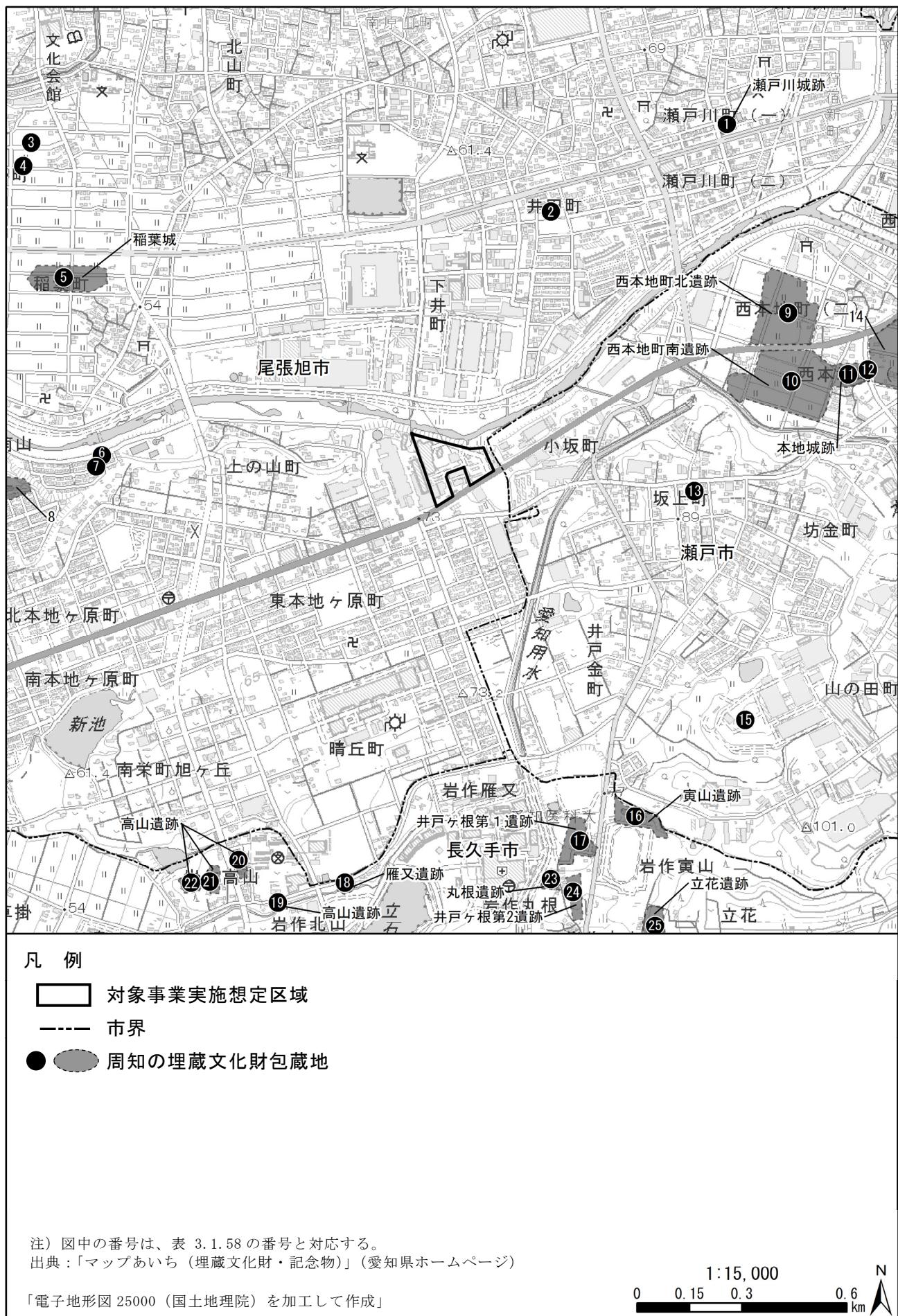


図 3.1.26 周知の埋蔵文化財包蔵地の分布状況